

「こどもまんなか熊本」の実現に向けた
こども・子育てに関する県民アンケート調査

集計結果報告書

2023年8月

熊本日日新聞社

〔調査概要〕

調査名称	「こどもまんなか熊本」の実現に向けたこども・子育てに関する県民アンケート調査
目 的	熊本県の少子化対策の一環として「こどもまんなか熊本」の実現に向けたこども・子育てに関する県民アンケートを実施し、今後のより良い結婚・子育て環境づくりに役立てることを目的に実施。
調査対象	熊本県内在住の若者、子育て世代 (※学生・生徒、未婚の方、既婚の方、子育て中の方、こどもをお持ちでない方も対象)
調査方法	WEBアンケート調査 回答フォーム▼ 学生・生徒向け https://zfrmz.jp/IcdLYUAK6yaM7vUbYs.jh 社会人向け https://zfrmz.jp/hHKj96RenFDSWG64jRyt
調査期間	令和5年6月5日～7月7日
実施主体	熊本県子ども未来課
回 答 数	12,408 (社会人：8,556 /学生・生徒：3,852)

目次

1章 社会人

1	回答者の基本属性	5
2	若者の定着	8
3	結婚観	10
4	子育て観	16

2章 学生・生徒

1	回答者の基本属性	30
2	熊本での生活	32
3	結婚観	35
4	子育て観	41

○ 社会人/

自由回答	53
調査票	92

○ 学生・生徒/

自由回答	116
調査票	132

注) 小数点第2位で四捨五入をした結果、合計値が100%にならない場合があります。

1章 〔社会人〕

■ 1章 社会人

1 回答者の基本属性

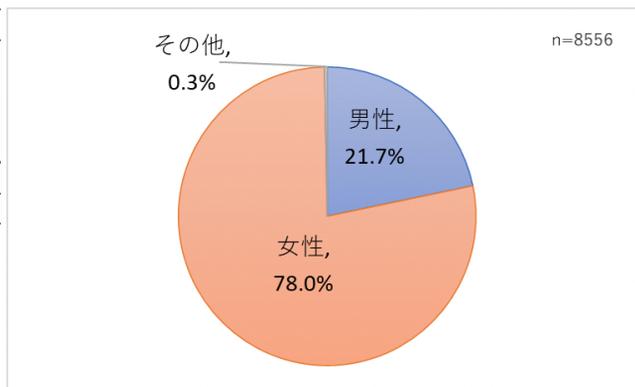
1-1 性別、年代、最終学歴

性別は、男性1,859人（21.7%）、女性6,672人（78.0%）、その他含め合計8,556人が回答。30代～40代の子育て世代を中心とした回答が全体の7割強の72.9%のほか、20代、50代からも回答を得ることで、広く県内の子育て世代の声を集めた。

最終学歴は、大学・短大・高専（大学院含む）が半数強の54.7%、次いで高校が25.1%となった。

Q1-1 Q. あなたの性別は、次のうちどれですか？

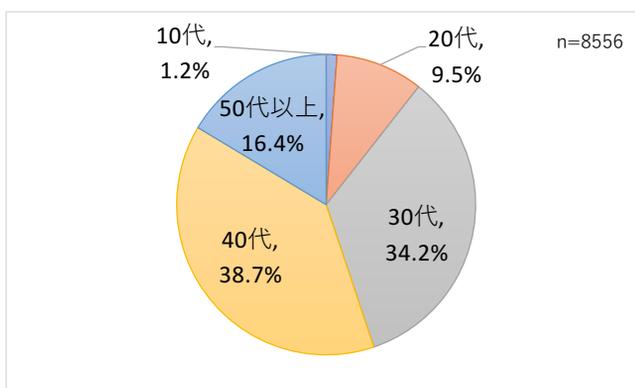
		度数	%	有効%
有効	男性	1859	21.7%	21.7%
	女性	6672	78.0%	78.0%
	その他	25	0.3%	0.3%
	合計	8556	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		8556	100.00%	



図表1-1 性別 (社会人)

Q1-2 Q. あなたの年齢 (年代) は、次のうちどれですか？

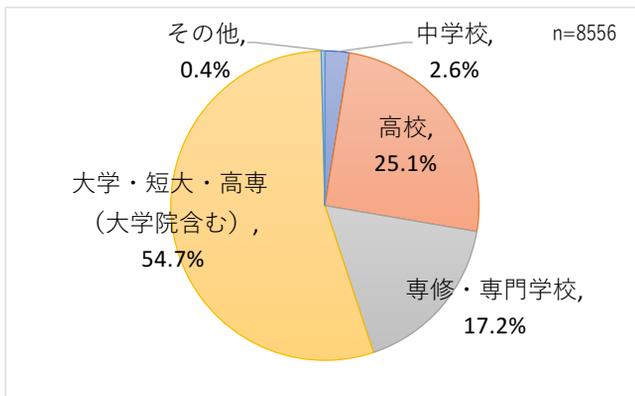
		度数	%	有効%
有効	10代	100	1.2%	1.2%
	20代	809	9.5%	9.5%
	30代	2927	34.2%	34.2%
	40代	3315	38.7%	38.7%
	50代以上	1405	16.4%	16.4%
	合計	8556	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		8556	100.00%	



図表1-2 年代 (社会人)

Q1-3 Q. あなたが最後に卒業した学校は、次のうちどれですか？

		度数	%	有効%
有効	中学校	219	2.6%	2.6%
	高校	2150	25.1%	25.1%
	専修・専門学校	1472	17.2%	17.2%
	大学・短大・高専 (大学院含む)	4682	54.7%	54.7%
	その他	33	0.4%	0.4%
	合計	8556	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		8556	100.00%	



図表1-3 学歴 (社会人)

1-2 居住エリア

居住地域別では、サンプルボリュームが異なるものの、各地域で対象人口のおよそ1%程度のサンプルボリュームを確保した（熊本県統計調査課2022より算出）。

Q1-4 Q. あなたの居住地域は、次のうちどれですか？

		度数	%	有効%
有効	熊本市	3128	36.6%	36.6%
	県央	1106	12.9%	12.9%
	県北	2102	24.6%	24.6%
	県南	1176	13.7%	13.7%
	阿蘇	265	3.1%	3.1%
	天草	779	9.1%	9.1%
	合計	8556	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		8556	100.00%	

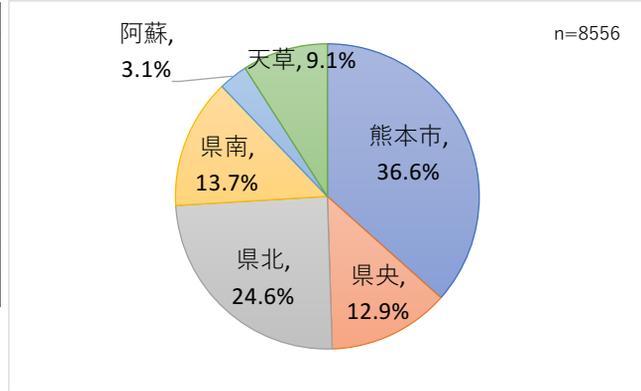
※県央（宇土市 / 宇城市 / 下益城郡 / 上益城郡）

※県北（荒尾市 / 玉名市 / 玉名郡 / 山鹿市 / 菊池市 / 合志市 / 菊池郡）

※県南（八代市 / 八代郡 / 水俣市 / 葦北郡 / 人吉市 / 球磨郡）

※阿蘇（阿蘇市 / 阿蘇郡）

※天草（天草市 / 上天草市 / 天草郡）



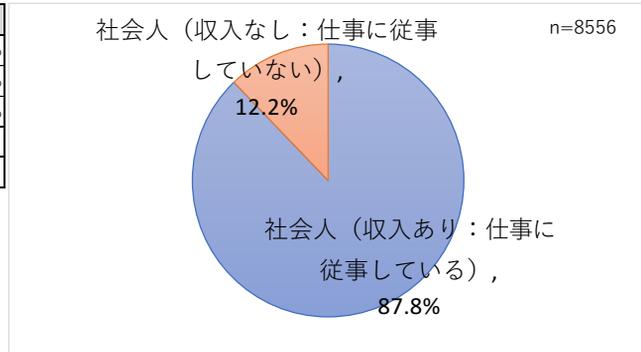
図表1-4 居住エリア（社会人）

1-3 収入、働き方

回答者の収入と働き方は、87.8%が「社会人（収入あり：仕事に従事している）」で、正規雇用として働く社会人が63.5%、非正規雇用が30.8%となった。

Q1-5 Q. あなたは現在、下記のどちらに当てはまりますか？

		度数	%	有効%
有効	社会人（収入あり：仕事に従事している）	7512	87.8%	87.8%
	社会人（収入なし：仕事に従事していない）	1044	12.2%	12.2%
	合計	8556	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		8556	100.00%	

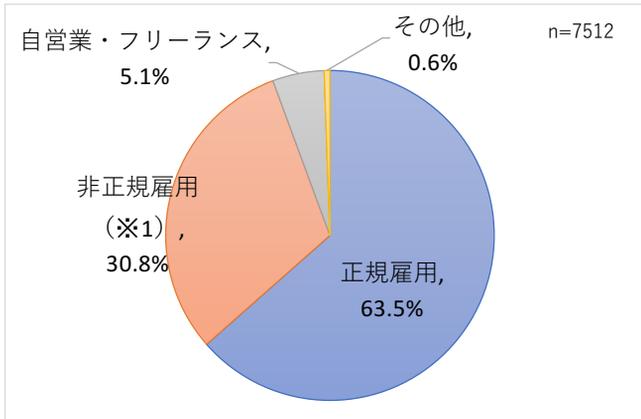


図表1-5 収入有無（社会人）

Q1-5-3 Q. あなたの働き方は、次のうちどれですか？

		度数	%	有効%
有効	正規雇用	4772	55.8%	63.5%
	非正規雇用（※1）	2316	27.1%	30.8%
	自営業・フリーランス	382	4.5%	5.1%
	その他	42	0.5%	0.6%
	合計	7512	87.8%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
	非該当	1044	12.2%	
合計		8556	100.00%	

※1 契約社員、嘱託社員、派遣労働、パートタイム、アルバイトなど



図表1-6 働き方（正規・非正規）

1-4 業種、職種

回答者の勤務する業種は、「官公庁」が31.2%、次いで「医療・福祉（医療従事者・福祉施設職員など）」が18.6%、「医療・福祉（保育士・幼稚園教諭）」13.6%となり、調査テーマに関心が高い業種からの回答が多くなっている。

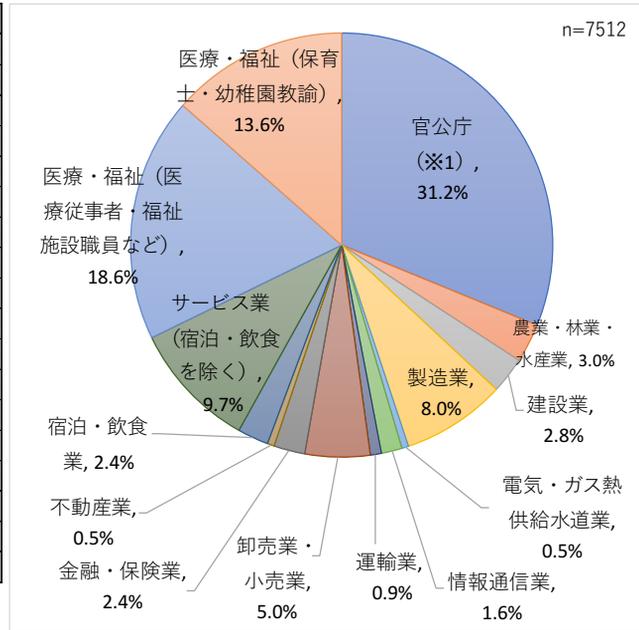
職種は、この傾向から「事務職・スタッフ職」が最も多く34.2%、次いで「専門職」が32.1%となった。

Q1-5-1 Q. 現在、あなたはどの業種に勤務していますか？

※正規、非正規（パートアルバイト含む）

		度数	%	有効%
有効	官公庁（※1）	2342	27.4%	31.2%
	農業・林業・水産業	223	2.6%	3.0%
	建設業	208	2.4%	2.8%
	製造業	598	7.0%	8.0%
	電気・ガス熱供給水道業	39	0.5%	0.5%
	情報通信業	119	1.4%	1.6%
	運輸業	64	0.7%	0.9%
	卸売業・小売業	374	4.4%	5.0%
	金融・保険業	179	2.1%	2.4%
	不動産業	40	0.5%	0.5%
	宿泊・飲食業	178	2.1%	2.4%
	サービス業（宿泊・飲食を除く）	730	8.5%	9.7%
	医療・福祉（医療従事者・福祉施設職員など）	1400	16.4%	18.6%
	医療・福祉（保育士・幼稚園教諭）	1018	11.9%	13.6%
	合計	7512	87.8%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
	非該当	1044	12.2%	
合計		8556	100.0%	

※1 官公庁/公社/団体/国公立教職員含む



図表1-7 勤務している業種（社会人）

Q1-5-2 Q. 現在、あなたはどの職種で勤務していますか？

※正規、非正規（パートアルバイト含む）

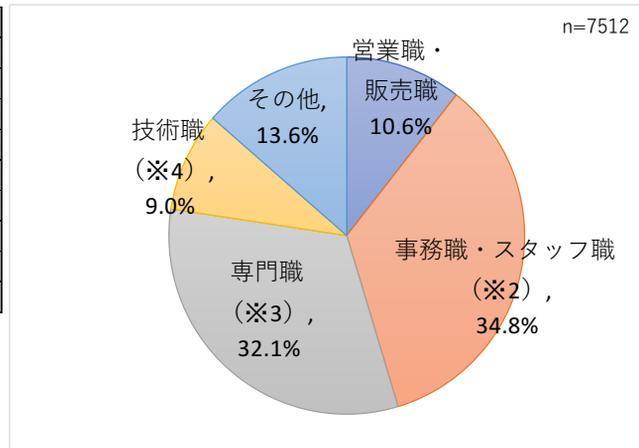
		度数	%	有効%
有効	営業職・販売職（※1）	794	9.3%	10.6%
	事務職・スタッフ職（※2）	2612	30.5%	34.8%
	専門職（※3）	2408	28.1%	32.1%
	技術職（※4）	678	7.9%	9.0%
	その他	1020	11.9%	13.6%
	合計	7512	87.8%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
	非該当	1044	12.2%	
合計		8556	100.0%	

※1 例：各種営業スタッフ/販売スタッフ/サービススタッフ/セールスエンジニア 等

※2 例：総務・人事/経理・会計/営業事務/受付事務/企画・宣伝 等

※3 例：教員/弁護士/公認会計士/アナウンサー/編集・記者/客室乗務員 など

※4 例：システムエンジニア/土木・建築技術職/各種施工管理/生産技術職 など



図表1-8 勤務している職種（社会人）

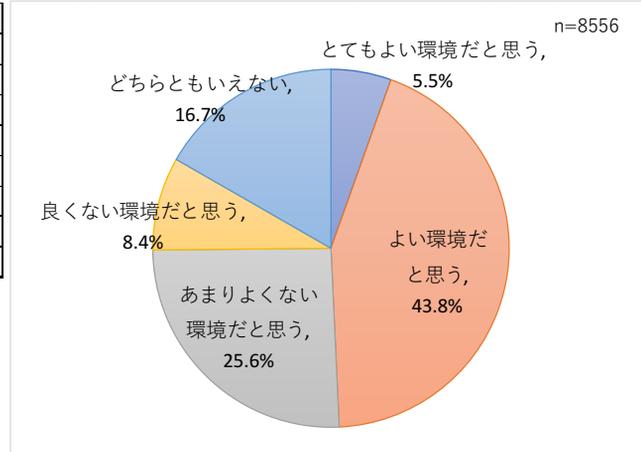
2 若者の定着

2-1 熊本で働き生活する環境

熊本で働き生活していく環境について、県外（大都市圏）と比べどうかを尋ねたところ、「とてもよい環境だと思う」「よい環境だと思う」と回答したのが全体の半数近くの49.3%であった。このことからわかるように、熊本で働く環境を良いと思っているのは熊本県の強みである。さらに学生・生徒の集計結果の方がこの割合が更に高く希望が持てる結果となった（32ページ参照）。

Q2-1 Q. あなたにとって、熊本で働き生活していく環境は、県外（大都市圏）と比べた場合、次のどれだと思いますか？（※イメージで結構です）

		度数	%	有効%
有効	とてもよい環境だと思う	468	5.5%	5.5%
	よい環境だと思う	3747	43.8%	43.8%
	あまりよくない環境だと思う	2189	25.6%	25.6%
	良くない環境だと思う	720	8.4%	8.4%
	どちらともいえない	1432	16.7%	16.7%
	合計	8556	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		8556	100.00%	



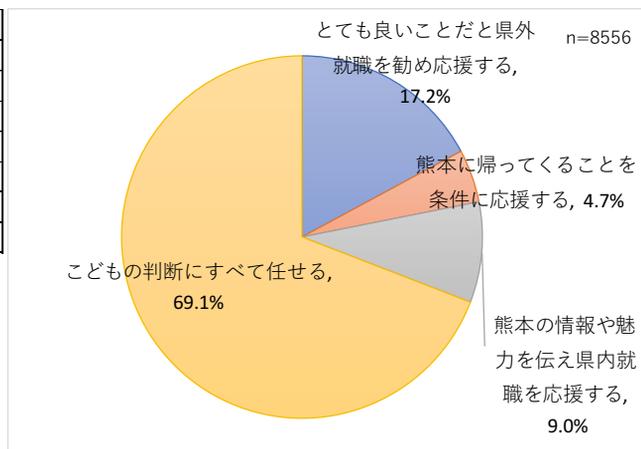
図表1-9 熊本で働き生活していく環境（県外比較）

2-2 こどもの県外就職希望にとる行動

自身のこどもが県外就職を希望した場合にとる行動について尋ねたところ、「こどもの判断にすべて任せる」と回答したのが69.1%を占めた。親にとってもこども（学生・生徒）の意向が重要であり、一方で学生・生徒の結果では、県内で働くのは良い環境との意見が強いため（32ページ参照）、子どもが県内で働きたいと思える環境の整備（労働環境や子育て環境）と、学生生徒が熊本で働きたいと思う様な仕掛けがあると、この調査結果が現実の成果に結びついていく可能性があると考えられる。

Q2-2 Q. もしあなたがこどもを持ち(持っている方も)、あなたのこどもが県外で就職を希望した場合、あなたがとる行動は次のどれだと思いますか？

		度数	%	有効%
有効	とても良いことだと県外就職を勧め応援する	1468	17.2%	17.2%
	熊本に帰ってくることを条件に応援する	404	4.7%	4.7%
	熊本の情報や魅力を伝え県内就職を応援する	768	9.0%	9.0%
	こどもの判断にすべて任せる	5916	69.1%	69.1%
	合計	8556	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		8556	100.00%	



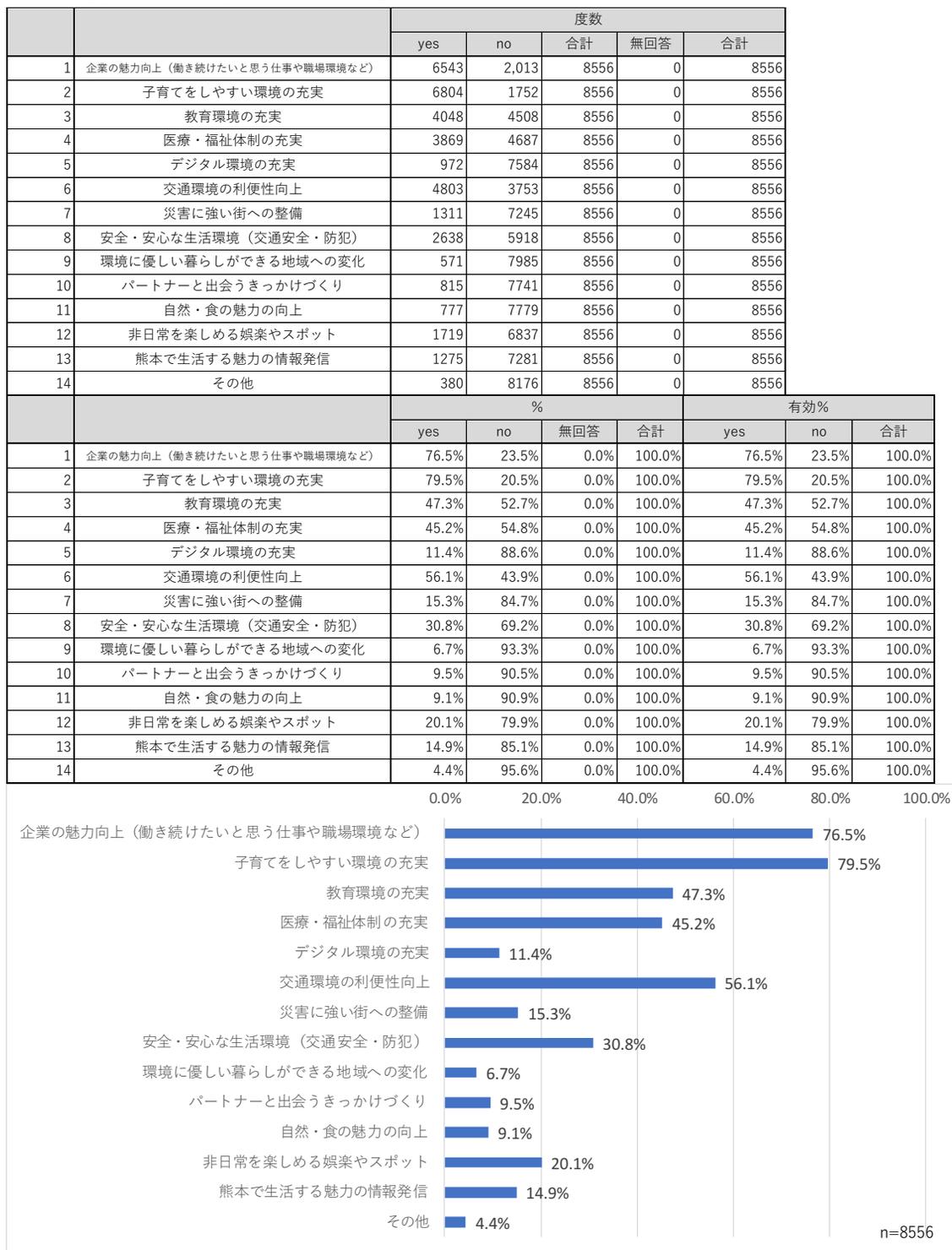
図表1-10 こどもの県外就職希望への行動（社会人）

2-3 若年層が熊本に定着するために充実させるべきもの

若年層が熊本に定着するために充実させるべきものについて複数回答で尋ねたところ、最も多かったのは「子育てしやすい環境の充実」で79.5%、次いで「企業の魅力向上（働き続けたいと思う仕事や職場環境など）」と回答したのが76.5%となった。また「交通環境の利便性向上」の回答も比較的多く56.1%となった。「交通環境の利便性向上」の選択は、現在の熊本で働き生活する社会人として働きやすさや生活のしやすさなどの実感が反映していると思われる。

Q2-3 Q. 若年層が熊本に定着するために充実させるべきものは、次のうちどれだと思いますか？

※重要と思うものから最大5つまで選べます。



図表1-11 若年層が熊本定着に充実させるべきもの（社会人）

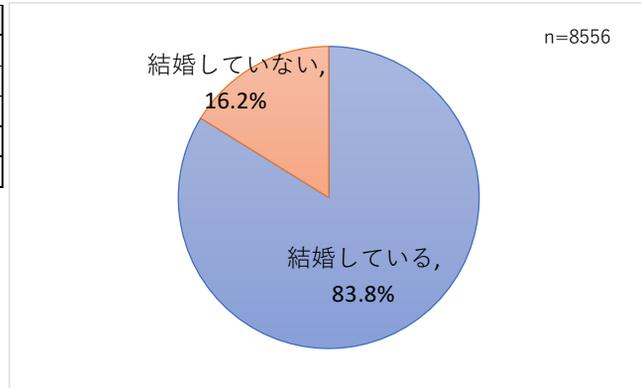
3 結婚観（社会人）

3-1 既婚・未婚/配偶者・パートナーの働き方

回答者の既婚・未婚について、「結婚している」が83.8%で、配偶者・パートナーの働き方では「共働き（育休・休職・パートアルバイト含む）」が83.9%。前述2-3において「子育てしやすい環境充実」を約8割が希望していることは、この共働きの実感が反映されていると伺える。子育てをしやすい環境でない場合、子どもを生まない選択や県外流出の可能性も高まると考えられる。

Q3 Q. あなたは現在結婚していますか？

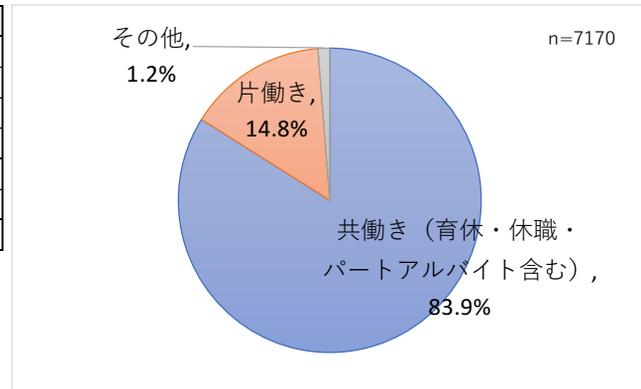
		度数	%	有効%
有効	結婚している	7170	83.8%	83.8%
	結婚していない	1386	16.2%	16.2%
	合計	8556	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		8556	100.00%	



図表1-12 既婚・未婚（社会人）

Q3-1 Q. あなたとあなたの配偶者・パートナーの働き方は、次のうちどれですか？

		度数	%	有効%
有効	共働き（育休・休職・パートアルバイト含む）	6017	70.3%	83.9%
	片働き	1064	12.4%	14.8%
	その他	89	1.0%	1.2%
	合計	7170	83.8%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
	非該当	1386	16.2%	
合計		8556	100.00%	



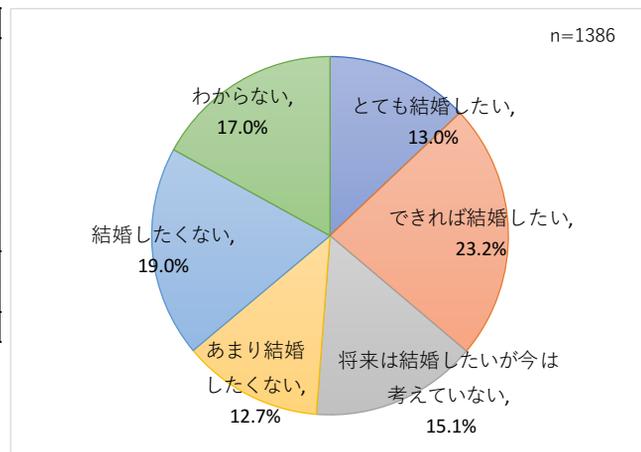
図表1-13 配偶者・パートナーの働き方

3-2 未婚者の結婚への希望

未婚の回答者の結婚への希望を尋ねると、「とても結婚したい」「できれば結婚したい」「将来は結婚したいが今は考えていない」の結婚の意思がある合計が51.3%であった。熊本で定着して結婚し出産するには、2-3での企業の魅力、職場環境、子育て環境、交通環境を整えることで熊本での結婚～出産が増える可能性が考えられる。

Q3-2 Q. あなたは、結婚したいですか？

		度数	%	有効%
有効	とても結婚したい	180	2.1%	13.0%
	できれば結婚したい	321	3.8%	23.2%
	将来は結婚したいが今は考えていない	209	2.4%	15.1%
	あまり結婚したくない	176	2.1%	12.7%
	結婚したくない	264	3.1%	19.0%
	わからない	236	2.8%	17.0%
	合計	1386	16.2%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
	非該当	7170	83.8%	
合計		8556	100.00%	



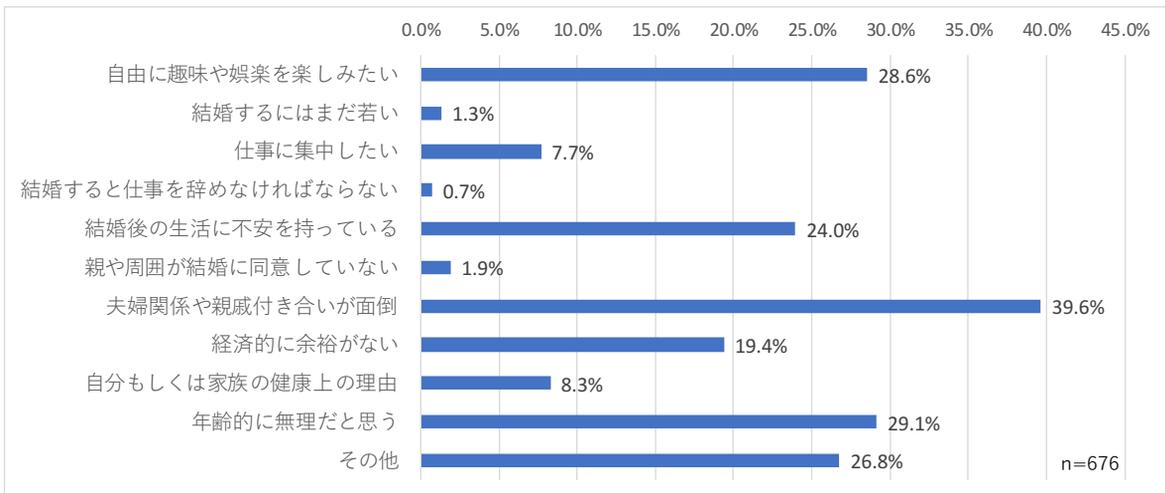
図表1-14 結婚希望（未婚者）

3-3 結婚したくない理由

未婚の回答者に結婚したくない理由を尋ねると「夫婦関係や親戚付き合いが面倒」(39.6%)が最も多く、次いで「年齢的に無理だと思う」(29.1%)、「自由に趣味や娯楽を楽しみたい」(28.6%)が上位3つとなった。

Q3-2-2 Q. 「あまり結婚したくない」「結婚したくない」「わからない」と思う理由は、次のうちどれですか？(いくつでも可)

		度数					有効%			
		yes	no	合計	無回答	非該当	合計	yes	no	合計
1	自由に趣味や娯楽を楽しみたい	193	483	676	0	7880	8556	28.6%	71.4%	100.0%
2	結婚するにはまだ若い	9	667	676	0	7880	8556	1.3%	98.7%	100.0%
3	仕事に集中したい	52	624	676	0	7880	8556	7.7%	92.3%	100.0%
4	結婚すると仕事を辞めなければならない	5	671	676	0	7880	8556	0.7%	99.3%	100.0%
5	結婚後の生活に不安を持っている	162	514	676	0	7880	8556	24.0%	76.0%	100.0%
6	親や周囲が結婚に同意していない	13	663	676	0	7880	8556	1.9%	98.1%	100.0%
7	夫婦関係や親戚付き合いが面倒	268	408	676	0	7880	8556	39.6%	60.4%	100.0%
8	経済的に余裕がない	131	545	676	0	7880	8556	19.4%	80.6%	100.0%
9	自分もしくは家族の健康上の理由	56	620	676	0	7880	8556	8.3%	91.7%	100.0%
10	年齢的に無理だと思う	197	479	676	0	7880	8556	29.1%	70.9%	100.0%
11	その他	181	495	676	0	7880	8556	26.8%	73.2%	100.0%



図表1-15 結婚したくない理由（未婚者）

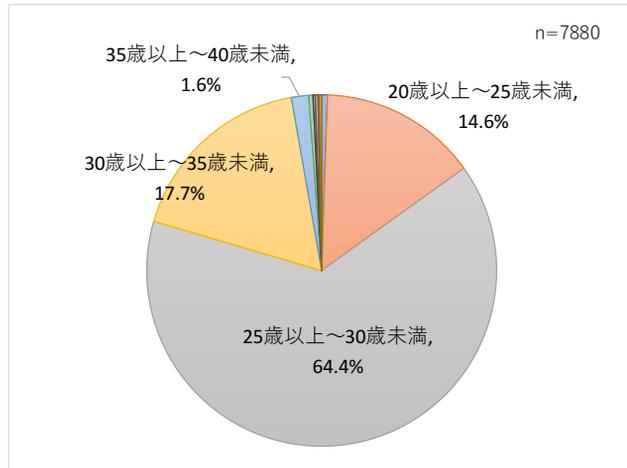
3-4 理想の結婚年齢と実際に結婚した年齢

理想の結婚年齢について、「25歳以上～30歳未満」が64.4%で最も多く、次いで「30歳以上～35歳未満」が17.7%、「20歳以上～30歳未満」が14.6%という結果となった。

一方で、実際に結婚した年齢は「20歳以上～30歳未満」が21.0%、「30歳以上～35歳未満」が20.9%となった。理想としていた「20歳以上～30歳未満」よりも他の年齢層に分散しているが、結婚を経験したことで結婚後の生活や仕事、子育てを考えた際に適齢期と考えられている25歳以上～30歳未満を理想として回答したと予想される。本人が理想とする年齢でパートナーと出会い、そして結婚を実現できる環境づくりも、施策として取り組む可能性や必要性があると考えられる。

Q3-1-2 Q. あなたの理想の結婚年齢は何歳ですか？（結婚している方は、結婚前に思っていた理想の結婚年齢をお答えください）

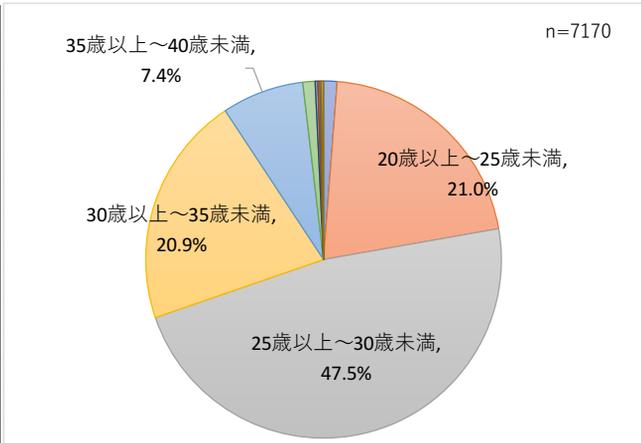
		度数	%	有効%
有効	20歳未満	42	0.5%	0.5%
	20歳以上～25歳未満	1,149	13.4%	14.6%
	25歳以上～30歳未満	5,076	59.3%	64.4%
	30歳以上～35歳未満	1,394	16.3%	17.7%
	35歳以上～40歳未満	126	1.5%	1.6%
	40歳以上～45歳未満	30	0.4%	0.4%
	45歳以上～50歳未満	16	0.2%	0.2%
	50歳以上～55歳未満	21	0.2%	0.3%
	55歳以上～60歳未満	9	0.1%	0.1%
	60歳以上	17	0.2%	0.2%
合計		7,880	92.1%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
	非該当	676	7.9%	
合計		8,556	100.0%	
最頻値	平均値	最小値	最大値	標準偏差
25.00	26.82	0.00	60.00	3.96



図表1-16 理想の結婚年齢（社会人）

Q3-1-3 Q. あなたが結婚した年齢は何歳でしたか？

		度数	%	有効%
有効	20歳未満	88	1.1%	1.2%
	20歳以上～25歳未満	1506	19.2%	21.0%
	25歳以上～30歳未満	3406	43.4%	47.5%
	30歳以上～35歳未満	1502	19.1%	20.9%
	35歳以上～40歳未満	534	6.8%	7.4%
	40歳以上～45歳未満	80	1.0%	1.1%
	45歳以上～50歳未満	18	0.2%	0.3%
	50歳以上～55歳未満	12	0.2%	0.2%
	55歳以上～60歳未満	11	0.1%	0.2%
	60歳以上	13	0.2%	0.2%
合計		7170	91.4%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
	非該当	676	8.6%	
合計		7846	100.0%	
最頻値	平均値	最小値	最大値	標準偏差
26.00	27.96	0.00	60.00	5.04



図表1-17 実際に結婚した年齢（社会人）

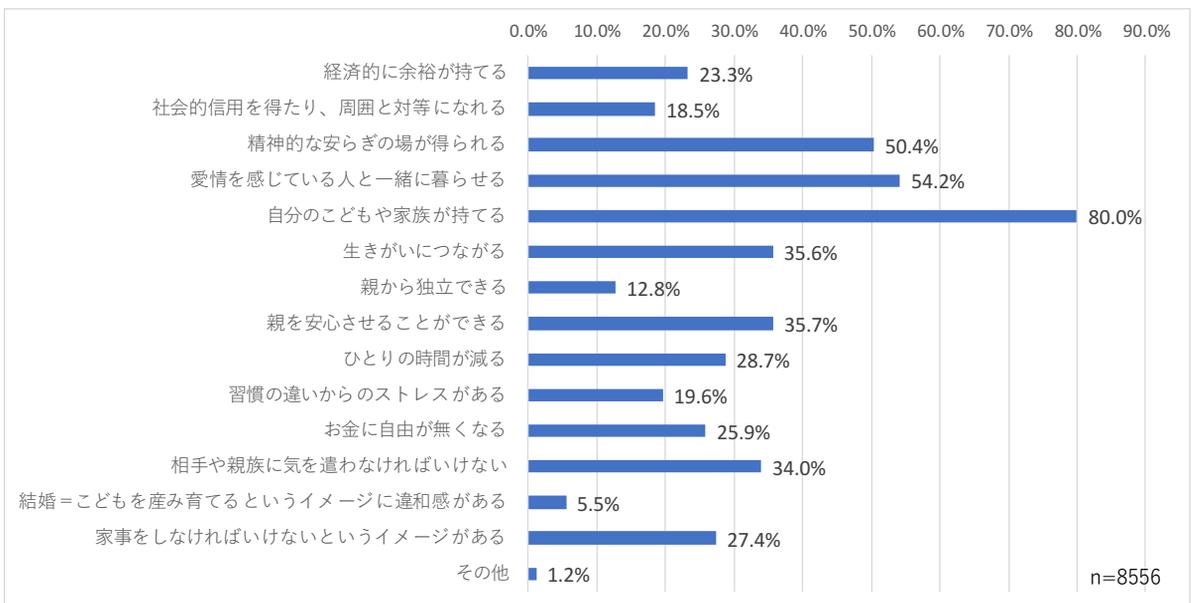
3-5 結婚のイメージ

結婚のイメージについて尋ねると、「自分の子どもや家族が持てる」(80.0%)、「愛情を感じている人と一緒に暮らせる」(54.2%)、「精神的な安らぎの場が得られる」(50.4%)という結果になった。いずれも結婚のイメージはポジティブだが、未婚者と既婚者での違いを検討する必要がある。

Q3-1-4 Q. あなたの結婚のイメージに近いのは、次うちどれですか？(いくつでも可)

		度数				
		yes	no	合計	無回答	合計
1	経済的に余裕が持てる	1996	6,560	8556	0	8556
2	社会的信用を得たり、周囲と対等になれる	1583	6973	8556	0	8556
3	精神的な安らぎの場が得られる	4309	4247	8556	0	8556
4	愛情を感じている人と一緒に暮らせる	4636	3920	8556	0	8556
5	自分の子どもや家族が持てる	6843	1713	8556	0	8556
6	生きがいにつながる	3050	5506	8556	0	8556
7	親から独立できる	1091	7465	8556	0	8556
8	親を安心させることができる	3053	5503	8556	0	8556
9	ひとりの時間が減る	2456	6100	8556	0	8556
10	習慣の違いからのストレスがある	1678	6878	8556	0	8556
11	お金に自由が無くなる	2213	6343	8556	0	8556
12	相手や親族に気を遣わなければならない	2905	5651	8556	0	8556
13	結婚=子どもを産み育てるというイメージに違和感がある	472	8084	8556	0	8556
14	家事をしなければいけないというイメージがある	2341	6215	8556	0	8556
15	その他	101	8455	8556	0	8556

		%				有効%		
		yes	no	無回答	合計	yes	no	合計
1	経済的に余裕が持てる	23.3%	76.7%	0.0%	100.0%	23.3%	76.7%	100.0%
2	社会的信用を得たり、周囲と対等になれる	18.5%	81.5%	0.0%	100.0%	18.5%	81.5%	100.0%
3	精神的な安らぎの場が得られる	50.4%	49.6%	0.0%	100.0%	50.4%	49.6%	100.0%
4	愛情を感じている人と一緒に暮らせる	54.2%	45.8%	0.0%	100.0%	54.2%	45.8%	100.0%
5	自分の子どもや家族が持てる	80.0%	20.0%	0.0%	100.0%	80.0%	20.0%	100.0%
6	生きがいにつながる	35.6%	64.4%	0.0%	100.0%	35.6%	64.4%	100.0%
7	親から独立できる	12.8%	87.2%	0.0%	100.0%	12.8%	87.2%	100.0%
8	親を安心させることができる	35.7%	64.3%	0.0%	100.0%	35.7%	64.3%	100.0%
9	ひとりの時間が減る	28.7%	71.3%	0.0%	100.0%	28.7%	71.3%	100.0%
10	習慣の違いからのストレスがある	19.6%	80.4%	0.0%	100.0%	19.6%	80.4%	100.0%
11	お金に自由が無くなる	25.9%	74.1%	0.0%	100.0%	25.9%	74.1%	100.0%
12	相手や親族に気を遣わなければならない	34.0%	66.0%	0.0%	100.0%	34.0%	66.0%	100.0%
13	結婚=子どもを産み育てるというイメージに違和感がある	5.5%	94.5%	0.0%	100.0%	5.5%	94.5%	100.0%
14	家事をしなければいけないというイメージがある	27.4%	72.6%	0.0%	100.0%	27.4%	72.6%	100.0%
15	その他	1.2%	98.8%	0.0%	100.0%	1.2%	98.8%	100.0%



図表1-18 結婚のイメージ (社会人)

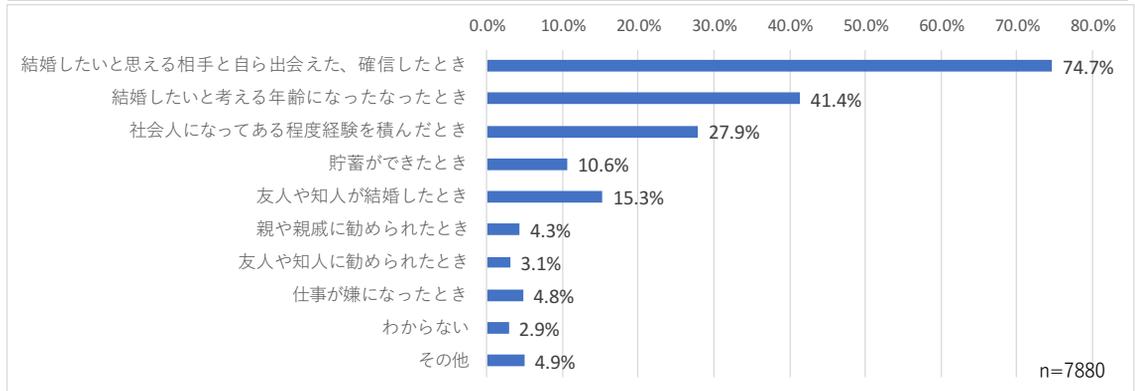
3-6 結婚に繋がるきっかけやタイミング

結婚に繋がるきっかけやタイミングを尋ねたところ、「結婚したいと思える相手に出会えた、確信したとき」(74.7%)が最も多く、次いで「結婚したいと考える年齢になったとき」(41.4%)、「社会人になってある程度経験を積んだとき」(27.9%)となった。

Q3-1-5 Q. あなたにとって、結婚に繋がると思えるきっかけやタイミングは、次のうちどれですか？

※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけ・タイミングをお選びください。(いくつでも可)

		度数					有効%			
		yes	no	合計	無回答	非該当	合計	yes	no	合計
1	結婚したいと思える相手と自ら出会えた、確信したとき	5884	1,996	7880	0	676	8556			
2	結婚したいと考える年齢になったとき	3260	4620	7880	0	676	8556			
3	社会人になってある程度経験を積んだとき	2198	5682	7880	0	676	8556			
4	貯蓄ができたとき	837	7043	7880	0	676	8556			
5	友人や知人が結婚したとき	1204	6676	7880	0	676	8556			
6	親や親戚に勧められたとき	341	7539	7880	0	676	8556			
7	友人や知人に勧められたとき	242	7638	7880	0	676	8556			
8	仕事が嫌になったとき	377	7503	7880	0	676	8556			
9	わからない	225	7655	7880	0	676	8556			
10	その他	390	7490	7880	0	676	8556			
		%					有効%			
		yes	no	無回答	非該当	合計	yes	no	合計	
1	結婚したいと思える相手と自ら出会えた、確信したとき	68.8%	23.3%	0.0%	7.9%	100.0%	74.7%	25.3%	100.0%	
2	結婚したいと考える年齢になったとき	38.1%	54.0%	0.0%	7.9%	100.0%	41.4%	58.6%	100.0%	
3	社会人になってある程度経験を積んだとき	25.7%	66.4%	0.0%	7.9%	100.0%	27.9%	72.1%	100.0%	
4	貯蓄ができたとき	9.8%	82.3%	0.0%	7.9%	100.0%	10.6%	89.4%	100.0%	
5	友人や知人が結婚したとき	14.1%	78.0%	0.0%	7.9%	100.0%	15.3%	84.7%	100.0%	
6	親や親戚に勧められたとき	4.0%	88.1%	0.0%	7.9%	100.0%	4.3%	95.7%	100.0%	
7	友人や知人に勧められたとき	2.8%	89.3%	0.0%	7.9%	100.0%	3.1%	96.9%	100.0%	
8	仕事が嫌になったとき	4.4%	87.7%	0.0%	7.9%	100.0%	4.8%	95.2%	100.0%	
9	わからない	2.6%	89.5%	0.0%	7.9%	100.0%	2.9%	97.1%	100.0%	
11	その他	4.6%	87.5%	0.0%	7.9%	100.0%	4.9%	95.1%	100.0%	



図表1-19 結婚に繋がるきっかけやタイミング (社会人)

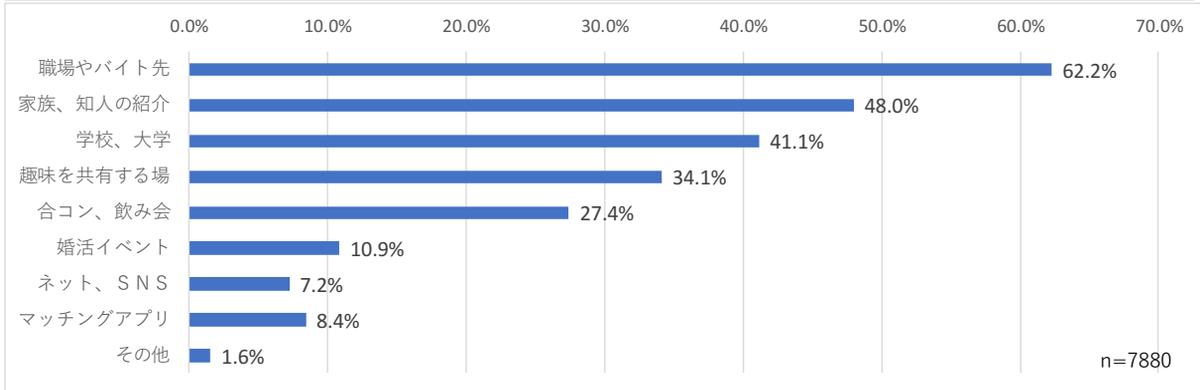
3-7 結婚に繋がると思う出会いのシーン

結婚に繋がると思う出会いのシーンについて、「職場やバイト先」と答えた方が62.2%で最も多かった。

Q3-1-6 Q. あなたにとって、結婚に繋がると思う出会いのシーンは、次のうちどれですか？

※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけ・タイミングをお選びください（いくつでも可）

		度数					有効%			
		yes	no	合計	無回答	非該当	合計	yes	no	合計
1	職場やバイト先	4904	2,976	7880	0	676	8556	62.2%	37.8%	100.0%
2	家族、知人の紹介	3779	4101	7880	0	676	8556	48.0%	52.0%	100.0%
3	学校、大学	3241	4639	7880	0	676	8556	41.1%	58.9%	100.0%
4	趣味を共有する場	2686	5194	7880	0	676	8556	34.1%	65.9%	100.0%
5	合コン、飲み会	2161	5719	7880	0	676	8556	27.4%	72.6%	100.0%
6	婚活イベント	855	7025	7880	0	676	8556	10.9%	89.1%	100.0%
7	ネット、SNS	569	7311	7880	0	676	8556	7.2%	92.8%	100.0%
8	マッチングアプリ	664	7216	7880	0	676	8556	8.4%	91.6%	100.0%
9	その他	123	7757	7880	0	676	8556	1.6%	98.4%	100.0%



図表1-20 結婚に繋がると思う出会いのシーン（社会人）

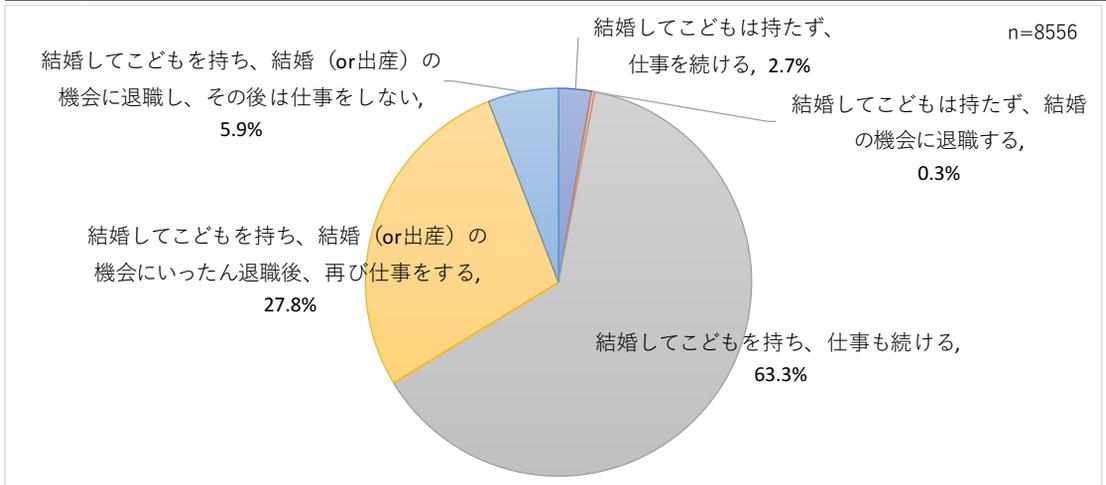
4 子育て観（社会人）

4-1 結婚後の希望するライフスタイル

結婚後の希望するライフスタイルを尋ねたところ、「結婚して子どもを持ち、仕事を続ける」が63.3%、次に多かった回答は「結婚して子どもを持ち、結婚(or出産)の機会にいったん退職後、再び仕事をする」は27.8%で、子育てと仕事を両立させることを希望していることがわかる。社会人の回答属性から、共働きの比率が高いためこの結果となっている可能性があるが、だからこそ、今後社会に出ていく若年層が希望を持てる、より良い職場環境や子育てをしやすい環境の整備の必要があると考えられる。

Q4-1 Q. あなたがもし結婚をした場合（結婚してる方も）、自分が希望するライフスタイルで最も近いと思われるタイプは、次のうちどれですか？

		度数	%	有効%
有効	結婚して子どもは持たず、仕事を続ける	234	2.7%	2.7%
	結婚して子どもは持たず、結婚の機会に退職する	24	0.3%	0.3%
	結婚して子どもを持ち、仕事を続ける	5417	63.3%	63.3%
	結婚して子どもを持ち、結婚（or出産）の機会にいったん退職後、再び仕事をする	2376	27.8%	27.8%
	結婚して子どもを持ち、結婚（or出産）の機会に退職し、その後は仕事をしない	505	5.9%	5.9%
	合計	8556	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		8556	100.00%	



図表1-21 結婚後の希望するライフスタイル（社会人）

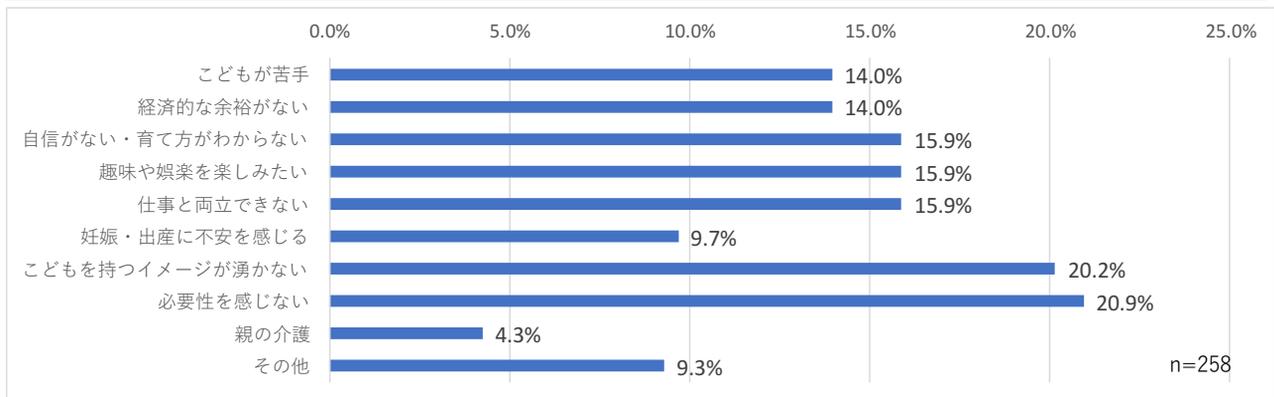
4-2 こどもを持たないライフスタイル希望の理由

こどもを持たないライフスタイル希望にその理由を尋ねたところ、「必要性を感じない」が20.9%と最も多く、次いで「こどもを持つイメージが湧かない」が20.2%となり、学生・生徒と異なる傾向が出ている。

その他、社会人では経済的問題や子育てへの自信がないことも多くあがっており、行政による子育てへの経済的支援施策の充実や、子育てについての現実についての情報の届け方が課題である(学生・生徒も同様の傾向がみられる)。

Q4-1-1 Q. あなたがこどもを持たないライフスタイルを希望する理由は、次のうちどれですか？(いくつでも可)

		度数					有効%			
		yes	no	合計	無回答	非該当	合計	yes	no	合計
1	こどもが苦手	36	222	258	0	8298	8556			
2	経済的な余裕がない	36	222	258	0	8298	8556			
3	自信がない・育て方がわからない	41	217	258	0	8298	8556			
4	趣味や娯楽を楽しみたい	41	217	258	0	8298	8556			
5	仕事と両立できない	41	217	258	0	8298	8556			
6	妊娠・出産に不安を感じる	25	233	258	0	8298	8556			
7	こどもを持つイメージが湧かない	52	206	258	0	8298	8556			
8	必要性を感じない	54	204	258	0	8298	8556			
9	親の介護	11	247	258	0	8298	8556			
10	その他	24	234	258	0	8298	8556			
		%					有効%			
		yes	no	無回答	非該当	合計	yes	no	合計	
1	こどもが苦手	0.4%	2.6%	0.0%	97.0%	100.0%	14.0%	86.0%	100.0%	
2	経済的な余裕がない	0.4%	2.6%	0.0%	97.0%	100.0%	14.0%	86.0%	100.0%	
3	自信がない・育て方がわからない	0.5%	2.5%	0.0%	97.0%	100.0%	15.9%	84.1%	100.0%	
4	趣味や娯楽を楽しみたい	0.5%	2.5%	0.0%	97.0%	100.0%	15.9%	84.1%	100.0%	
5	仕事と両立できない	0.5%	2.5%	0.0%	97.0%	100.0%	15.9%	84.1%	100.0%	
6	妊娠・出産に不安を感じる	0.3%	2.7%	0.0%	97.0%	100.0%	9.7%	90.3%	100.0%	
7	こどもを持つイメージが湧かない	0.6%	2.4%	0.0%	97.0%	100.0%	20.2%	79.8%	100.0%	
8	必要性を感じない	0.6%	2.4%	0.0%	97.0%	100.0%	20.9%	79.1%	100.0%	
9	親の介護	0.1%	2.9%	0.0%	97.0%	100.0%	4.3%	95.7%	100.0%	
10	その他	0.3%	2.7%	0.0%	97.0%	100.0%	9.3%	90.7%	100.0%	



図表1-22 こどもを持たないライフスタイルの理由(社会人)

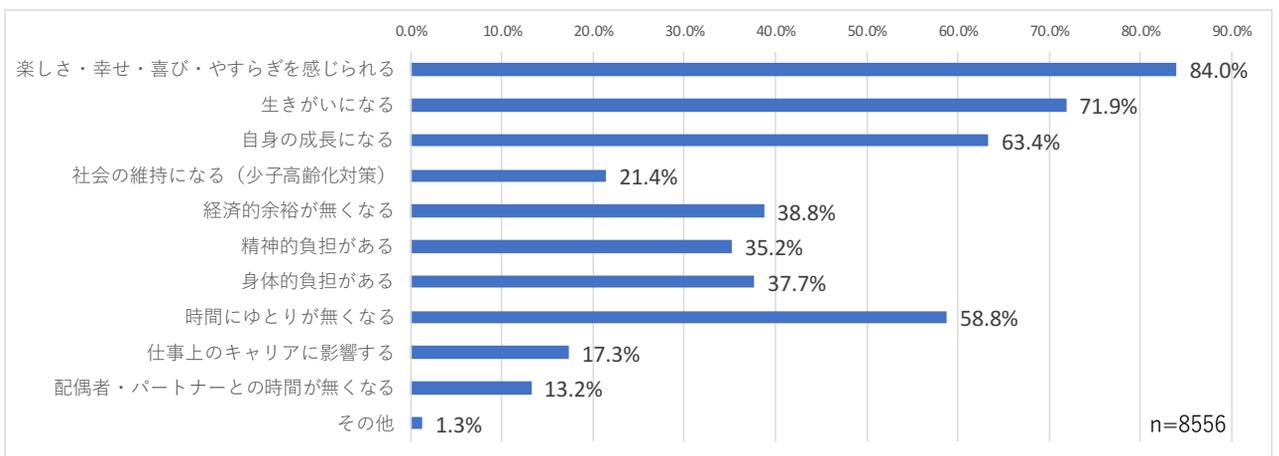
4-3 子育てのイメージ

子育てに対するイメージについて、「楽しさ・幸せ・喜び・やすらぎを感じられる」(84.0%)が最も多く、次いで、「生きがいになる」(71.9%)、「自身の成長になる」(63.4%)であった。

社会人も学生・生徒も子育てのイメージはポジティブだが、「時間にゆとりが無くなる」への回答が58.8%あり、仕事と子育ての両立において、時間への懸念があることがわかる。企業、行政の両方からの、様々な側面における効率の良い子育て生活への支援を必要としていると考えられる。

Q4-2 Q. あなたの子育てに対するイメージ（経験者はその経験において）で当てはまるものは、次のうちどれですか？（いくつでも可）

		度数				合計	有効%		
		yes	no	合計	無回答		合計	yes	no
1	楽しさ・幸せ・喜び・やすらぎを感じられる	7184	1,372	8556	0	8556	84.0%	16.0%	100.0%
2	生きがいになる	6149	2407	8556	0	8556	71.9%	28.1%	100.0%
3	自身の成長になる	5422	3134	8556	0	8556	63.4%	36.6%	100.0%
4	社会の維持になる（少子高齢化対策）	1834	6722	8556	0	8556	21.4%	78.6%	100.0%
5	経済的余裕が無くなる	3316	5240	8556	0	8556	38.8%	61.2%	100.0%
6	精神的負担がある	3011	5545	8556	0	8556	35.2%	64.8%	100.0%
7	身体的負担がある	3226	5330	8556	0	8556	37.7%	62.3%	100.0%
8	時間にゆとりが無くなる	5030	3526	8556	0	8556	58.8%	41.2%	100.0%
9	仕事上のキャリアに影響する	1482	7074	8556	0	8556	17.3%	82.7%	100.0%
10	配偶者・パートナーとの時間が無くなる	1130	7426	8556	0	8556	13.2%	86.8%	100.0%
11	その他	111	8445	8556	0	8556	1.3%	98.7%	100.0%



図表1-23 子育てのイメージ（社会人）

4-4 子育てに必要な支援

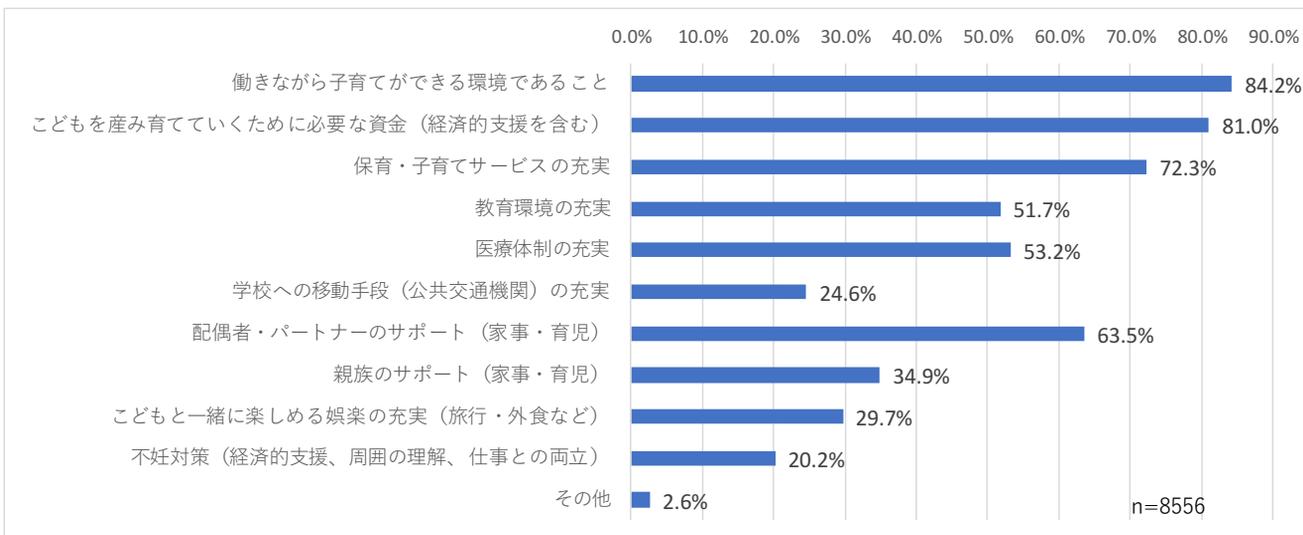
子育て支援で必要なものを尋ねたところ「働きながら子育てができる環境であること」(84.2%)が最も多く、次いで「子どもを産み育てていくために必要な資金(経済的支援を含む)」(81.0%)、「保育・子育てサービスの充実」(72.3%)であった。

学生・生徒と同様の設問を比較するとこれら労働環境、子育て資金、子育てサービスは学生・生徒と同様の傾向だが、社会人は学生・生徒の回答に比べると、「配偶者のサポート(家事・育児)」の割合が高い。

Q4-3 Q. あなたにとって、子育て支援で必要なものは次のうちどれですか？

※重要だと思うものから最大7つまで選べます。

		度数				有効%			
		yes	no	合計	無回答	合計	yes	no	合計
1	働きながら子育てができる環境であること	7207	1,349	8556	0	8556	84.2%	15.8%	100.0%
2	子どもを産み育てていくために必要な資金(経済的支援を含む)	6932	1624	8556	0	8556	81.0%	19.0%	100.0%
3	保育・子育てサービスの充実	6182	2374	8556	0	8556	72.3%	27.7%	100.0%
4	教育環境の充実	4426	4130	8556	0	8556	51.7%	48.3%	100.0%
5	医療体制の充実	4550	4006	8556	0	8556	53.2%	46.8%	100.0%
6	学校への移動手段(公共交通機関)の充実	2104	6452	8556	0	8556	24.6%	75.4%	100.0%
7	配偶者・パートナーのサポート(家事・育児)	5433	3123	8556	0	8556	63.5%	36.5%	100.0%
8	親族のサポート(家事・育児)	2985	5571	8556	0	8556	34.9%	65.1%	100.0%
9	子どもと一緒に楽しめる娯楽の充実(旅行・外食など)	2538	6018	8556	0	8556	29.7%	70.3%	100.0%
10	不妊対策(経済的支援、周囲の理解、仕事との両立)	1726	6830	8556	0	8556	20.2%	79.8%	100.0%
11	その他	223	8333	8556	0	8556	2.6%	97.4%	100.0%



図表1-24 子育てに必要な支援(社会人)

4-5 働きながら子育てができる環境の充実に必要な支援

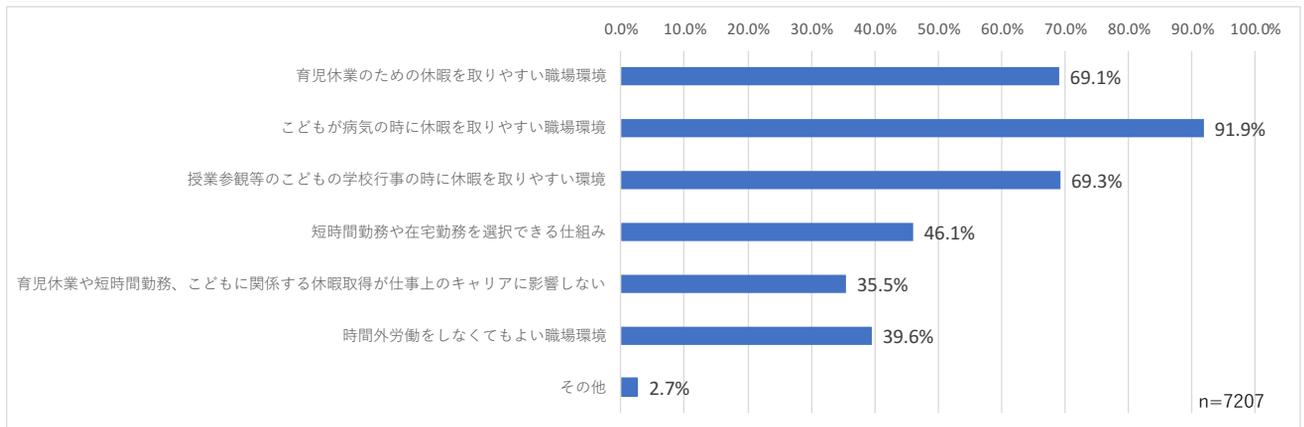
働きながら子育てができる環境の充実に必要な支援では、「こどもが病気の時に休暇を取りやすい職場環境」(91.9%)が最も多く、次いで「授業参観等のこどもの学校行事の時に休暇を取りやすい環境」(69.3%)、「育児休業のための休暇を取りやすい職場環境」(69.1%)であった。

この傾向は学生・生徒にも同様にみられ、育休の取得しやすさ、子どもの病気での休暇取得しやすさだけでなく、育休制度に無い、子どもの学校行事での休暇の取りやすさへのニーズが見える。

Q4-3-1 Q. あなたにとって、働きながら子育てができる環境の充実に必要な支援は、次のうちどれですか？

※重要だと思うものから最大4つまで選べます。

		度数						有効%		
		yes	no	合計	無回答	非該当	合計	yes	no	合計
1	育児休業のための休暇を取りやすい職場環境	4978	2,229	7207	0	1349	8556	69.1%	30.9%	100.0%
2	こどもが病気の時に休暇を取りやすい職場環境	6620	587	7207	0	1349	8556	91.9%	8.1%	100.0%
3	授業参観等のこどもの学校行事の時に休暇を取りやすい環境	4993	2214	7207	0	1349	8556	69.3%	30.7%	100.0%
4	短時間勤務や在宅勤務を選択できる仕組み	3322	3885	7207	0	1349	8556	46.1%	53.9%	100.0%
5	育児休業や短時間勤務、こどもに関する休暇取得が仕事上のキャリアに影響しない	2560	4647	7207	0	1349	8556	35.5%	64.5%	100.0%
6	時間外労働をしなくてもよい職場環境	2851	4356	7207	0	1349	8556	39.6%	60.4%	100.0%
7	その他	198	7009	7207	0	1349	8556	2.7%	97.3%	100.0%



図表1-25 働きながら子育てができる環境の充実に必要な支援（社会人）

4-6 こどもを産み育てていくために必要な資金支援

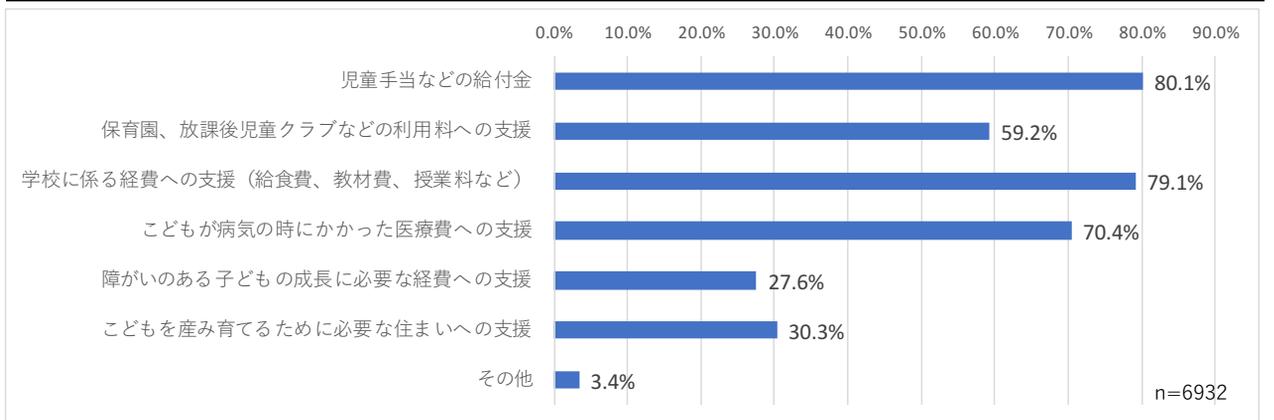
こどもを産み育てていくために必要な資金支援では、「児童手当などの給付金」(80.1%)が最も多く、次いで「学校に係る経費への支援(給食費、教材費、授業料など)」(79.1%)、「こどもが病気の時にかかった医療費への支援」(70.4%)であった。この傾向は学生・生徒も同様である。

多子を希望する家庭ほど金銭的な負担は当然大きくなるため、どのような方法でニーズの高い学校に係る経費への支援や医療費への経済的支援につなげるかが課題である。

Q4-3-2 Q. あなたにとって、こどもを産み育てていくために必要な資金(経済的支援を含む)は、次のうちどれですか？

※重要だと思うものから最大4つまで選べます。

		度数					有効%			
		yes	no	合計	無回答	非該当	合計	yes	no	合計
1	児童手当などの給付金	5554	1,378	6932	0	1624	8556			
2	保育園、放課後児童クラブなどの利用料への支援	4107	2825	6932	0	1624	8556			
3	学校に係る経費への支援(給食費、教材費、授業料など)	5485	1447	6932	0	1624	8556			
4	こどもが病気の時にかかった医療費への支援	4880	2052	6932	0	1624	8556			
5	障がいのある子どもの成長に必要な経費への支援	1912	5020	6932	0	1624	8556			
6	こどもを産み育てるために必要な住まいへの支援	2102	4830	6932	0	1624	8556			
7	その他	237	6695	6932	0	1624	8556			
		%					有効%			
		yes	no	無回答	非該当	合計	yes	no	合計	
1	児童手当などの給付金	64.9%	16.1%	0.0%	19.0%	100.0%	80.1%	19.9%	100.0%	
2	保育園、放課後児童クラブなどの利用料への支援	48.0%	33.0%	0.0%	19.0%	100.0%	59.2%	40.8%	100.0%	
3	学校に係る経費への支援(給食費、教材費、授業料など)	64.1%	16.9%	0.0%	19.0%	100.0%	79.1%	20.9%	100.0%	
4	こどもが病気の時にかかった医療費への支援	57.0%	24.0%	0.0%	19.0%	100.0%	70.4%	29.6%	100.0%	
5	障がいのある子どもの成長に必要な経費への支援	22.3%	58.7%	0.0%	19.0%	100.0%	27.6%	72.4%	100.0%	
6	こどもを産み育てるために必要な住まいへの支援	24.6%	56.5%	0.0%	19.0%	100.0%	30.3%	69.7%	100.0%	
7	その他	2.8%	78.2%	0.0%	19.0%	100.0%	3.4%	96.6%	100.0%	



図表1-26 こどもを産み育てていくために必要な資金支援(社会人)

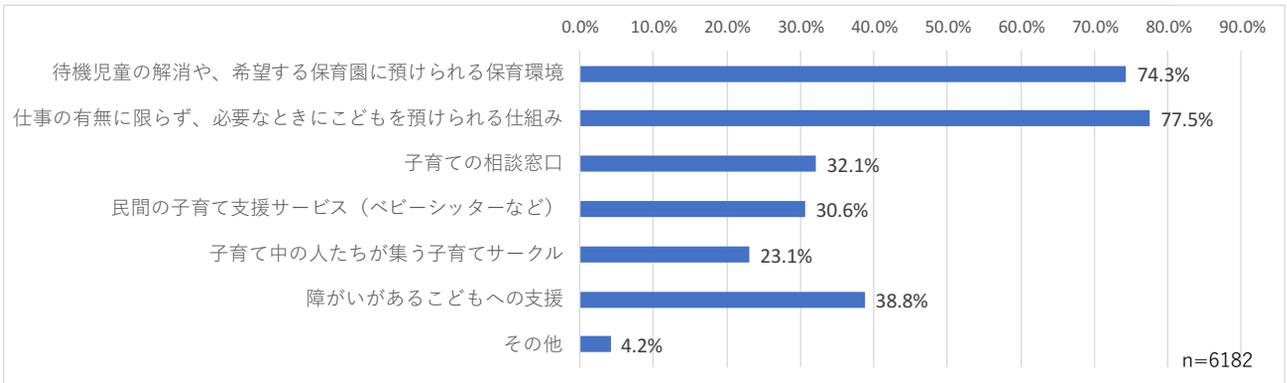
4-7 保育・子育てサービスの充実のために必要な支援

保育・子育てサービスの充実のために必要な支援では、「仕事の有無に限らず、必要なときに子どもを預けられる仕組み」(77.5%)が最も多く、次いで「待機児童の解消や、希望する保育園に預けられる保育環境」(74.3%)となっており、保育への支援が群を抜いてニーズが高くなっている。共働きが多い今回の回答者において、高いニーズがある可能性があり子育て環境の整備の課題といえる。

Q4-3-3 Q. あなたにとって、保育・子育てサービスの充実のために必要な支援は次のうちどれですか？

※重要だと思うものから最大4つまで選べます。

		度数					有効%			
		yes	no	合計	無回答	非該当	合計	yes	no	合計
1	待機児童の解消や、希望する保育園に預けられる保育環境	4594	1,588	6182	0	2374	8556			
2	仕事の有無に限らず、必要なときに子どもを預けられる仕組み	4791	1391	6182	0	2374	8556			
3	子育ての相談窓口	1987	4195	6182	0	2374	8556			
4	民間の子育て支援サービス（ベビーシッターなど）	1894	4288	6182	0	2374	8556			
5	子育て中の人たちが集う子育てサークル	1425	4757	6182	0	2374	8556			
6	障がいがある子どもへの支援	2396	3786	6182	0	2374	8556			
7	その他	257	5925	6182	0	2374	8556			
		%					有効%			
		yes	no	無回答	非該当	合計	yes	no	合計	
1	待機児童の解消や、希望する保育園に預けられる保育環境	53.7%	18.6%	0.0%	27.7%	100.0%	74.3%	25.7%	100.0%	
2	仕事の有無に限らず、必要なときに子どもを預けられる仕組み	56.0%	16.3%	0.0%	27.7%	100.0%	77.5%	22.5%	100.0%	
3	子育ての相談窓口	23.2%	49.0%	0.0%	27.7%	100.0%	32.1%	67.9%	100.0%	
4	民間の子育て支援サービス（ベビーシッターなど）	22.1%	50.1%	0.0%	27.7%	100.0%	30.6%	69.4%	100.0%	
5	子育て中の人たちが集う子育てサークル	16.7%	55.6%	0.0%	27.7%	100.0%	23.1%	76.9%	100.0%	
6	障がいがある子どもへの支援	28.0%	44.2%	0.0%	27.7%	100.0%	38.8%	61.2%	100.0%	
7	その他	3.0%	69.2%	0.0%	27.7%	100.0%	4.2%	95.8%	100.0%	



図表1-27 保育・子育てサービスの充実のために必要な支援（社会人）

4-8 教育環境の充実のために必要な支援

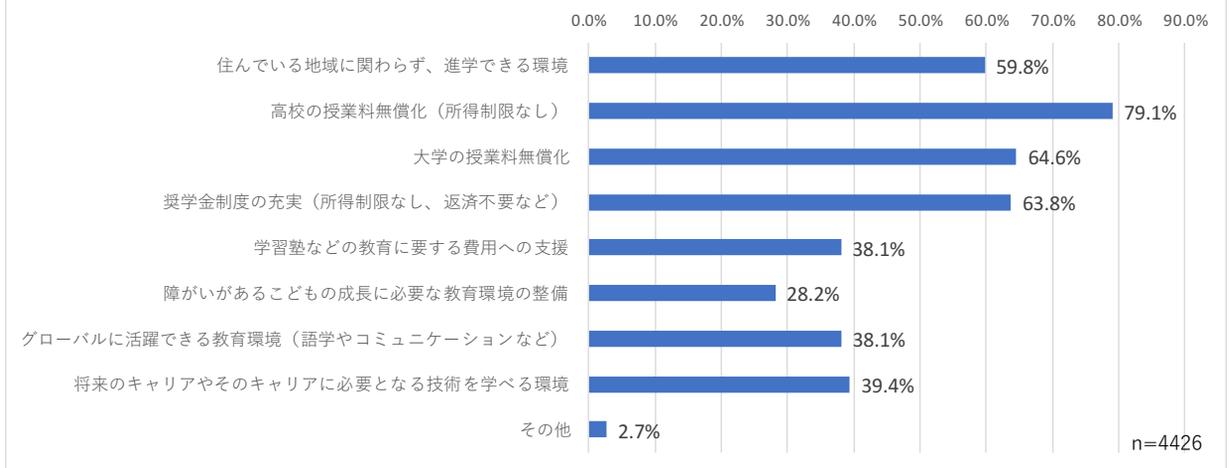
教育環境の充実のために必要な支援では、「高校の授業料無償化（所得制限なし）」(79.1%)が最も多く、次いで「大学の授業料無償化」(64.6%)、「奨学金制度の充実（所得制限なし、返済不要など）」(63.8%)が上位3つとなった。

高校の授業料無償化は学生・生徒での回答でも共通しているが、社会人は学生・生徒と異なり、大学の学費の無償化や奨学金制度の充実も回答が多い。

Q4-3-4 Q. あなたにとって、教育環境の充実のために必要な支援は次のうちどれですか？

※重要だと思うものから最大5つまで選べます。

		度数						有効%		
		yes	no	合計	無回答	非該当	合計	yes	no	合計
1	住んでいる地域に関わらず、進学できる環境	2645	1,781	4426	0	4130	8556			
2	高校の授業料無償化（所得制限なし）	3499	927	4426	0	4130	8556			
3	大学の授業料無償化	2859	1567	4426	0	4130	8556			
4	奨学金制度の充実（所得制限なし、返済不要など）	2822	1604	4426	0	4130	8556			
5	学習塾などの教育に要する費用への支援	1685	2741	4426	0	4130	8556			
6	障がいがあるこどもの成長に必要な教育環境の整備	1247	3179	4426	0	4130	8556			
7	グローバルに活躍できる教育環境（語学やコミュニケーションなど）	1687	2739	4426	0	4130	8556			
8	将来のキャリアやそのキャリアに必要な技術を学べる環境	1745	2681	4426	0	4130	8556			
9	その他	121	4305	4426	0	4130	8556			
		%					有効%			
		yes	no	無回答	非該当	合計	yes	no	合計	
1	住んでいる地域に関わらず、進学できる環境	30.9%	20.8%	0.0%	48.3%	100.0%	59.8%	40.2%	100.0%	
2	高校の授業料無償化（所得制限なし）	40.9%	10.8%	0.0%	48.3%	100.0%	79.1%	20.9%	100.0%	
3	大学の授業料無償化	33.4%	18.3%	0.0%	48.3%	100.0%	64.6%	35.4%	100.0%	
4	奨学金制度の充実（所得制限なし、返済不要など）	33.0%	18.7%	0.0%	48.3%	100.0%	63.8%	36.2%	100.0%	
5	学習塾などの教育に要する費用への支援	19.7%	32.0%	0.0%	48.3%	100.0%	38.1%	61.9%	100.0%	
6	障がいがあるこどもの成長に必要な教育環境の整備	14.6%	37.2%	0.0%	48.3%	100.0%	28.2%	71.8%	100.0%	
7	グローバルに活躍できる教育環境（語学やコミュニケーションなど）	19.7%	32.0%	0.0%	48.3%	100.0%	38.1%	61.9%	100.0%	
8	将来のキャリアやそのキャリアに必要な技術を学べる環境	20.4%	31.3%	0.0%	48.3%	100.0%	39.4%	60.6%	100.0%	
9	その他	1.4%	50.3%	0.0%	48.3%	100.0%	2.7%	97.3%	100.0%	



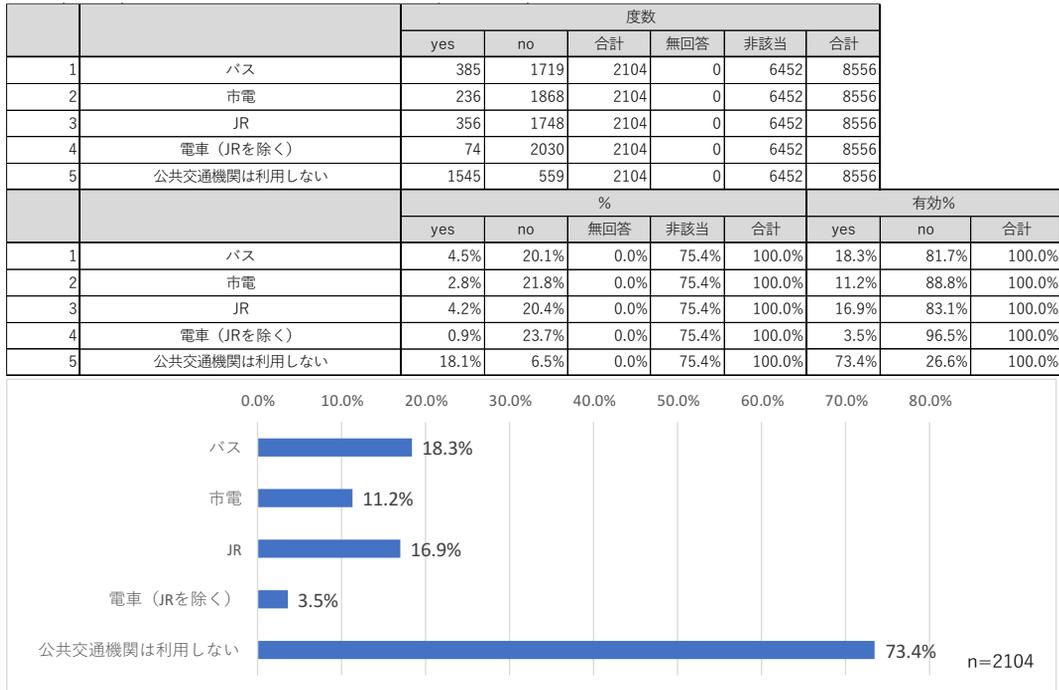
図表1-28 教育環境の充実のために必要な支援（社会人）

4-9 よく利用する交通機関と子育て中の不便感

よく利用する交通機関を尋ねたところ、「交通機関を利用しない」が73.4%と最も多く、バス・市電・JR等を利用すると回答した人の割合は全体の2割にも満たなかった。車社会である熊本県であることからこの結果になったと考えられる。

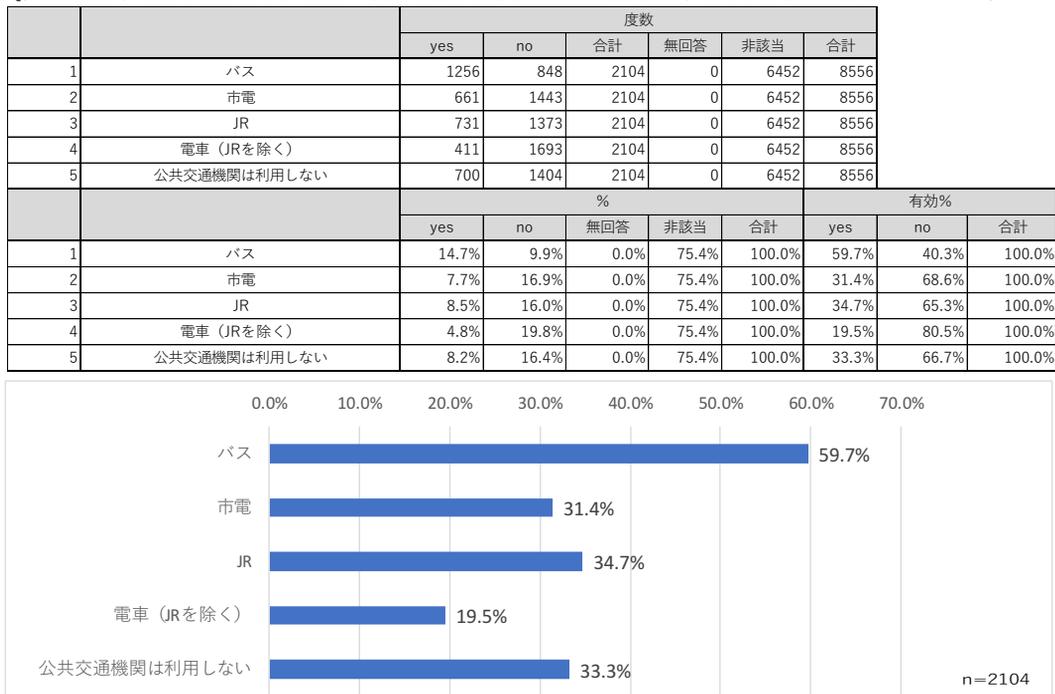
また、子育て中に不便を感じることもある交通機関は、「バス」が59.7%と最も多く、次いで「JR」が34.7%、「市電」が31.4%という結果であった。今後、どのような部分で不便を感じるのか、どのように改善していくべきかを利用者目線で検討し対策していくことで、子育てをしやすい環境づくりに繋がると考えられる。

Q4-3-5-1 Q. あなたがよく利用する交通機関は、次のうちどれですか？（いくつでも可）



図表1-29 よく利用する交通機関（社会人）

Q4-3-5-2 Q. あなたが、もしくは子育て中の方が不便さを感じることもある交通機関は、次のうちどれだと思いますか？（いくつでも可）



図表1-30 子育て中に不便を感じる交通機関（社会人）

4-10 生活環境とこどもの人数（現在、理想、現実）

現在の生活環境を尋ねた上で、「現在持つこどもの人数」と「理想的だと思うこどもの人数」、そして「今後、現実的に持つこどもの人数」をそれぞれ尋ねた。

前提条件である生活環境は、回答者の約7割が「家族との同居」で「家事・育児・介護などを助けてくれる人がいる」状況であった。また、現在生活する前に住んでいた場所は75%が熊本県内の回答者である。

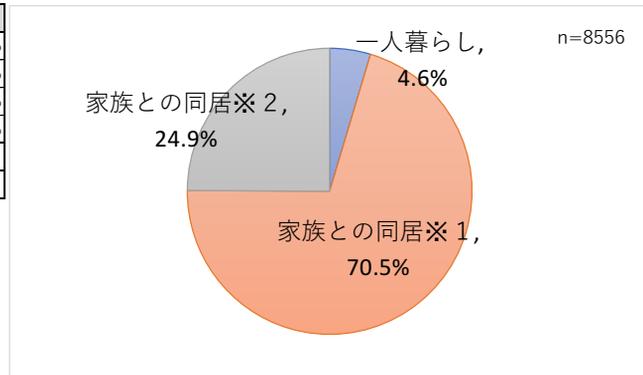
現在持つこどもの人数は、「2人」と回答したのが38.2%で最も多く、次いで「3人」(23.8%)であった。次に、理想的なこどもの人数については、「3人」と回答した人の割合が50%と最も多く、3人目のこどもを希望する一方で、現在持つこどもの人数は0人～2人の合計が7割となっていることから、理想と現実のギャップが見受けられる。ここから様々な要因で希望のこどもの人数を持っていない可能性が考えられる。

Q4-4 Q. あなたの生活環境は、次のうちどれですか？

		度数	%	有効%
有効	一人暮らし	397	4.6%	4.6%
	家族との同居※1	6028	70.5%	70.5%
	家族との同居※2	2131	24.9%	24.9%
	合計	8556	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		8556	100.0%	

※1（家事・育児・介護などを助けてくれる人がいる）

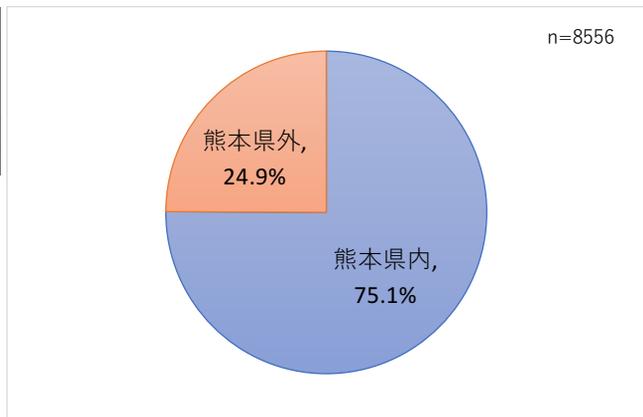
※2（家事・育児・介護などを助けてくれる人がいない）



図表1-31 生活環境（社会人）

Q4-8 Q. あなたが現在の生活をする前に住んでいた地域は、県内or県外のどちらですか？

		度数	%	有効%
有効	熊本県内	6424	75.1%	75.1%
	熊本県外	2132	24.9%	24.9%
	合計	8556	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		8556	100.0%	

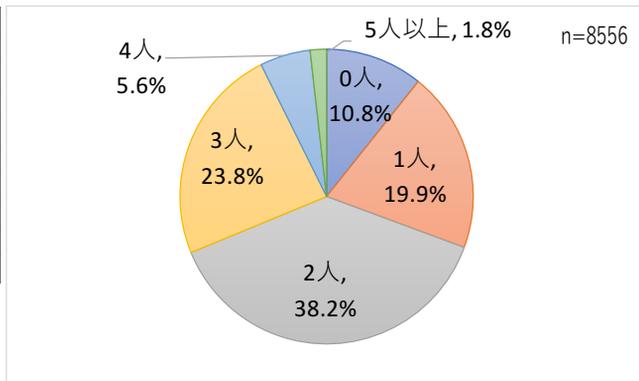


図表1-32 以前住んでいた地域（県内外）

Q4-5

Q. 現在、あなたが持つお子さんの人数は、次のうちどれですか？

		度数	%	有効%
有効	0人	920	10.8%	10.8%
	1人	1700	19.9%	19.9%
	2人	3267	38.2%	38.2%
	3人	2039	23.8%	23.8%
	4人	476	5.6%	5.6%
	5人以上	154	1.8%	1.8%
	合計	8556	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		8556	100.0%	

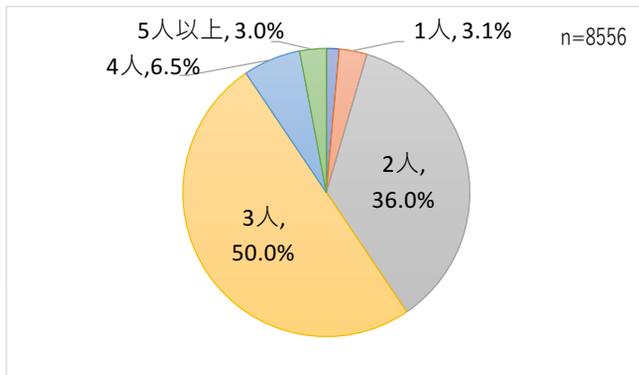


図表1-33 現在のこどもの人数 (社会人)

Q4-6

Q. 現在、あなたが理想的だと思うお子さんの人数は、次のうちどれですか？

		度数	%	有効%
有効	0人	123	1.4%	1.4%
	1人	268	3.1%	3.1%
	2人	3078	36.0%	36.0%
	3人	4277	50.0%	50.0%
	4人	554	6.5%	6.5%
	5人以上	256	3.0%	3.0%
	合計	8556	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		8556	100.0%	

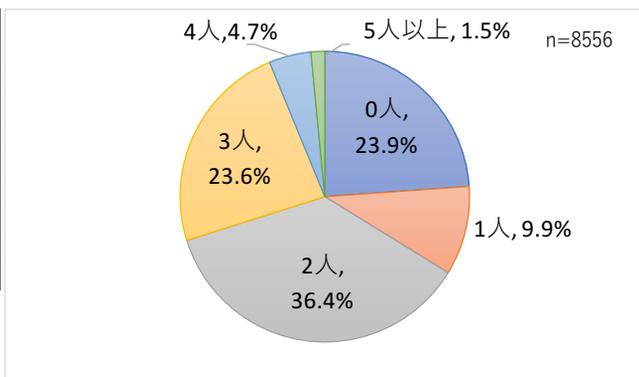


図表1-34 理想のこどもの人数 (社会人)

Q4-7

Q. あなたが今後、現実的に持つ (または持つ予定) のお子さんの人数 (総数) は、次のうちどれですか？

		度数	%	有効%
有効	0人	2043	23.9%	23.9%
	1人	846	9.9%	9.9%
	2人	3112	36.4%	36.4%
	3人	2022	23.6%	23.6%
	4人	402	4.7%	4.7%
	5人以上	131	1.5%	1.5%
	合計	8556	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		8556	100.0%	



図表1-35 今後現実的に持つこどもの人数 (社会人)

4-11 理想のこどもの人数より少ない理由

現実的に産み育てる予定(計画)のこどもの数が、産み育てたいと思う理想的なこどもの数より少ない回答をした方に「理想の人数より少ない理由」を尋ねたところ、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が55.3%で他の回答よりも群を抜いて最も多い結果となった。

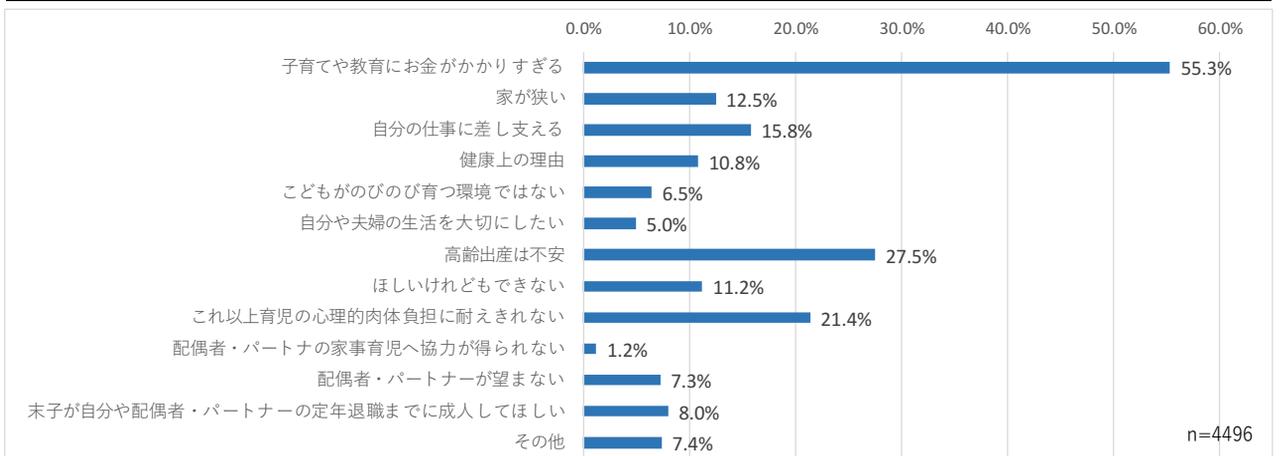
ここまでの結果からも理想では多子を望む生活者は多いが、子育て環境に加えて子育てに係る経済的要因がその障壁になっていることがわかる。

※現実的に産み育てる予定(計画)のお子さんの数が、産み育てたいと思う理想的なお子さんの数より少ない人のみお答えください。

Q4-9

Q. 理想の人数より少ない理由は、次のうちどれですか？(いくつでも可)

		度数					有効%			
		yes	no	合計	無回答	非該当	合計	yes	no	合計
1	子育てや教育にお金がかかりすぎる	2487	2009	4496	0	4060	8556			
2	家が狭い	561	3935	4496	0	4060	8556			
3	自分の仕事に差し支える	710	3786	4496	0	4060	8556			
4	健康上の理由	487	4009	4496	0	4060	8556			
5	こどもがのびのび育つ環境ではない	290	4206	4496	0	4060	8556			
6	自分や夫婦の生活を大切にしたい	223	4273	4496	0	4060	8556			
7	高齢出産は不安	1237	3259	4496	0	4060	8556			
8	ほしいけれどもできない	505	3991	4496	0	4060	8556			
9	これ以上育児の心理的肉体負担に耐えきれない	961	3535	4496	0	4060	8556			
10	配偶者・パートナーの家事育児へ協力が得られない	56	4440	4496	0	4060	8556			
11	配偶者・パートナーが望まない	327	4169	4496	0	4060	8556			
12	末子が自分や配偶者・パートナーの定年退職までに成人してほしい	360	4136	4496	0	4060	8556			
13	その他	333	4163	4496	0	4060	8556			
		%					有効%			
		yes	no	無回答	非該当	合計	yes	no	合計	
1	子育てや教育にお金がかかりすぎる	29.1%	23.5%	0.0%	47.5%	100.0%	55.3%	44.7%	100.0%	
2	家が狭い	6.6%	46.0%	0.0%	47.5%	100.0%	12.5%	87.5%	100.0%	
3	自分の仕事に差し支える	8.3%	44.2%	0.0%	47.5%	100.0%	15.8%	84.2%	100.0%	
4	健康上の理由	5.7%	46.9%	0.0%	47.5%	100.0%	10.8%	89.2%	100.0%	
5	こどもがのびのび育つ環境ではない	3.4%	49.2%	0.0%	47.5%	100.0%	6.5%	93.5%	100.0%	
6	自分や夫婦の生活を大切にしたい	2.6%	49.9%	0.0%	47.5%	100.0%	5.0%	95.0%	100.0%	
7	高齢出産は不安	14.5%	38.1%	0.0%	47.5%	100.0%	27.5%	72.5%	100.0%	
8	ほしいけれどもできない	5.9%	46.6%	0.0%	47.5%	100.0%	11.2%	88.8%	100.0%	
9	これ以上育児の心理的肉体負担に耐えきれない	11.2%	41.3%	0.0%	47.5%	100.0%	21.4%	78.6%	100.0%	
10	配偶者・パートナーの家事育児へ協力が得られない	0.7%	51.9%	0.0%	47.5%	100.0%	1.2%	98.8%	100.0%	
11	配偶者・パートナーが望まない	3.8%	48.7%	0.0%	47.5%	100.0%	7.3%	92.7%	100.0%	
12	末子が自分や配偶者・パートナーの定年退職までに成人してほしい	4.2%	48.3%	0.0%	47.5%	100.0%	8.0%	92.0%	100.0%	
13	その他	3.9%	48.7%	0.0%	47.5%	100.0%	7.4%	92.6%	100.0%	



図表1-36 理想のこどもの人数より少ない理由(社会人)

4-12 不妊治療の経験と不妊治療期間での働き方

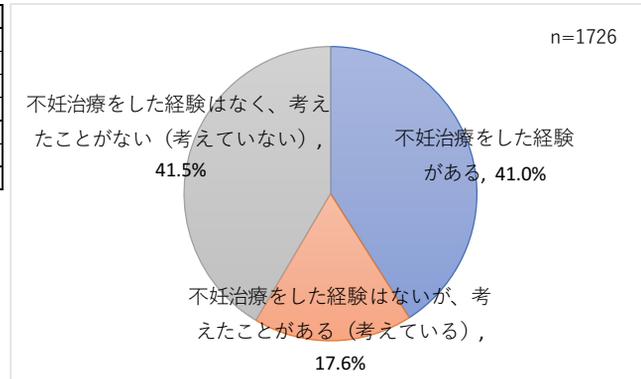
不妊治療の経験について尋ねたところ、回答者の4割超が「不妊治療をした経験がある」と答えた。そのうち、不妊治療期間での働き方では「仕事をしながら不妊治療をした」が79.9%で、仕事と不妊治療を両立したとの回答が約8割と多い。

不妊治療をする際に自身や配偶者・パートナーが不安を感じている（感じたもの）として、「金銭的な負担」(91.1%)が最も多く、次いで「不妊治療と仕事の両立」(62.7%)となり、不安要因として経済的負担、仕事との両立、精神的ストレスがあがった。

子どもを望んでいる不妊に悩む世帯は、働きながら精神的ストレスや経済的負担に耐えながら不妊治療を行っており、子どもをもつという希望をかなえようとしている。この状況への様々な支援も重要だと考えられる。

Q4-3-6 Q. 不妊治療について、あなたや配偶者・パートナーが当てはまるのは、次のうちどれですか？

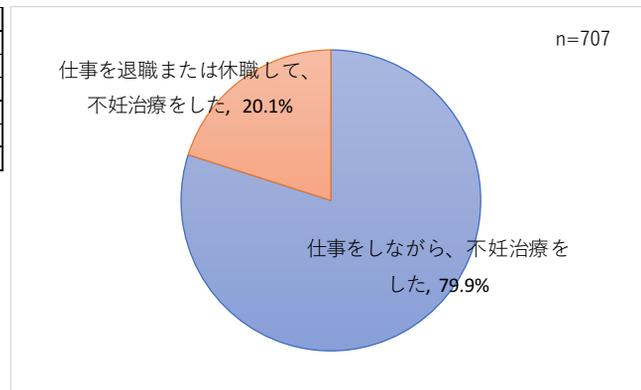
		度数	%	有効%
有効	不妊治療をした経験がある	707	8.3%	41.0%
	不妊治療をした経験はないが、考えたことがある（考えている）	303	3.5%	17.6%
	不妊治療をした経験はなく、考えたことがない（考えていない）	716	8.4%	41.5%
	合計	1726	20.2%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
	非該当	6830	79.8%	
合計		8556	100.0%	



図表1-37 不妊治療の経験

Q4-10-1 Q. あなたの不妊治療期間での働き方ではまるものは、次のうちどれですか？

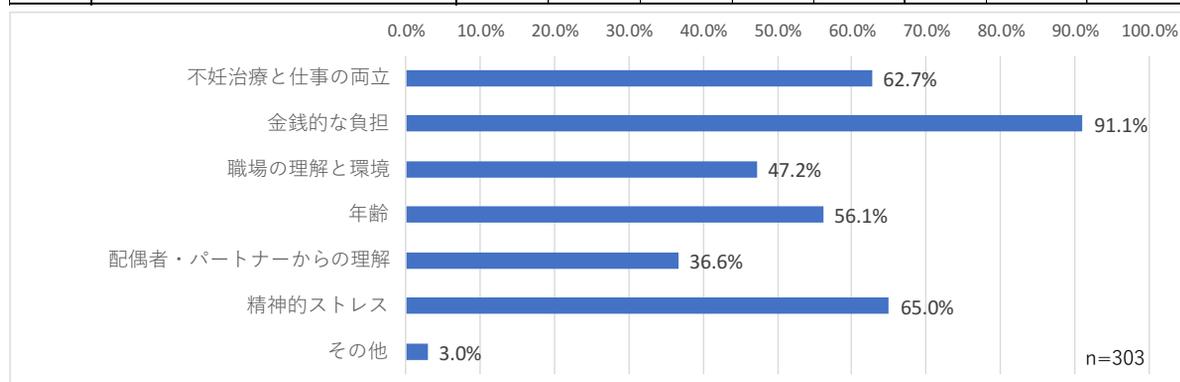
		度数	%	有効%
有効	仕事をしながら、不妊治療をした	565	6.6%	79.9%
	仕事を退職または休職して、不妊治療をした	142	1.7%	20.1%
	合計	707	8.3%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
	非該当	7849	91.7%	
合計		8556	100.0%	



図表1-38 不妊治療期間の働き方

Q4-10-2 Q. 不妊治療をする際にあなたや配偶者・パートナーが不安を感じている（感じたもの）は次のどれですか？（いくつでも可）

		度数					有効%			
		yes	no	合計	無回答	非該当	合計	yes	no	合計
1	不妊治療と仕事の両立	190	113	303	0	8253	8556			
2	金銭的な負担	276	27	303	0	8253	8556			
3	職場の理解と環境	143	160	303	0	8253	8556			
4	年齢	170	133	303	0	8253	8556			
5	配偶者・パートナーからの理解	111	192	303	0	8253	8556			
6	精神的ストレス	197	106	303	0	8253	8556			
7	その他	9	294	303	0	8253	8556			
		%					有効%			
		yes	no	無回答	非該当	合計	yes	no	合計	
1	不妊治療と仕事の両立	2.2%	1.3%	0.0%	96.5%	100.0%	62.7%	37.3%	100.0%	
2	金銭的な負担	3.2%	0.3%	0.0%	96.5%	100.0%	91.1%	8.9%	100.0%	
3	職場の理解と環境	1.7%	1.9%	0.0%	96.5%	100.0%	47.2%	52.8%	100.0%	
4	年齢	2.0%	1.6%	0.0%	96.5%	100.0%	56.1%	43.9%	100.0%	
5	配偶者・パートナーからの理解	1.3%	2.2%	0.0%	96.5%	100.0%	36.6%	63.4%	100.0%	
6	精神的ストレス	2.3%	1.2%	0.0%	96.5%	100.0%	65.0%	35.0%	100.0%	
7	その他	0.1%	3.4%	0.0%	96.5%	100.0%	3.0%	97.0%	100.0%	



図表1-39 不妊治療で不安を感じるもの

2章 〔学生・生徒〕

■ 2章 学生・生徒

1 回答者の基本属性

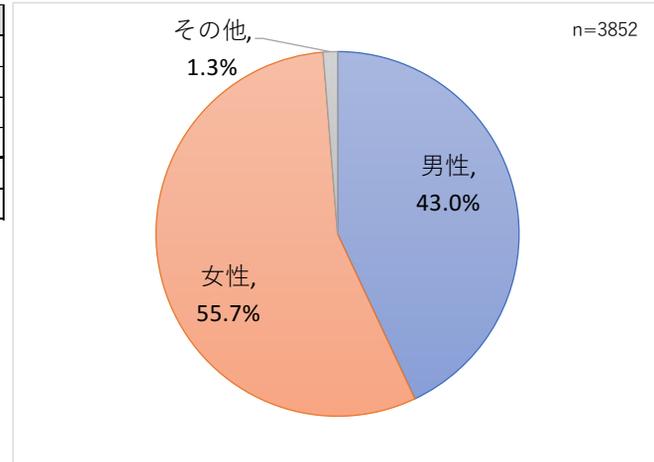
1-1 性年代、最終学歴、居住エリア

性別は、男性1,656人（40.3%）、女性2,147人（55.7%）、その他含め合計3,852人が回答。10代は中高生を中心に、大学生まで広く若者の回答を県内各地域から回答を得た。

q1-1 あなたについてお聞かせください。

Q. あなたの性別は、次のうちどれですか？

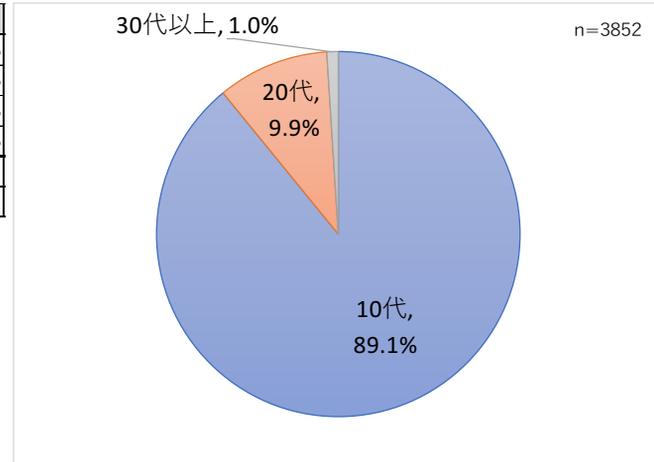
		度数	%	有効%
有効	男性	1656	43.0%	43.0%
	女性	2147	55.7%	55.7%
	その他	49	1.3%	1.3%
	合計	3852	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		3852	100.0%	



図表2-1 性別（学生・生徒）

q1-2 Q. あなたの年齢（年代）は、次のうちどれですか？

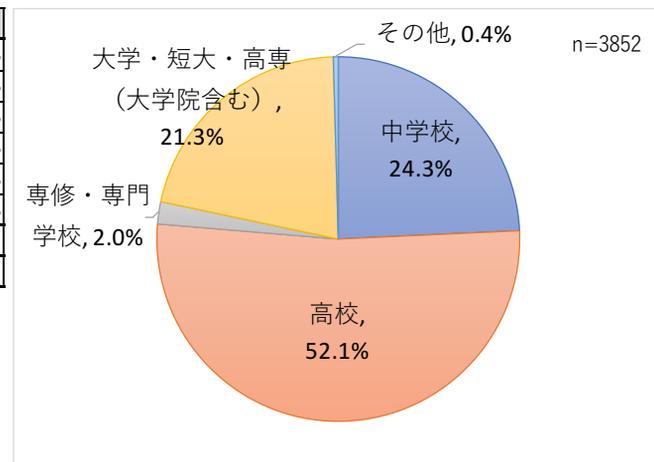
		度数	%	有効%
有効	10代	3431	89.1%	89.1%
	20代	382	9.9%	9.9%
	30代以上	39	1.0%	1.0%
	合計	3852	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		3852	100.0%	



図表2-2 年代（学生・生徒）

q1-3 Q. 現在、あなたが在学中なのは、次のどれですか？

		度数	%	有効%
有効	中学校	935	24.3%	24.3%
	高校	2005	52.1%	52.1%
	専修・専門学校	76	2.0%	2.0%
	大学・短大・高専（大学院含む）	819	21.3%	21.3%
	その他	17	0.4%	0.4%
	合計	3852	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		3852	100.0%	



図表2-3 学歴（学生・生徒）

q1-4 Q. あなたの居住地域は、次のうちどれですか？

		度数	%	有効%
有効	熊本市	984	25.5%	25.5%
	県央	224	5.8%	5.8%
	県北	1346	34.9%	34.9%
	県南	561	14.6%	14.6%
	阿蘇	322	8.4%	8.4%
	天草	415	10.8%	10.8%
	合計	3852	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		3852	100.00%	

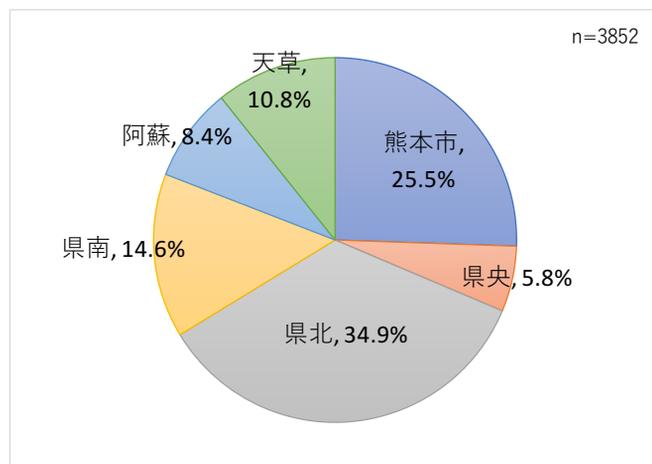
※県央（宇土市 / 宇城市 / 下益城郡 / 上益城郡）

※県北（荒尾市 / 玉名市 / 玉名郡 / 山鹿市 / 菊池市 / 合志市 / 菊池郡）

※県南（八代市 / 八代郡 / 水俣市 / 葦北郡 / 人吉市 / 球磨郡）

※阿蘇（阿蘇市 / 阿蘇郡）

※天草（天草市 / 上天草市 / 天草郡）



図表2-4 居住エリア (学生・生徒)

2 熊本での生活

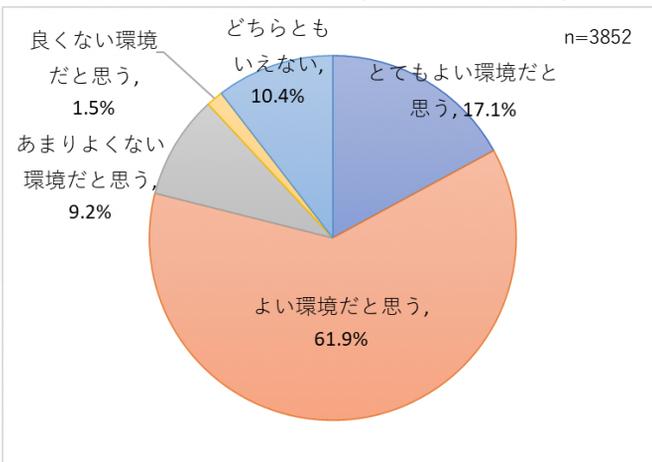
2-1 熊本で働き生活する環境/将来働きたいと思う場所

熊本で働き生活していく環境について、県外（大都市圏）と比べどうかを尋ねたところ、「とてもよい環境だと思う」（17.1%）「よい環境だと思う」（61.9%）が全体の約8割（79.0%）を占め、熊本で働く環境を良いと思っており、社会人よりも回答割合が高く希望が持てる結果となった（8ページ参照）。実際に働き生活しやすいと思ってもらえる環境を整えることが熊本県として必要である。

一方で、約8割が熊本で働く環境をよいと回答しているにもかかわらず、熊本県内に就職を希望する学生・生徒の割合は36.5%、「わからない」が35.1%となっている。この要因は何か明らかにする必要がある。

q2-1 Q. あなたにとって、熊本で働き生活していく環境は、県外（大都市圏）と比べた場合、次のどれだと思いますか？（※イメージで結構です）

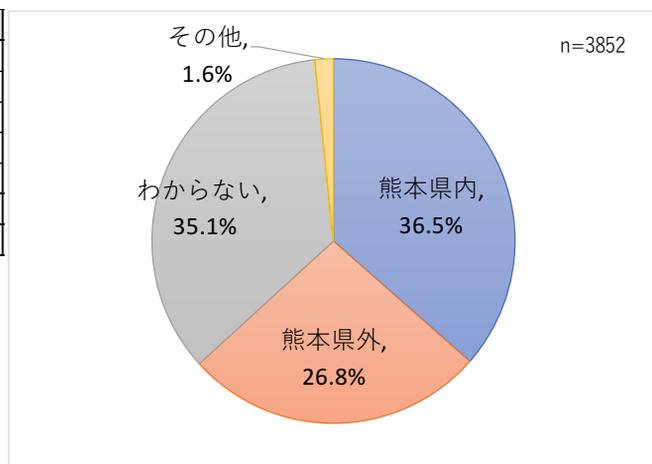
		度数	%	有効%
有効	とてもよい環境だと思う	657	17.1%	17.1%
	よい環境だと思う	2384	61.9%	61.9%
	あまりよくない環境だと思う	353	9.2%	9.2%
	良くない環境だと思う	57	1.5%	1.5%
	どちらともいえない	401	10.4%	10.4%
	合計	3852	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		3852	100.00%	



図表2-5 熊本で働き生活していく環境 (県外比較)

q2-2 Q. あなたが将来、働きたいと思う場所は、次のどれですか？

		度数	%	有効%
有効	熊本県内	1405	36.5%	36.5%
	熊本県外	1031	26.8%	26.8%
	わからない	1353	35.1%	35.1%
	その他	63	1.6%	1.6%
	合計	3852	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		3852	100.00%	



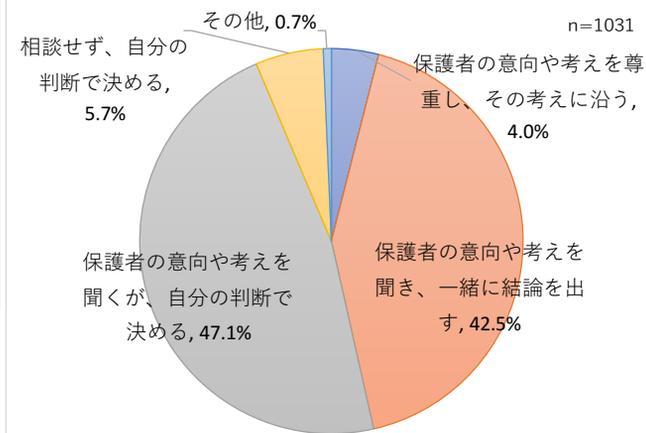
図表2-6 将来働きたいと思う場所

2-2 親との意向違いの場合の行動（県外就職希望）

県外で就職を希望し、それが保護者の意向(考え)と合わない場合にどのような行動をとるかを尋ねたところ、「保護者の意向や考えを尊重し、その考えに沿う」と答えたのは4.0%と最も少なく、「保護者の意向や考えを聞くが、自分の判断で決める」が約半数の47.1%、次いで「保護者の意向や考えを聞き、一緒に結論を出す」が42.5%であった。

q2-2-1 Q. あなたが県外での就職を希望し、それが保護者の意向(考え)と合わない場合、あなたはどのような行動をとると思いますか？

		度数	%	有効%
有効	保護者の意向や考えを尊重し、その考えに沿う	41	1.1%	4.0%
	保護者の意向や考えを聞き、一緒に結論を出す	438	11.4%	42.5%
	保護者の意向や考えを聞くが、自分の判断で決める	486	12.6%	47.1%
	相談せず、自分の判断で決める	59	1.5%	5.7%
	その他	7	0.2%	0.7%
	合計	1031	26.8%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
	非該当	2821	73.2%	
合計		3852	100.00%	



図表2-7 親との意向違いの場合の行動(県外就職希望)

2-3 熊本での社会人生活で充実させてほしいもの

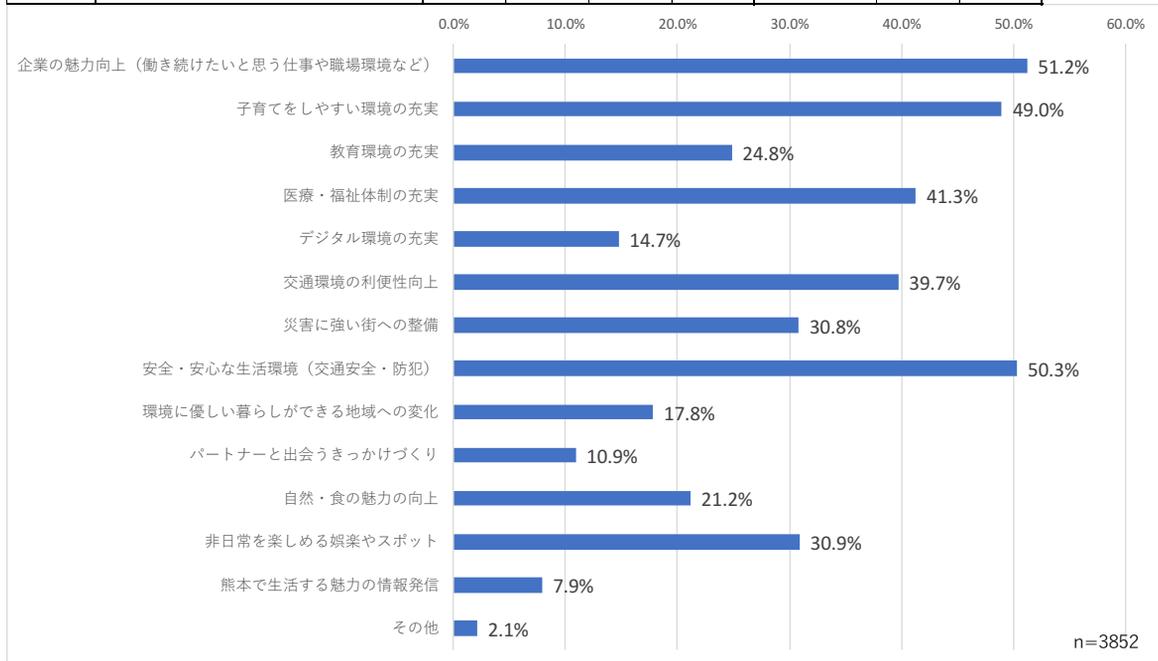
もし熊本で社会人として生活していくとしたら、という仮定で「充実させてほしいもの」を尋ねたところ、「企業の魅力の向上（働き続けたいと思う仕事や職場環境など）」（51.2%）や「子育てしやすい環境の充実」（49.0%）、「医療・福祉体制の充実」（41.3%）、「交通環境の利便性向上」（39.7%）、「安全・安心な生活環境（交通安全・防犯）」（50.3%）であった。

これは「若年層が熊本に定着するために充実させるべきもの」という設問に対する社会人の回答と共通している（9ページ参照）。

q2-3 Q. あなたがもし熊本で社会人として生活していくとしたら、充実させてほしいものは次のうちどれですか？

※重要と思うものから最大5つまで選べます。

		度数				有効%			
		yes	no	合計	無回答	合計	yes	no	合計
1	企業の魅力向上（働き続けたいと思う仕事や職場環境など）	1973	1879	3852	0	3852	51.2%	48.8%	100.0%
2	子育てをしやすい環境の充実	1886	1966	3852	0	3852	49.0%	51.0%	100.0%
3	教育環境の充実	957	2895	3852	0	3852	24.8%	75.2%	100.0%
4	医療・福祉体制の充実	1590	2262	3852	0	3852	41.3%	58.7%	100.0%
5	デジタル環境の充実	568	3284	3852	0	3852	14.7%	85.3%	100.0%
6	交通環境の利便性向上	1530	2322	3852	0	3852	39.7%	60.3%	100.0%
7	災害に強い街への整備	1187	2665	3852	0	3852	30.8%	69.2%	100.0%
8	安全・安心な生活環境（交通安全・防犯）	1938	1914	3852	0	3852	50.3%	49.7%	100.0%
9	環境に優しい暮らしができる地域への変化	686	3166	3852	0	3852	17.8%	82.2%	100.0%
10	パートナーと出会うきっかけづくり	420	3432	3852	0	3852	10.9%	89.1%	100.0%
11	自然・食の魅力の向上	815	3037	3852	0	3852	21.2%	78.8%	100.0%
12	非日常を楽しめる娯楽やスポット	1190	2662	3852	0	3852	30.9%	69.1%	100.0%
13	熊本で生活する魅力の情報発信	305	3547	3852	0	3852	7.9%	92.1%	100.0%
14	その他	80	3772	3852	0	3852	2.1%	97.9%	100.0%



図表2-8 熊本での社会人生活で充実させてほしいもの

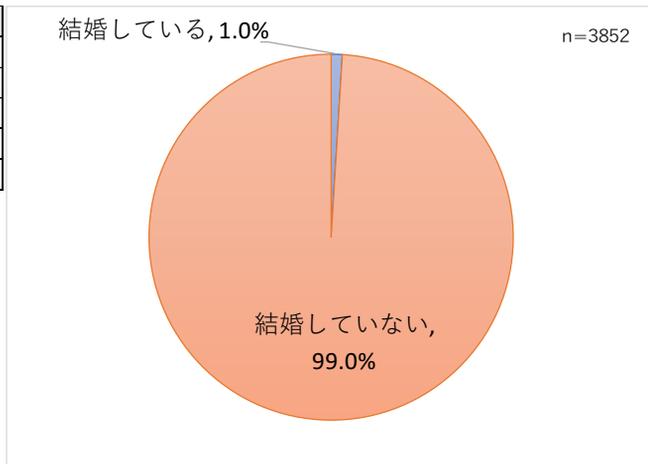
3 結婚観（学生・生徒）

3-1 既婚・未婚/将来の結婚意向

将来の結婚意向について、結婚願望がある学生・生徒の割合（「とても結婚したいと思う」、「できれば結婚したいと思う」、「将来は結婚したいが今は考えていない」の合計）は76.8%であった。これは未婚化・非婚化が懸念される現代において有効な数字であり、結婚にどのような理想や希望を抱いているのかなどをさらに調査する価値があると考えられる。

q3 Q. あなたは現在結婚していますか？

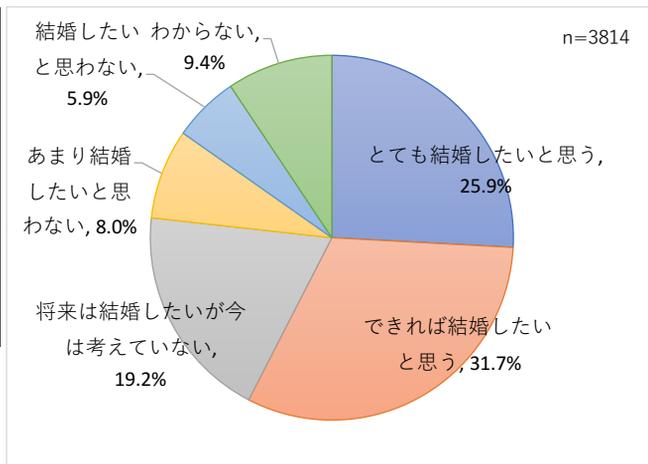
		度数	%	有効%
有効	結婚している	38	1.0%	1.0%
	結婚していない	3814	99.0%	99.0%
	合計	3852	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		3852	100.00%	



図表2-9 既婚・未婚

q3-2 Q. あなたは将来、結婚したいと思いますか？

		度数	%	有効%
有効	とても結婚したいと思う	986	25.6%	25.9%
	できれば結婚したいと思う	1210	31.4%	31.7%
	将来は結婚したいが今は考えていない	731	19.0%	19.2%
	あまり結婚したいと思わない	304	7.9%	8.0%
	結婚したいと思わない	224	5.8%	5.9%
	わからない	359	9.3%	9.4%
	合計	3814	99.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
	非該当	38	1.0%	
合計		3852	100.00%	



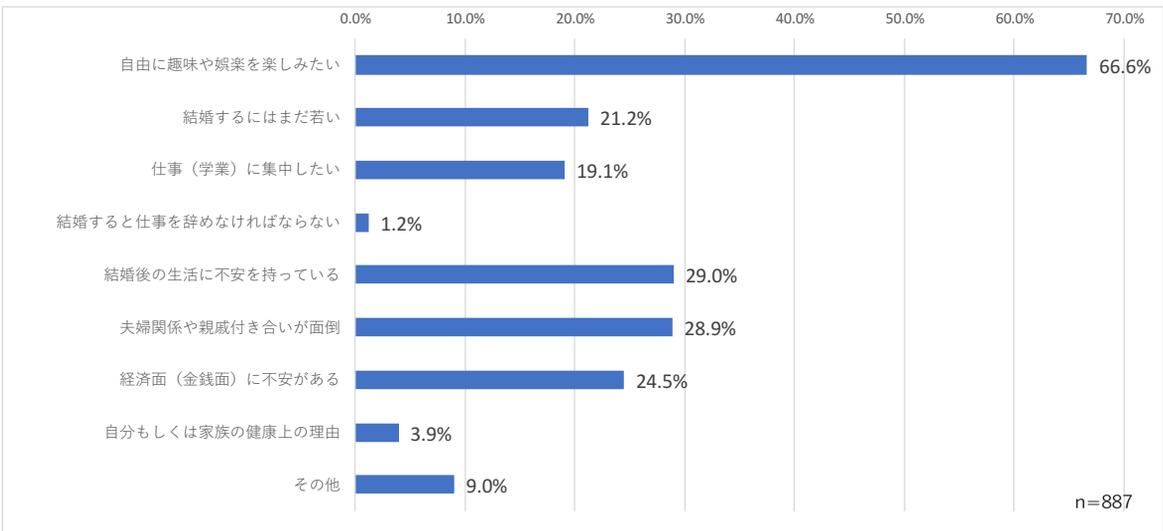
図表2-10 将来の結婚意向

3-2 結婚したくない理由

「あまり結婚したくない」「結婚したくない」「わからない」と回答した理由を尋ねたところ、「自由に趣味や娯楽を楽しみたい」が66.6%で最も多かった。

q3-2-2 Q. 「あまり結婚したくない」「結婚したくない」「わからない」と思う理由は、次のうちどれですか？（いくつでも可）

		度数					有効%			
		yes	no	合計	無回答	非該当	合計	yes	no	合計
1	自由に趣味や娯楽を楽しみたい	591	296	887	0	2965	3852			
2	結婚するにはまだ若い	188	699	887	0	2965	3852			
3	仕事（学業）に集中したい	169	718	887	0	2965	3852			
4	結婚すると仕事を辞めなければならない	11	876	887	0	2965	3852			
5	結婚後の生活に不安を持っている	257	630	887	0	2965	3852			
6	夫婦関係や親戚付き合いが面倒	256	631	887	0	2965	3852			
7	経済面（金銭面）に不安がある	217	670	887	0	2965	3852			
8	自分もしくは家族の健康上の理由	35	852	887	0	2965	3852			
9	その他	80	807	887	0	2965	3852			
		%					有効%			
		yes	no	無回答	非該当	合計	yes	no	合計	
1	自由に趣味や娯楽を楽しみたい	15.3%	7.7%	0.0%	77.0%	100.0%	66.6%	33.4%	100.0%	
2	結婚するにはまだ若い	4.9%	18.1%	0.0%	77.0%	100.0%	21.2%	78.8%	100.0%	
3	仕事（学業）に集中したい	4.4%	18.6%	0.0%	77.0%	100.0%	19.1%	80.9%	100.0%	
4	結婚すると仕事を辞めなければならない	0.3%	22.7%	0.0%	77.0%	100.0%	1.2%	98.8%	100.0%	
5	結婚後の生活に不安を持っている	6.7%	16.4%	0.0%	77.0%	100.0%	29.0%	71.0%	100.0%	
6	夫婦関係や親戚付き合いが面倒	6.6%	16.4%	0.0%	77.0%	100.0%	28.9%	71.1%	100.0%	
7	経済面（金銭面）に不安がある	5.6%	17.4%	0.0%	77.0%	100.0%	24.5%	75.5%	100.0%	
8	自分もしくは家族の健康上の理由	0.9%	22.1%	0.0%	77.0%	100.0%	3.9%	96.1%	100.0%	
9	その他	2.1%	21.0%	0.0%	77.0%	100.0%	9.0%	91.0%	100.0%	



図表2-11 結婚したくない理由（学生・生徒）

3-3 保護者の働き方/理想の結婚年齢

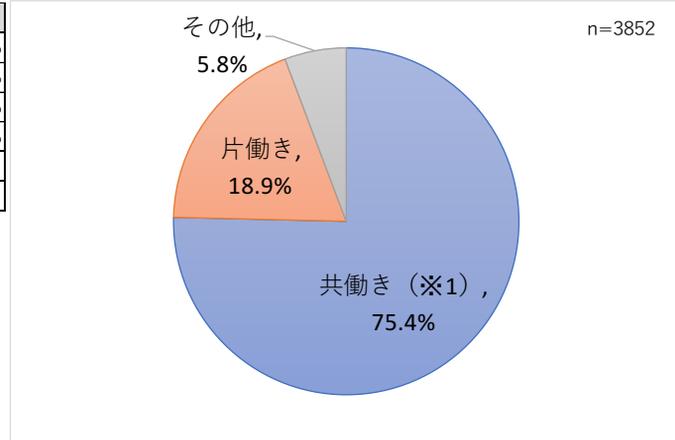
今回回答した学生・生徒の保護者の75.4%は「共働き」をしており、共働き生活を見ながらの結婚観、子育て観であることが各設問の前提になる。

そのうえで、理想の結婚年齢を尋ねたところ、「25歳以上～30歳未満」が55.9%と最も多く、次いで「20歳以上～25歳未満」(34.4%)で9割弱が20代で結婚したいと考えているという結果となった。社会人の理想の結婚年齢と比較すると、晩婚化の傾向は学生・生徒には見られないことがわかる。

q3-1 Q. あなたの保護者の働き方は、次のうちどれですか？

		度数	%	有効%
有効	共働き(※1)	2903	75.4%	75.4%
	片働き	727	18.9%	18.9%
	その他	222	5.8%	5.8%
	合計	3852	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		3852	100.0%	

※1 育休・休職・パートアルバイト含む

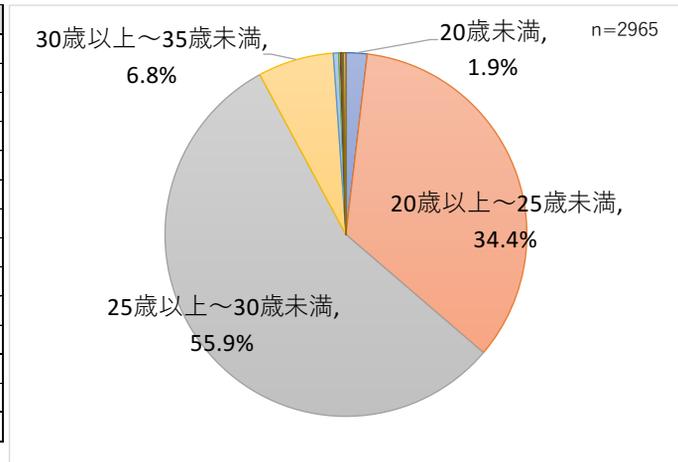


図表2-12 保護者の働き方

q3-1-2 Q. あなたの理想の結婚年齢は何歳ですか？(結婚している方は、結婚前に思っていた理想の結婚年齢をお答えください) ※

		度数	%	有効%
有効	20歳未満	56	1.5%	1.9%
	20歳以上～25歳未満	1019	26.5%	34.4%
	25歳以上～30歳未満	1656	43.0%	55.9%
	30歳以上～35歳未満	201	5.2%	6.8%
	35歳以上～40歳未満	14	0.4%	0.5%
	40歳以上～45歳未満	5	0.1%	0.2%
	45歳以上～50歳未満	1	0.0%	0.0%
	50歳以上～55歳未満	4	0.1%	0.1%
	55歳以上～60歳未満	2	0.1%	0.1%
	60歳以上	7	0.2%	0.2%
	合計	2965	77.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
	非該当	887	23.0%	
合計		3852	100.0%	

最頻値	平均値	最小値	最大値	標準偏差
25.00	25.13	2.00	60.00	3.85



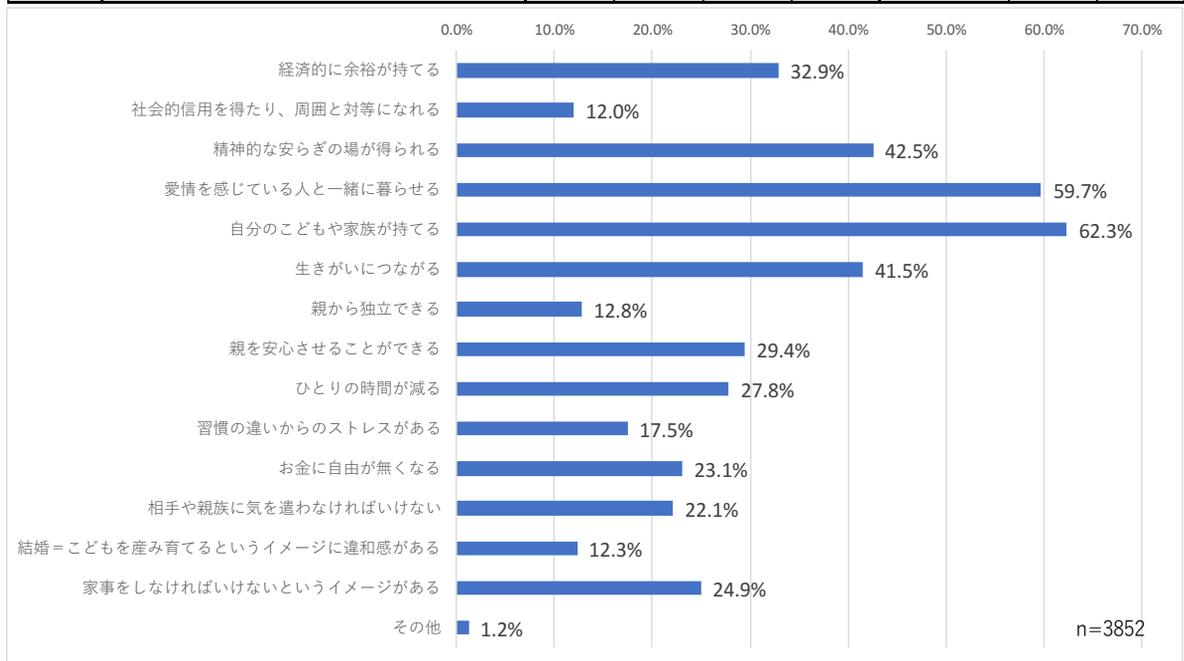
図表2-13 理想の結婚年齢 (学生・生徒)

3-4 結婚のイメージ

結婚のイメージについて尋ねると、「自分の子どもや家族が持てる」「愛情を感じている人と一緒に暮らせる」「精神的な安らぎの場が得られる」「生きがいにつながる」など学生・生徒にとって結婚のイメージは大変ポジティブなものが多い。この気持ちを壊さないよう行政はサポートを継続的に行っていく必要があると考えられる。またこの傾向は保護者の労働環境や子育て環境が大きな要因だと考えられる。

q3-1-4 Q. あなたの結婚のイメージに近いのは、次うちどれですか？（いくつでも可）

		度数				有効%			
		yes	no	合計	無回答	合計	yes	no	合計
1	経済的に余裕が持てる	1267	2585	3852	0	3852	32.9%	67.1%	100.0%
2	社会的信用を得たり、周囲と対等になれる	462	3390	3852	0	3852	12.0%	88.0%	100.0%
3	精神的な安らぎの場が得られる	1639	2213	3852	0	3852	42.5%	57.5%	100.0%
4	愛情を感じている人と一緒に暮らせる	2301	1551	3852	0	3852	59.7%	40.3%	100.0%
5	自分の子どもや家族が持てる	2401	1451	3852	0	3852	62.3%	37.7%	100.0%
6	生きがいにつながる	1599	2253	3852	0	3852	41.5%	58.5%	100.0%
7	親から独立できる	493	3359	3852	0	3852	12.8%	87.2%	100.0%
8	親を安心させることができる	1134	2718	3852	0	3852	29.4%	70.6%	100.0%
9	ひとりの時間が減る	1072	2780	3852	0	3852	27.8%	72.2%	100.0%
10	習慣の違いからのストレスがある	673	3179	3852	0	3852	17.5%	82.5%	100.0%
11	お金の自由が無くなる	889	2963	3852	0	3852	23.1%	76.9%	100.0%
12	相手や親族に気を遣わなければいけない	852	3000	3852	0	3852	22.1%	77.9%	100.0%
13	結婚=子どもを産み育てるというイメージに違和感がある	474	3378	3852	0	3852	12.3%	87.7%	100.0%
14	家事をしなければいけないというイメージがある	961	2891	3852	0	3852	24.9%	75.1%	100.0%
15	その他	48	3804	3852	0	3852	1.2%	98.8%	100.0%



図表2-14 結婚のイメージ（学生・生徒）

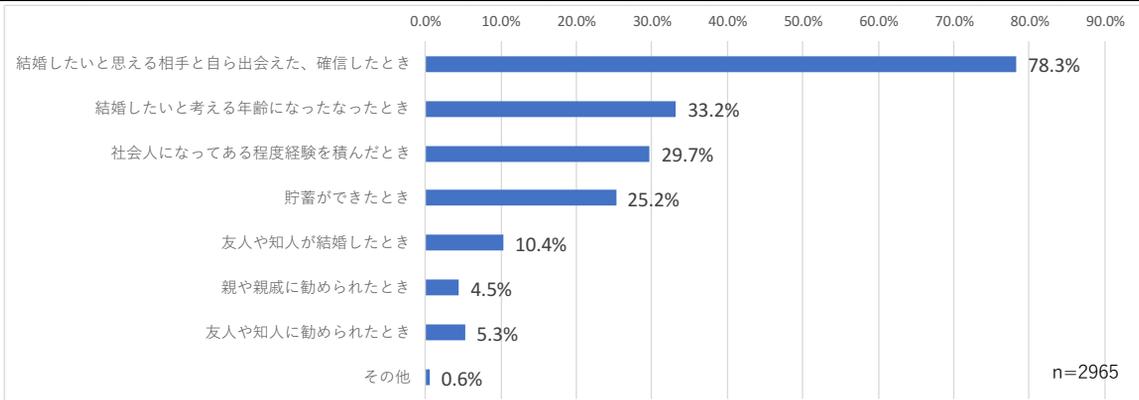
3-5 結婚に繋がるきっかけやタイミング

結婚に繋がるきっかけやタイミングを尋ねたところ、「結婚したいと思える相手に出会えた、確信したとき」(78.3%)が最も多く、次いで「結婚したいと考える年齢になったとき」(33.2%)、「社会人になってある程度経験を積んだとき」(29.7%)となった(社会人と同様の傾向)。

q3-1-5 Q. あなたにとって、結婚に繋がると思えるきっかけやタイミングは、次のうちどれですか？

※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけ・タイミングをお選びください(いくつでも可)

		度数					有効%			
		yes	no	合計	無回答	非該当	合計	yes	no	合計
1	結婚したいと思える相手と自ら出会えた、確信したとき	2321	644	2965	0	887	3852	78.3%	21.7%	100.0%
2	結婚したいと考える年齢になったとき	985	1980	2965	0	887	3852	33.2%	66.8%	100.0%
3	社会人になってある程度経験を積んだとき	882	2083	2965	0	887	3852	29.7%	70.3%	100.0%
4	貯蓄ができたとき	748	2217	2965	0	887	3852	25.2%	74.8%	100.0%
5	友人や知人が結婚したとき	307	2658	2965	0	887	3852	10.4%	89.6%	100.0%
6	親や親戚に勧められたとき	133	2832	2965	0	887	3852	4.5%	95.5%	100.0%
7	友人や知人に勧められたとき	157	2808	2965	0	887	3852	5.3%	94.7%	100.0%
8	仕事が嫌になったとき	35	2930	2965	0	887	3852	1.2%	98.8%	100.0%
9	わからない	271	2694	2965	0	887	3852	9.1%	90.9%	100.0%
10	その他	18	2947	2965	0	887	3852	0.6%	99.4%	100.0%



図表2-15 結婚に繋がるきっかけやタイミング (学生・生徒)

3-6 結婚に繋がると思う出会いのシーン

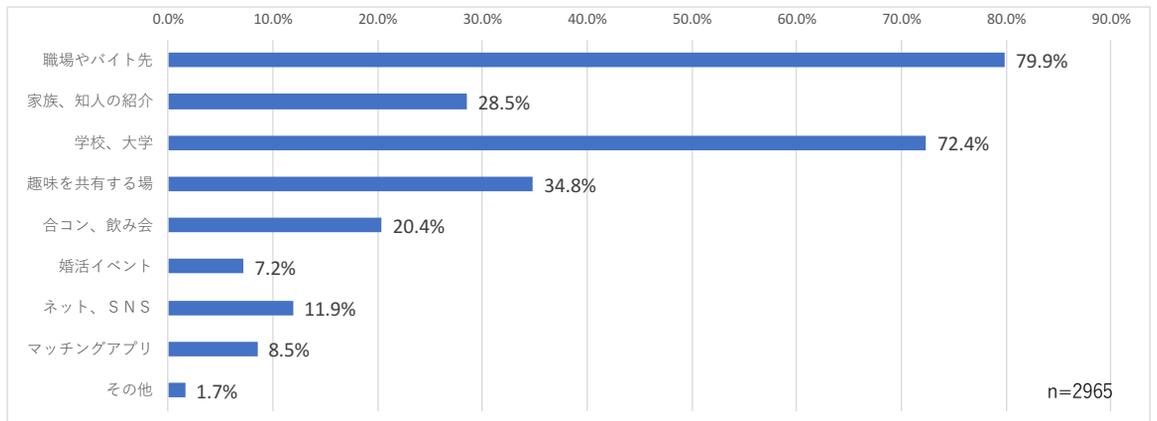
結婚に繋がると思う出会いのシーンについて、「職場やバイト先」と答えた方が79.9%で最も多かった。

q3-1-6 Q. あなたにとって、結婚に繋がると思う出会いのシーンは、次のうちどれですか？

※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけ・タイミングをお選びください（いくつでも可）

		度数					合計
		yes	no	合計	無回答	非該当	
1	職場やバイト先	2368	597	2965	0	887	3852
2	家族、知人の紹介	846	2119	2965	0	887	3852
3	学校、大学	2146	819	2965	0	887	3852
4	趣味を共有する場	1033	1932	2965	0	887	3852
5	合コン、飲み会	605	2360	2965	0	887	3852
6	婚活イベント	214	2751	2965	0	887	3852
7	ネット、SNS	354	2611	2965	0	887	3852
8	マッチングアプリ	253	2712	2965	0	887	3852
9	その他	49	2916	2965	0	887	3852

		%					有効%		
		yes	no	無回答	非該当	合計	yes	no	合計
1	職場やバイト先	61.5%	15.5%	0.0%	23.0%	100.0%	79.9%	20.1%	100.0%
2	家族、知人の紹介	22.0%	55.0%	0.0%	23.0%	100.0%	28.5%	71.5%	100.0%
3	学校、大学	55.7%	21.3%	0.0%	23.0%	100.0%	72.4%	27.6%	100.0%
4	趣味を共有する場	26.8%	50.2%	0.0%	23.0%	100.0%	34.8%	65.2%	100.0%
5	合コン、飲み会	15.7%	61.3%	0.0%	23.0%	100.0%	20.4%	79.6%	100.0%
6	婚活イベント	5.6%	71.4%	0.0%	23.0%	100.0%	7.2%	92.8%	100.0%
7	ネット、SNS	9.2%	67.8%	0.0%	23.0%	100.0%	11.9%	88.1%	100.0%
8	マッチングアプリ	6.6%	70.4%	0.0%	23.0%	100.0%	8.5%	91.5%	100.0%
9	その他	1.3%	75.7%	0.0%	23.0%	100.0%	1.7%	98.3%	100.0%



図表2-16 結婚に繋がるきっかけやタイミング（学生・生徒）

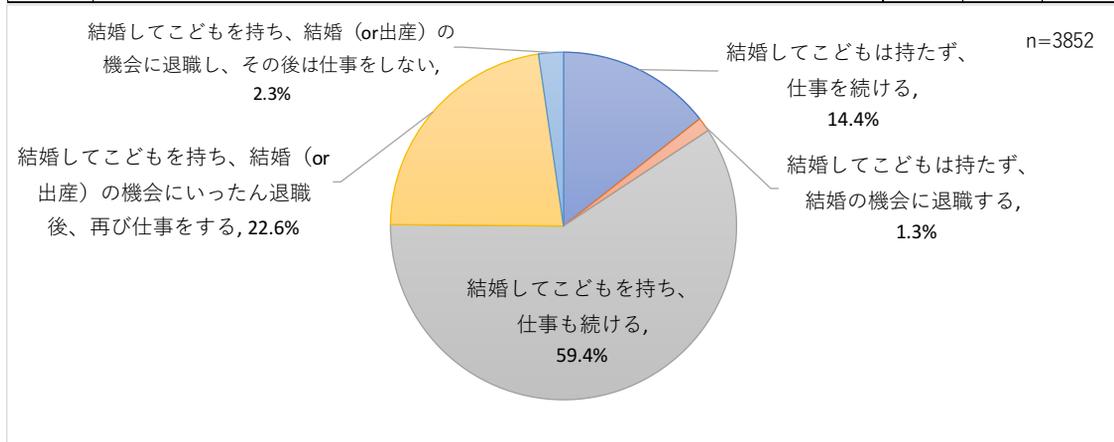
4 子育て観（学生・生徒）

4-1 結婚後の希望するライフスタイル

結婚後の希望するライフスタイルを尋ねたところ、「結婚して子どもを持ち、仕事を続ける」が59.4%、次に多かった回答は「結婚して子どもを持ち、結婚(or出産)の機会にいったん退職後、再び仕事をする」で22.6%で、社会人の回答同様に子育てと仕事を両立させることを希望していることがわかる。保護者の共働きが約75%であることからこの結果になっている可能性がある一方で、だからこそ、今後社会に出ていく若年層が希望を持てる、より良い職場環境や子育てをしやすい環境の整備の必要性があると考えられる。また、回答者に女子が過半数を占めるが、「結婚しても仕事を続ける」が6割を占めているので、職場における子育て支援がさらに必要だと考えられる。

q4-1 Q. あなたがもし結婚をした場合（結婚してる方も）、自分が希望するライフスタイルで最も近いと思われるタイプは、次のうちどれですか？

		度数	%	有効%
有効	結婚して子どもは持たず、仕事を続ける	556	14.4%	14.4%
	結婚して子どもは持たず、結婚の機会に退職する	51	1.3%	1.3%
	結婚して子どもを持ち、仕事を続ける	2287	59.4%	59.4%
	結婚して子どもを持ち、結婚（or出産）の機会にいったん退職後、再び仕事をする	869	22.6%	22.6%
	結婚して子どもを持ち、結婚（or出産）の機会に退職し、その後は仕事をしない	89	2.3%	2.3%
	合計	3852	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		3852	100.00%	



図表2-17 結婚後の希望するライフスタイル（学生・生徒）

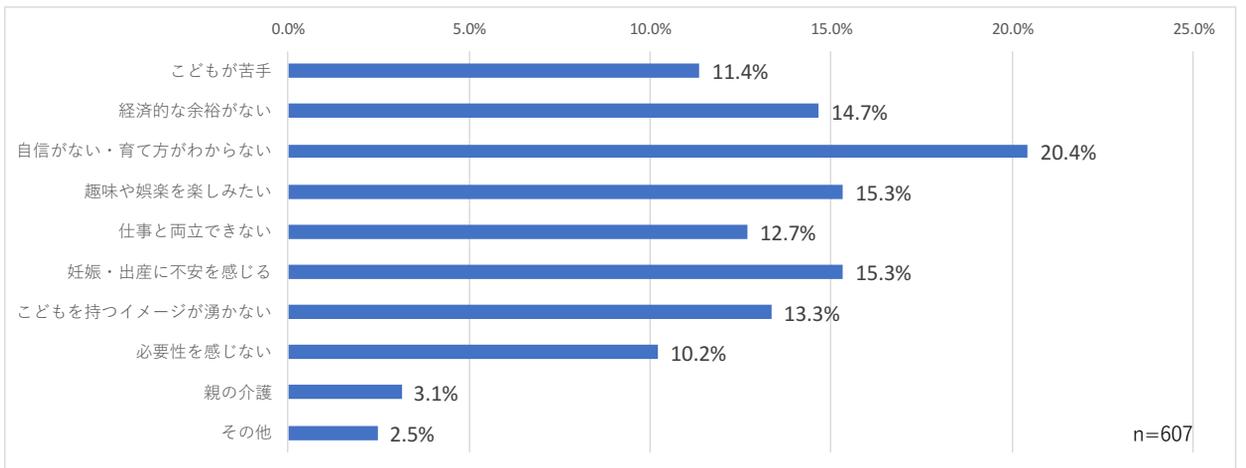
4-2 こどもを持たないライフスタイル希望の理由

こどもを持たないライフスタイルを希望する理由を尋ねたところ、「自信がない・育て方がわからない」が20.4%で最も多く、次に多かった回答は「経済的な余裕がない」(14.7%)であった。

学生・生徒は、こどもを持つことに対して経済的余裕への懸念や、少子化による兄弟数の減少や身近に小さい子どももいないため、子育て自体がよくわからず自信がないことが伺われる。県には、若年層への子育て支援に関する様々な支援金制度の充実やその周知の必要性があると考えられる。また様々な子育て支援制度があり、それを活用することにより自分たちだけで子育てするのではないことを中学生や高校生への出前授業など行うなどで対応できる可能性も考えらえる。

q4-1-1 Q. あなたがこどもを持たないライフスタイルを希望する理由は、次のうちどれですか？(いくつでも可)

		度数					有効%			
		yes	no	合計	無回答	非該当	合計	yes	no	合計
1	こどもが苦手	69	538	607	0	3245	3852			
2	経済的な余裕がない	89	518	607	0	3245	3852			
3	自信がない・育て方がわからない	124	483	607	0	3245	3852			
4	趣味や娯楽を楽しみたい	93	514	607	0	3245	3852			
5	仕事と両立できない	77	530	607	0	3245	3852			
6	妊娠・出産に不安を感じる	93	514	607	0	3245	3852			
7	こどもを持つイメージが湧かない	81	526	607	0	3245	3852			
8	必要性を感じない	62	545	607	0	3245	3852			
9	親の介護	19	588	607	0	3245	3852			
10	その他	15	592	607	0	3245	3852			
		%					有効%			
		yes	no	無回答	非該当	合計	yes	no	合計	
1	こどもが苦手	1.8%	14.0%	0.0%	84.2%	100.0%	11.4%	88.6%	100.0%	
2	経済的な余裕がない	2.3%	13.4%	0.0%	84.2%	100.0%	14.7%	85.3%	100.0%	
3	自信がない・育て方がわからない	3.2%	12.5%	0.0%	84.2%	100.0%	20.4%	79.6%	100.0%	
4	趣味や娯楽を楽しみたい	2.4%	13.3%	0.0%	84.2%	100.0%	15.3%	84.7%	100.0%	
5	仕事と両立できない	2.0%	13.8%	0.0%	84.2%	100.0%	12.7%	87.3%	100.0%	
6	妊娠・出産に不安を感じる	2.4%	13.3%	0.0%	84.2%	100.0%	15.3%	84.7%	100.0%	
7	こどもを持つイメージが湧かない	2.1%	13.7%	0.0%	84.2%	100.0%	13.3%	86.7%	100.0%	
8	必要性を感じない	1.6%	14.1%	0.0%	84.2%	100.0%	10.2%	89.8%	100.0%	
9	親の介護	0.5%	15.3%	0.0%	84.2%	100.0%	3.1%	96.9%	100.0%	
10	その他	0.4%	15.4%	0.0%	84.2%	100.0%	2.5%	97.5%	100.0%	



図表2-18 こどもを持たないライフスタイルの理由 (学生・生徒)

4-3 子育てのイメージ

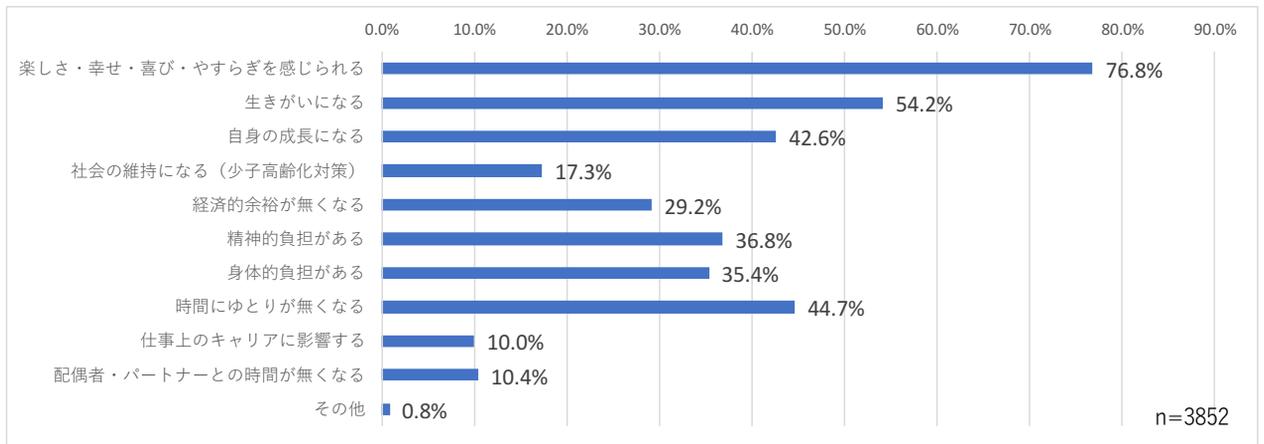
子育てに対するイメージについて、「楽しさ・幸せ・喜び・やすらぎを感じられる」(76.8%)が最も多く、次いで、「生きがいになる」(54.2%)、「時間にゆとりが無くなる」(44.7%)であった。

社会人同様に、子育てについてポジティブなイメージが多い。しかし、社会人同様に時間にゆとりがなくなる懸念もすでに持っており、企業の子育て中の雇用者への働き方改革(母親はもちろん、父親の育休制度取得のしやすさや時短勤務など)への取り組みが求められる。

q4-2 Q. あなたの子育てに対するイメージ(経験者はその経験において)で当てはまるものは、次のうちどれですか？(いくつでも可)

		度数				
		yes	no	合計	無回答	合計
1	楽しさ・幸せ・喜び・やすらぎを感じられる	2960	892	3852	0	3852
2	生きがいになる	2087	1765	3852	0	3852
3	自身の成長になる	1642	2210	3852	0	3852
4	社会の維持になる(少子高齢化対策)	668	3184	3852	0	3852
5	経済的余裕が無くなる	1124	2728	3852	0	3852
6	精神的負担がある	1419	2433	3852	0	3852
7	身体的負担がある	1362	2490	3852	0	3852
8	時間にゆとりが無くなる	1720	2132	3852	0	3852
9	仕事上のキャリアに影響する	385	3467	3852	0	3852
10	配偶者・パートナーとの時間が無くなる	402	3450	3852	0	3852
11	その他	32	3820	3852	0	3852

		%				有効%		
		yes	no	無回答	合計	yes	no	合計
1	楽しさ・幸せ・喜び・やすらぎを感じられる	76.8%	23.2%	0.0%	100.0%	76.8%	23.2%	100.0%
2	生きがいになる	54.2%	45.8%	0.0%	100.0%	54.2%	45.8%	100.0%
3	自身の成長になる	42.6%	57.4%	0.0%	100.0%	42.6%	57.4%	100.0%
4	社会の維持になる(少子高齢化対策)	17.3%	82.7%	0.0%	100.0%	17.3%	82.7%	100.0%
5	経済的余裕が無くなる	29.2%	70.8%	0.0%	100.0%	29.2%	70.8%	100.0%
6	精神的負担がある	36.8%	63.2%	0.0%	100.0%	36.8%	63.2%	100.0%
7	身体的負担がある	35.4%	64.6%	0.0%	100.0%	35.4%	64.6%	100.0%
8	時間にゆとりが無くなる	44.7%	55.3%	0.0%	100.0%	44.7%	55.3%	100.0%
9	仕事上のキャリアに影響する	10.0%	90.0%	0.0%	100.0%	10.0%	90.0%	100.0%
10	配偶者・パートナーとの時間が無くなる	10.4%	89.6%	0.0%	100.0%	10.4%	89.6%	100.0%
11	その他	0.8%	99.2%	0.0%	100.0%	0.8%	99.2%	100.0%



図表2-19 子育てのイメージ(学生・生徒)

4-4 子育てに必要な支援

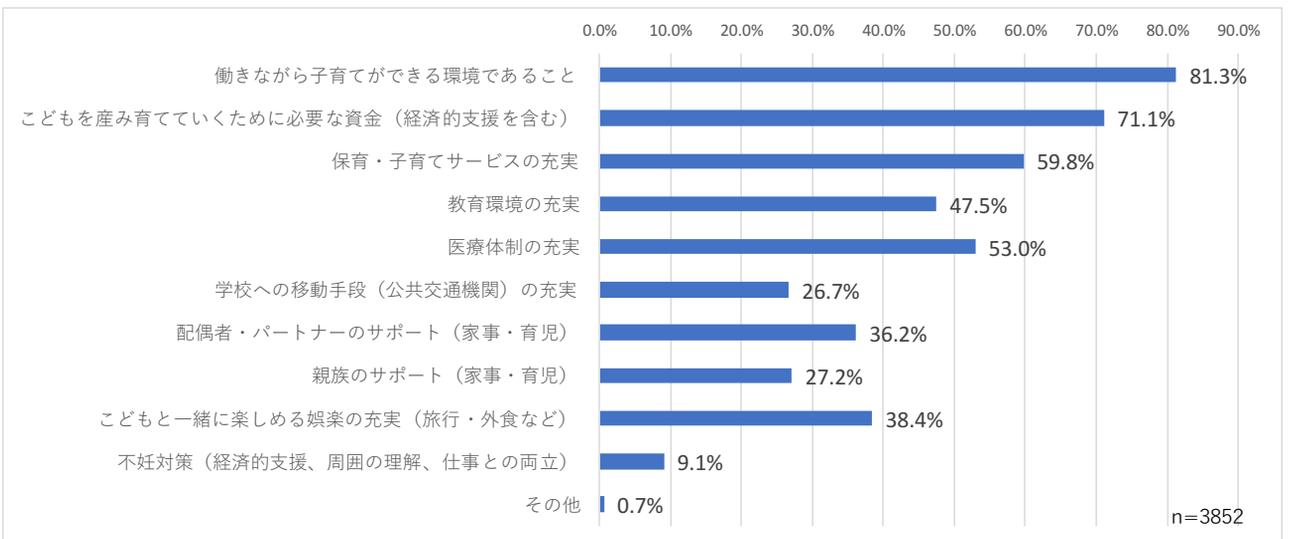
子育て支援で必要なものを尋ねたところ「働きながら子育てができる環境であること」(81.3%)が最も多く、次いで「こどもを産み育てていくために必要な資金(経済的支援を含む)」(71.1%)、「保育・子育てサービスの充実」(59.8%)であった。

社会人の同様の設問に対し、子育て支援に労働環境、子育て資金、子育てサービスに加え、医療体制の充実があがっている。

q4-3 Q. あなたが将来、子育てをするとしたら、子育て支援で必要なものは次のうちどれだと思いますか？

※重要だと思うものから最大7つまで選べます。

		度数				有効%			
		yes	no	合計	無回答	合計	yes	no	合計
1	働きながら子育てができる環境であること	3130	722	3852	0	3852	81.3%	18.7%	100.0%
2	こどもを産み育てていくために必要な資金(経済的支援を含む)	2739	1113	3852	0	3852	71.1%	28.9%	100.0%
3	保育・子育てサービスの充実	2302	1550	3852	0	3852	59.8%	40.2%	100.0%
4	教育環境の充実	1829	2023	3852	0	3852	47.5%	52.5%	100.0%
5	医療体制の充実	2041	1811	3852	0	3852	53.0%	47.0%	100.0%
6	学校への移動手段(公共交通機関)の充実	1028	2824	3852	0	3852	26.7%	73.3%	100.0%
7	配偶者・パートナーのサポート(家事・育児)	1393	2459	3852	0	3852	36.2%	63.8%	100.0%
8	親族のサポート(家事・育児)	1046	2806	3852	0	3852	27.2%	72.8%	100.0%
9	こどもと一緒に楽しめる娯楽の充実(旅行・外食など)	1481	2371	3852	0	3852	38.4%	61.6%	100.0%
10	不妊対策(経済的支援、周囲の理解、仕事との両立)	352	3500	3852	0	3852	9.1%	90.9%	100.0%
11	その他	26	3826	3852	0	3852	0.7%	99.3%	100.0%



図表2-20 子育てに必要な支援(学生・生徒)

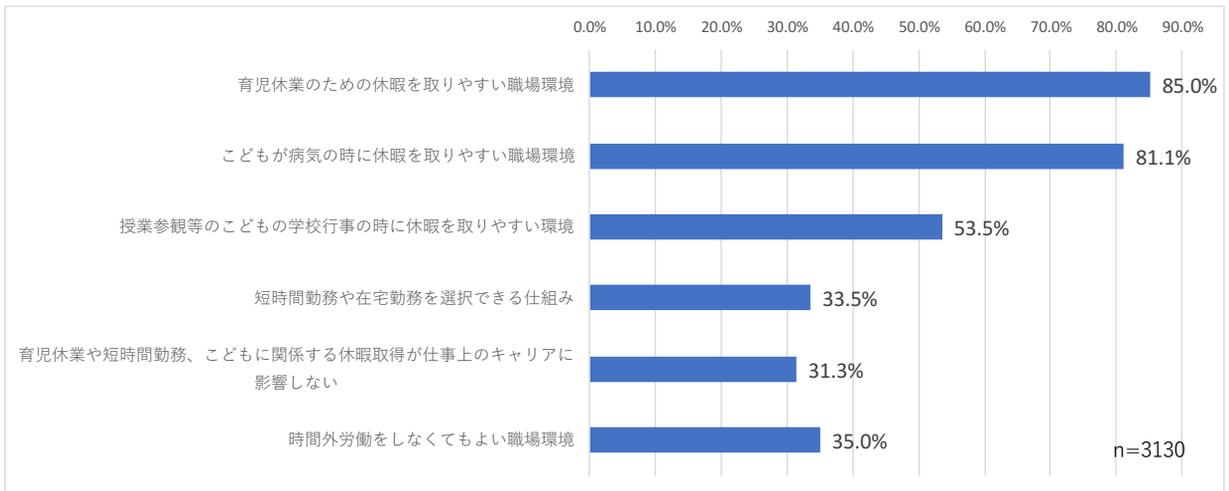
4-5 将来働きながら産み育てていく環境に必要な支援

将来、働きながら産み育てていく際の環境に必要なと思う支援について尋ねたところ、「育児休業のための休暇を取りやすい職場環境」が85.0%と最も多く、次いで「こどもが病気の時に休暇を取りやすい職場環境」(81.1%)で、仕事と子育ての両立支援と育休の取得のしやすさ、病気で休みやすい職場環境を求めるこの回答が際立って多いことがわかる。

q4-3-1 Q. あなたが将来、働きながらこどもを産み育てていくとしたら、その環境に必要なと思う支援は、次のうちどれですか？

※重要だと思うものから最大4つまで選べます。

		度数					有効%			
		yes	no	合計	無回答	非該当	合計	yes	no	合計
1	育児休業のための休暇を取りやすい職場環境	2662	468	3130	0	722	3852			
2	こどもが病気の時に休暇を取りやすい職場環境	2537	593	3130	0	722	3852			
3	授業参観等のこどもの学校行事の時に休暇を取りやすい環境	1674	1456	3130	0	722	3852			
4	短時間勤務や在宅勤務を選択できる仕組み	1048	2082	3130	0	722	3852			
5	育児休業や短時間勤務、こどもに関係する休暇取得が仕事上のキャリアに影響しない	981	2149	3130	0	722	3852			
6	時間外労働をしなくてもよい職場環境	1095	2035	3130	0	722	3852			
7	その他	15	3115	3130	0	722	3852			
		%					有効%			
		yes	no	無回答	非該当	合計	yes	no	合計	
1	育児休業のための休暇を取りやすい職場環境	69.1%	12.1%	0.0%	18.7%	100.0%	85.0%	15.0%	100.0%	
2	こどもが病気の時に休暇を取りやすい職場環境	65.9%	15.4%	0.0%	18.7%	100.0%	81.1%	18.9%	100.0%	
3	授業参観等のこどもの学校行事の時に休暇を取りやすい環境	43.5%	37.8%	0.0%	18.7%	100.0%	53.5%	46.5%	100.0%	
4	短時間勤務や在宅勤務を選択できる仕組み	27.2%	54.0%	0.0%	18.7%	100.0%	33.5%	66.5%	100.0%	
5	育児休業や短時間勤務、こどもに関係する休暇取得が仕事上のキャリアに影響しない	25.5%	55.8%	0.0%	18.7%	100.0%	31.3%	68.7%	100.0%	
6	時間外労働をしなくてもよい職場環境	28.4%	52.8%	0.0%	18.7%	100.0%	35.0%	65.0%	100.0%	
7	その他	0.4%	80.9%	0.0%	18.7%	100.0%	0.5%	99.5%	100.0%	



図表2-21 将来働きながら産み育てていく環境に必要な支援（学生・生徒）

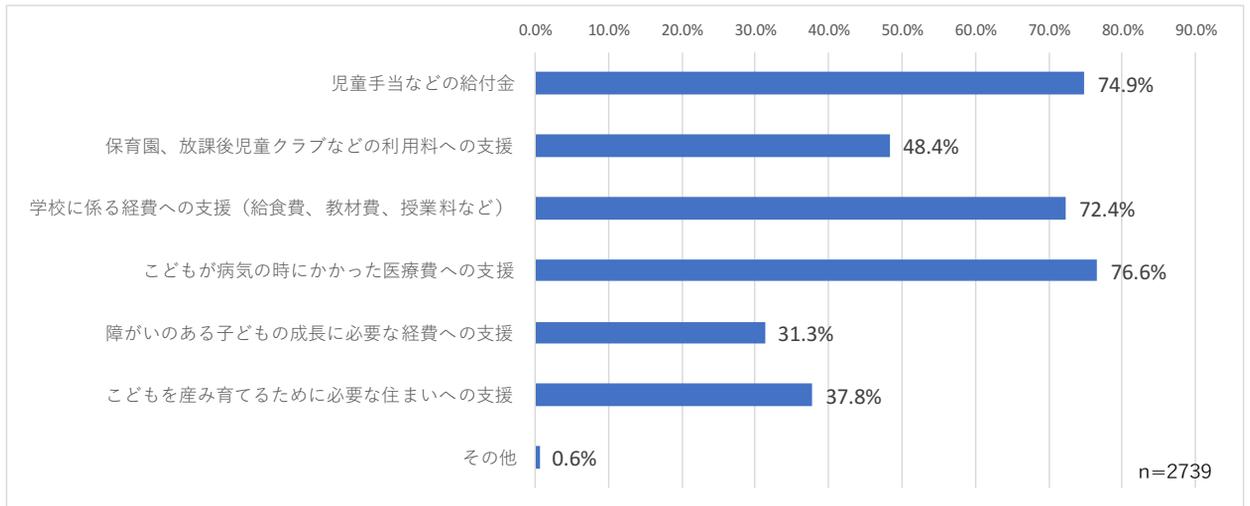
4-6 将来子どもを産み育てていくために必要な資金支援

将来、子どもを産み育てていくために必要な資金支援について、「子どもが病気の時にかかった医療費への支援」(76.6%)が最も多く、次いで「児童手当などの給付金」(74.9%)、「学校に係る経費への支援(給食費、教材費、授業料など)」(72.4%)で社会人と共通した回答の傾向であった。

q4-3-2 Q. あなたが将来、子どもを産み育てていくとしたら、そのために必要だと思う資金(経済的支援を含む)は、次のうちどれですか？

※重要だと思うものから最大4つまで選べます。

		度数					有効%			
		yes	no	合計	無回答	非該当	合計	yes	no	合計
1	児童手当などの給付金	2051	688	2739	0	1113	3852			
2	保育園、放課後児童クラブなどの利用料への支援	1325	1414	2739	0	1113	3852			
3	学校に係る経費への支援(給食費、教材費、授業料など)	1982	757	2739	0	1113	3852			
4	子どもが病気の時にかかった医療費への支援	2099	640	2739	0	1113	3852			
5	障がいのある子どもの成長に必要な経費への支援	858	1881	2739	0	1113	3852			
6	子どもを産み育てるために必要な住まいへの支援	1036	1703	2739	0	1113	3852			
7	その他	16	2723	2739	0	1113	3852			
		%					有効%			
		yes	no	無回答	非該当	合計	yes	no	合計	
1	児童手当などの給付金	53.2%	17.9%	0.0%	28.9%	100.0%	74.9%	25.1%	100.0%	
2	保育園、放課後児童クラブなどの利用料への支援	34.4%	36.7%	0.0%	28.9%	100.0%	48.4%	51.6%	100.0%	
3	学校に係る経費への支援(給食費、教材費、授業料など)	51.5%	19.7%	0.0%	28.9%	100.0%	72.4%	27.6%	100.0%	
4	子どもが病気の時にかかった医療費への支援	54.5%	16.6%	0.0%	28.9%	100.0%	76.6%	23.4%	100.0%	
5	障がいのある子どもの成長に必要な経費への支援	22.3%	48.8%	0.0%	28.9%	100.0%	31.3%	68.7%	100.0%	
6	子どもを産み育てるために必要な住まいへの支援	26.9%	44.2%	0.0%	28.9%	100.0%	37.8%	62.2%	100.0%	
7	その他	0.4%	70.7%	0.0%	28.9%	100.0%	0.6%	99.4%	100.0%	



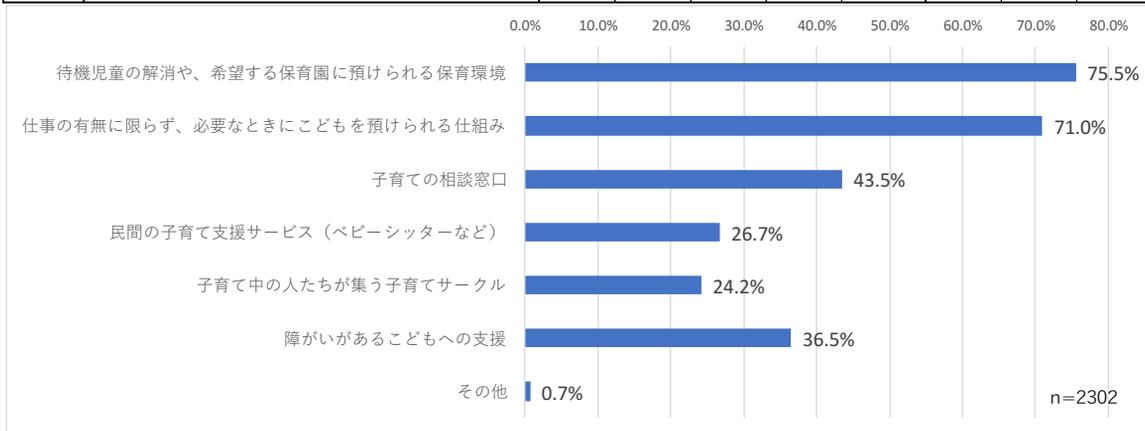
図表2-22 将来子どもを産み育てていくために必要な資金支援(学生・生徒)

4-7 将来子どもを産み育てていくために必要な保育・子育てサービス支援

将来、子どもを産み育てていくための保育・子育てサービスの充実で必要だと思う支援について、「待機児童の解消や、希望する保育園に預けられる保育環境」(75.5%)が最も多く、次いで「仕事の有無に限らず、必要なときに子どもを預けられる仕組み」(71.0%)で、社会人と同様の回答傾向となった。

q4-3-3 Q. あなたが将来、子どもを産み育てていくとしたら、保育・子育てサービスの充実で必要だと思う支援は次のうちどれですか？
※重要だと思うものから最大4つまで選べます。

		度数					有効%			
		yes	no	合計	無回答	非該当	合計	yes	no	合計
1	待機児童の解消や、希望する保育園に預けられる保育環境	1739	563	2302	0	1550	3852			
2	仕事の有無に限らず、必要なときに子どもを預けられる仕組み	1634	668	2302	0	1550	3852			
3	子育ての相談窓口	1001	1301	2302	0	1550	3852			
4	民間の子育て支援サービス（ベビーシッターなど）	615	1687	2302	0	1550	3852			
5	子育て中の人たちが集う子育てサークル	557	1745	2302	0	1550	3852			
6	障がいがある子どもへの支援	841	1461	2302	0	1550	3852			
7	その他	17	2285	2302	0	1550	3852			
		%					有効%			
		yes	no	無回答	非該当	合計	yes	no	合計	
1	待機児童の解消や、希望する保育園に預けられる保育環境	45.1%	14.6%	0.0%	40.2%	100.0%	75.5%	24.5%	100.0%	
2	仕事の有無に限らず、必要なときに子どもを預けられる仕組み	42.4%	17.3%	0.0%	40.2%	100.0%	71.0%	29.0%	100.0%	
3	子育ての相談窓口	26.0%	33.8%	0.0%	40.2%	100.0%	43.5%	56.5%	100.0%	
4	民間の子育て支援サービス（ベビーシッターなど）	16.0%	43.8%	0.0%	40.2%	100.0%	26.7%	73.3%	100.0%	
5	子育て中の人たちが集う子育てサークル	14.5%	45.3%	0.0%	40.2%	100.0%	24.2%	75.8%	100.0%	
6	障がいがある子どもへの支援	21.8%	37.9%	0.0%	40.2%	100.0%	36.5%	63.5%	100.0%	
7	その他	0.4%	59.3%	0.0%	40.2%	100.0%	0.7%	99.3%	100.0%	



図表2-23 将来子どもを産み育てていくために必要な保育・子育てサービス支援（学生・生徒）

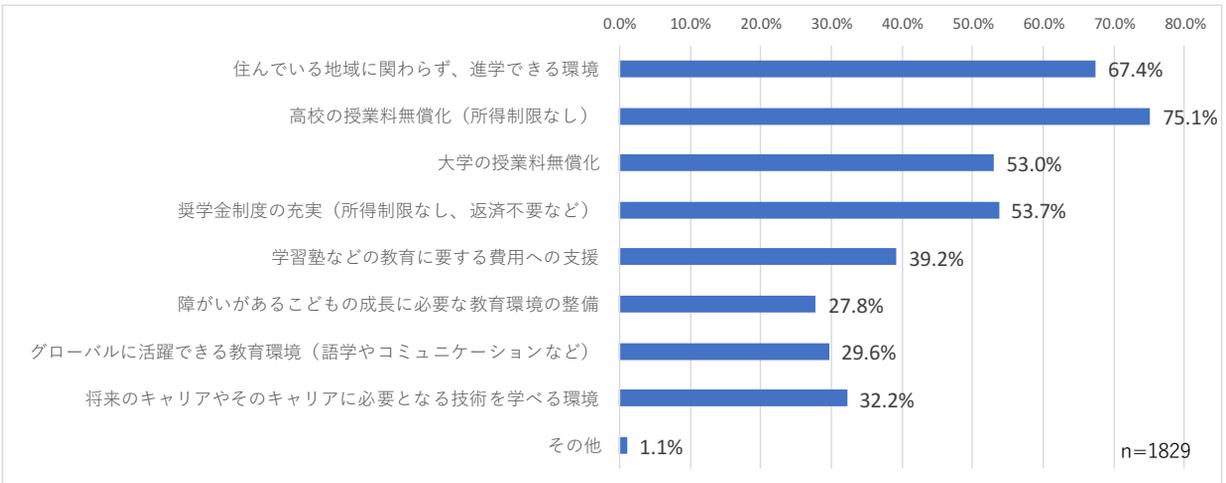
4-8 将来子どもを産み育てていくために必要な教育環境支援

将来、子どもを産み育てていくための教育環境で必要だと思う支援について、「高校の授業料無償化（所得制限なし）」（75.1%）が最も多く、次いで「住んでいる地域に関わらず、進学できる環境」（67.4%）で、この2つが他よりも目立って多く選ばれている。

q4-3-4 Q. あなたが将来、子どもを産み育てていくとしたら、教育環境の充実に必要だと思う支援は次のうちどれですか？

※重要だと思うものから最大5つまで選べます。

		度数					有効%			
		yes	no	合計	無回答	非該当	合計	yes	no	合計
1	住んでいる地域に関わらず、進学できる環境	1232	597	1829	0	2023	3852			
2	高校の授業料無償化（所得制限なし）	1374	455	1829	0	2023	3852			
3	大学の授業料無償化	970	859	1829	0	2023	3852			
4	奨学金制度の充実（所得制限なし、返済不要など）	982	847	1829	0	2023	3852			
5	学習塾などの教育に要する費用への支援	717	1112	1829	0	2023	3852			
6	障がいがある子どもの成長に必要な教育環境の整備	509	1320	1829	0	2023	3852			
7	グローバルに活躍できる教育環境（語学やコミュニケーションなど）	542	1287	1829	0	2023	3852			
8	将来のキャリアやそのキャリアに必要な技術を学べる環境	589	1240	1829	0	2023	3852			
9	その他	20	1809	1829	0	2023	3852			
		%					有効%			
		yes	no	無回答	非該当	合計	yes	no	合計	
1	住んでいる地域に関わらず、進学できる環境	32.0%	15.5%	0.0%	52.5%	100.0%	67.4%	32.6%	100.0%	
2	高校の授業料無償化（所得制限なし）	35.7%	11.8%	0.0%	52.5%	100.0%	75.1%	24.9%	100.0%	
3	大学の授業料無償化	25.2%	22.3%	0.0%	52.5%	100.0%	53.0%	47.0%	100.0%	
4	奨学金制度の充実（所得制限なし、返済不要など）	25.5%	22.0%	0.0%	52.5%	100.0%	53.7%	46.3%	100.0%	
5	学習塾などの教育に要する費用への支援	18.6%	28.9%	0.0%	52.5%	100.0%	39.2%	60.8%	100.0%	
6	障がいがある子どもの成長に必要な教育環境の整備	25.5%	22.0%	0.0%	52.5%	100.0%	53.7%	46.3%	100.0%	
7	グローバルに活躍できる教育環境（語学やコミュニケーションなど）	14.1%	33.4%	0.0%	52.5%	100.0%	29.6%	70.4%	100.0%	
8	将来のキャリアやそのキャリアに必要な技術を学べる環境	15.3%	32.2%	0.0%	52.5%	100.0%	32.2%	67.8%	100.0%	
9	その他	0.5%	47.0%	0.0%	52.5%	100.0%	1.1%	98.9%	100.0%	



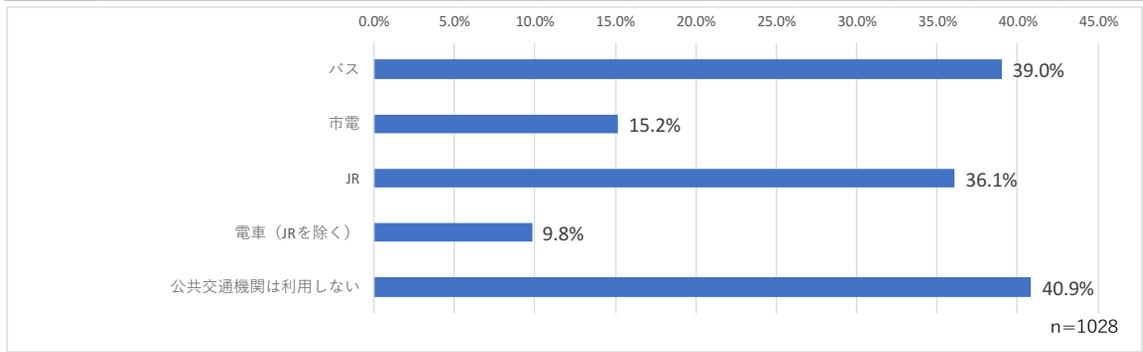
図表2-24 将来子どもを産み育てていくために必要な教育環境支援（学生・生徒）

4-9 よく利用する交通機関と子育て中の不便感

よく利用する交通機関を尋ねたところ、「公共交通機関は利用しない」が40.9%と最も多かった。学生・生徒のため自転車や徒歩の通学でこの傾向になっていると推測される一方、通学でバスやJRを利用する層も見られる中、バスが最も子育て中の方が不便さを感じると回答している(52.1%)。

q4-3-5 Q. あなたがよく利用する交通機関は、次のうちどれですか？(いくつでも可)

		度数					有効%			
		yes	no	合計	無回答	非該当	合計	yes	no	合計
1	バス	401	627	1028	0	2824	3852			
2	市電	156	872	1028	0	2824	3852			
3	JR	371	657	1028	0	2824	3852			
4	電車 (JRを除く)	101	927	1028	0	2824	3852			
5	公共交通機関は利用しない	420	608	1028	0	2824	3852			
		%					有効%			
		yes	no	無回答	非該当	合計	yes	no	合計	
1	バス	10.4%	16.3%	0.0%	73.3%	100.0%	39.0%	61.0%	100.0%	
2	市電	4.0%	22.6%	0.0%	73.3%	100.0%	15.2%	84.8%	100.0%	
3	JR	9.6%	17.1%	0.0%	73.3%	100.0%	36.1%	63.9%	100.0%	
4	電車 (JRを除く)	2.6%	24.1%	0.0%	73.3%	100.0%	9.8%	90.2%	100.0%	
5	公共交通機関は利用しない	10.9%	15.8%	0.0%	73.3%	100.0%	40.9%	59.1%	100.0%	



図表2-25 よく利用する交通機関 (学生・生徒)

q4-3-6 Q. あなたが、もしくは子育て中の方が不便さを感じることがある交通機関は、次のうちどれだと思いますか？(いくつでも可)

		度数					有効%			
		yes	no	合計	無回答	非該当	合計	yes	no	合計
1	バス	536	492	1028	0	2824	3852			
2	市電	382	646	1028	0	2824	3852			
3	JR	452	576	1028	0	2824	3852			
4	電車 (JRを除く)	336	692	1028	0	2824	3852			
5	公共交通機関は利用しない	245	783	1028	0	2824	3852			
		%					有効%			
		yes	no	無回答	非該当	合計	yes	no	合計	
1	バス	13.9%	12.8%	0.0%	73.3%	100.0%	52.1%	47.9%	100.0%	
2	市電	9.9%	16.8%	0.0%	73.3%	100.0%	37.2%	62.8%	100.0%	
3	JR	11.7%	15.0%	0.0%	73.3%	100.0%	44.0%	56.0%	100.0%	
4	電車 (JRを除く)	8.7%	18.0%	0.0%	73.3%	100.0%	32.7%	67.3%	100.0%	
5	公共交通機関は利用しない	6.4%	20.3%	0.0%	73.3%	100.0%	23.8%	76.2%	100.0%	



図表2-26 子育て中に不便を感じる交通機関 (学生・生徒)

4-10 生活環境とこどもの人数（現在、理想、現実）

現在の生活環境を尋ねた上で、「現在持つこどもの人数」と「理想的だと思うこどもの人数」、そして「今後、現実的に持つこどもの人数」をそれぞれ尋ねた。

前提条件である生活環境は、回答者の84.8%が「家族との同居」で「家事・育児・介護などを助けてくれる人がある」状況であった。

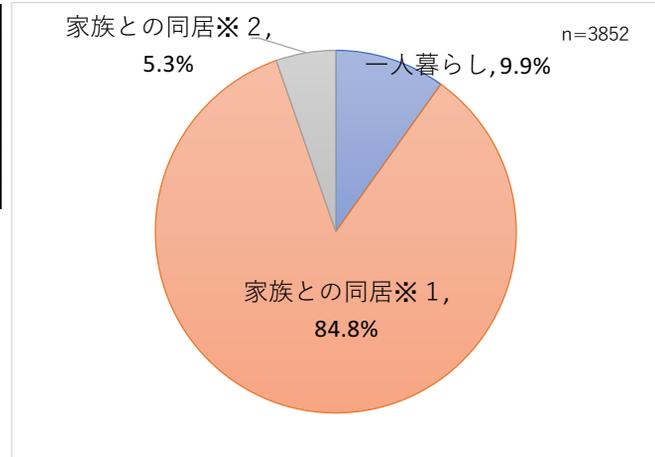
現在持つこどもの人数は、学生・生徒対象であるため回答者の94.4%が「0人」と回答。理想的だと思うこどもの人数は「2人」と回答したのが50.3%で最も多く、次いで「3人」が24.2%となった。回答者の4人に一人が3人目を理想とする中で、まだ先のイメージではあるが現実的にもつこどもの人数を尋ねたところ、理想に届かない「0人」と「1人」の割合が増加し「2人」との合計が8割を超え、社会人よりも現実的には多くこどもを望めないのではないかという意識がある可能性がある。

q4-4 Q. あなたの生活環境は、次のうちどれですか？

		度数	%	有効%
有効	一人暮らし	381	9.9%	9.9%
	家族との同居※1	3265	84.8%	84.8%
	家族との同居※2	206	5.3%	5.3%
	合計	3852	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		3852	100.00%	

※1（家事・育児・介護などを主にやってくれる自分以外の同居者がいる）

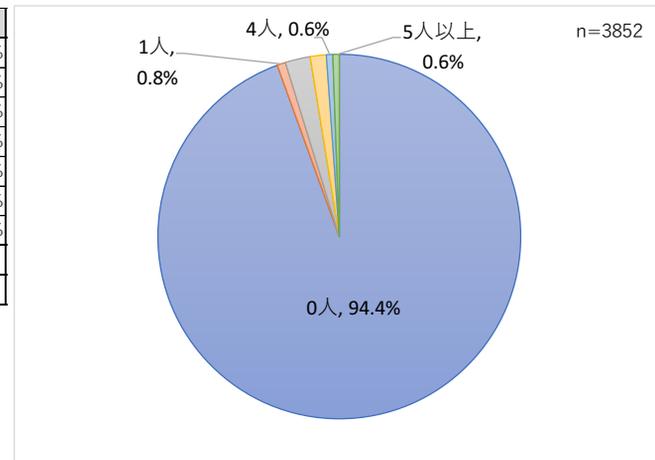
※2（家事・育児・介護などを主にやってくれる自分以外の同居者がいない）



図表2-27 生活環境（学生・生徒）

q4-5 Q. 現在、あなたが持つお子さんの人数は、次のうちどれですか？

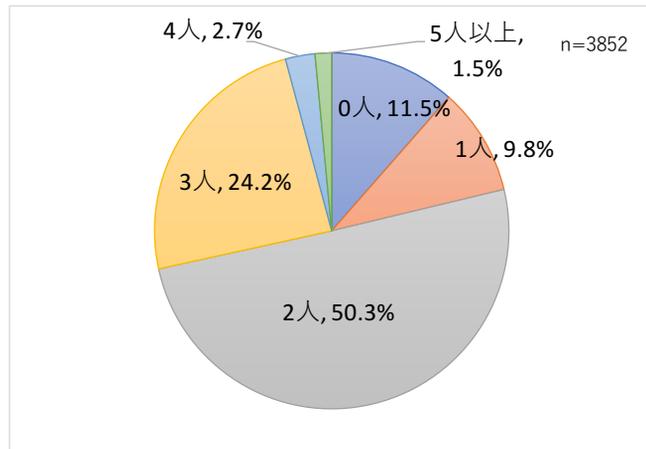
		度数	%	有効%
有効	0人	3638	94.4%	94.4%
	1人	29	0.8%	0.8%
	2人	86	2.2%	2.2%
	3人	55	1.4%	1.4%
	4人	22	0.6%	0.6%
	5人以上	22	0.6%	0.6%
合計		3852	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		3852	100.00%	



図表2-28 現在のこどもの人数（学生・生徒）

q4-6 Q. 将来、あなたが理想的だと思うお子さんの人数は、次のうちどれですか？

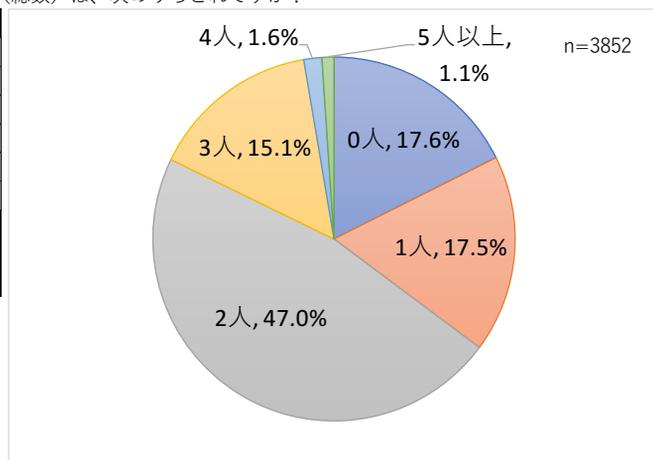
		度数	%	有効%
有効	0人	443	11.5%	11.5%
	1人	376	9.8%	9.8%
	2人	1938	50.3%	50.3%
	3人	933	24.2%	24.2%
	4人	104	2.7%	2.7%
	5人以上	58	1.5%	1.5%
	合計	3852	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		3852	100.00%	



図表2-29 理想のこどもの人数 (学生・生徒)

q4-7 Q. 将来、あなたが現実的に持つことができるだろうと思うお子さんの人数 (総数) は、次のうちどれですか？

		度数	%	有効%
有効	0人	679	17.6%	17.6%
	1人	676	17.5%	17.5%
	2人	1811	47.0%	47.0%
	3人	583	15.1%	15.1%
	4人	62	1.6%	1.6%
	5人以上	41	1.1%	1.1%
	合計	3852	100.0%	100.0%
欠損値	無回答	0	0.0%	
合計		3852	100.00%	



図表2-30 現実的なこどもの人数 (学生・生徒)

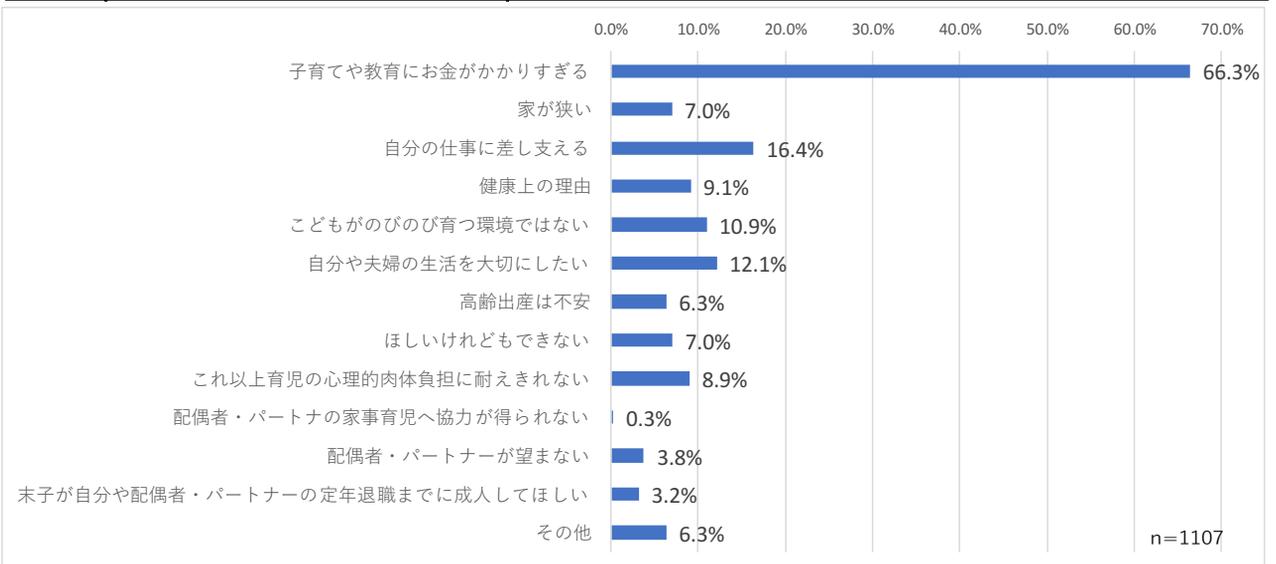
4-11 理想のこどもの人数より少ない理由

現実的に産み育てる予定(計画)のこどもの数が、産み育てたいと思う理想的なこどもの数より少ない回答をした方に「理想の人数より少ない理由」を尋ねたところ、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が66.3%で他の回答よりも群を抜いて最も多い結果となった。学生・生徒も社会人と同様に資金面が影響していることがわかる。

※現実的に産み育てる予定(計画)のお子さんの数が、産み育てたいと思う理想的なお子さんの数より少ない人のみお答えください。

q4-8 Q. 理想の人数より少ない理由は、次のうちどれですか？(いくつでも可)

		度数						有効%		
		yes	no	合計	無回答	非該当	合計	yes	no	合計
1	子育てや教育にお金がかかりすぎる	734	373	1107	0	2745	3852	66.3%	33.7%	100.0%
2	家が狭い	77	1030	1107	0	2745	3852	7.0%	93.0%	100.0%
3	自分の仕事に差し支える	181	926	1107	0	2745	3852	16.4%	83.6%	100.0%
4	健康上の理由	101	1006	1107	0	2745	3852	9.1%	90.9%	100.0%
5	こどもがのびのび育つ環境ではない	121	986	1107	0	2745	3852	10.9%	89.1%	100.0%
6	自分や夫婦の生活を大切にしたい	134	973	1107	0	2745	3852	12.1%	87.9%	100.0%
7	高齢出産は不安	70	1037	1107	0	2745	3852	6.3%	93.7%	100.0%
8	ほしいけれどもできない	78	1029	1107	0	2745	3852	7.0%	93.0%	100.0%
9	これ以上育児の心理的肉体負担に耐えきれない	99	1008	1107	0	2745	3852	8.9%	91.1%	100.0%
10	配偶者・パートナーの家事育児へ協力が得られない	3	1104	1107	0	2745	3852	0.3%	99.7%	100.0%
11	配偶者・パートナーが望まない	42	1065	1107	0	2745	3852	3.8%	96.2%	100.0%
12	末子が自分や配偶者・パートナーの定年退職までに成人してほしい	35	1072	1107	0	2745	3852	3.2%	96.8%	100.0%
13	その他	70	1037	1107	0	2745	3852	6.3%	93.7%	100.0%



図表2-31 理想のこどもの人数より少ない理由 (学生・生徒)

社会人：別表（その他、自由回答）

Q. 現在、あなたはどの職種で勤務していますか？ ※正規、非正規（パートアルバイト含む）

No.	その他回答	回答数合計
1	未回答	156
2	保育関係	80
3	介護	75
4	漁協、農業	70
5	工場	64
6	調理関連（栄養士含む）	63
7	看護関連	49
8	支援員（児童・福祉）	39
9	教育業	30
10	医療	23
11	公務員	18
12	飲食・接客業	17
13	会社経営	14
14	管理職	14
15	清掃業	14
16	自営	14
17	福祉	13
18	製剤・薬局	7
19	倉庫業務	7
20	物流	7
21	美容	6
22	サービス業	5
23	管理	5
24	作業	5
25	歯科	5
26	食品	5
27	役員	5
28	コールセンター	4
29	パート	4
30	公安	4
31	消防	4
32	専門職	4
33	畜産業	4
34	半導体関係	4
35	ケアワーカー	3
36	ドライバー	3
37	音楽関連	3
38	警備業務	3
39	会社役員	3
40	検査	3
41	個人事業主	3
42	事務職	3
43	児童館	3
44	取締役	3

Q. 現在、あなたはどの職種で勤務していますか？ ※正規、非正規（パートアルバイト含む）

No.	その他回答	回答数合計
45	塾関連	3
46	出荷業務	3
47	整体・整骨	3
48	クリーニング	2
49	コンサルタント	2
50	コンビニスタッフ	2
51	ピッカー	2
52	会社員	2
53	学校給食	2
54	給食	2
55	警察官	2
56	軽作業	2
57	研究	2
58	市役所	2
59	施設職員	2
60	相談員	2
61	団体職員	2
62	配送	2
63	理学療法士	2
64	NPO法人 子育て関連 勤務	1
65	Webデザイン	1
66	インストラクター	1
67	うさぎの飼育	1
68	オークション出品カメラカルテ	1
69	オーナー	1
70	オペレーター	1
71	カメラマン	1
72	クリエイター	1
73	スタッフ	1
74	スポーツ関係	1
75	ダブルワーク 事務 福祉	1
76	ネイリスト	1
77	パーツ検査	1
78	ハウスキーパー	1
79	パソコンインストラクター	1
80	フォークリフトオペレーター	1
81	フリーランス	1
82	ホールスタッフ、キッチンスタッフ等	1
83	マシンオペレーター	1
84	マッサージ	1
85	リネン作業	1
86	リハビリ	1
87	りんじ	1
88	レジ	1
89	阿蘇学校給食センター	1

Q. 現在、あなたはどの職種で勤務していますか？ ※正規、非正規（パートアルバイト含む）

No.	その他回答	回答数合計
90	育休中	1
91	一人親方	1
92	一般職	1
93	印刷所軽作業	1
94	運営	1
95	運転手	1
96	運輸	1
97	英語講師	1
98	園のバス乗務	1
99	園長（管理職）	1
100	加工場	1
101	家族従事	1
102	家賃収入	1
103	会計任用職員	1
104	会計年度職	1
105	学校関係	1
106	観光施設案内業務	1
107	企画職	1
108	技能職	1
109	技能労務職	1
110	銀行窓口業務	1
111	空港消防	1
112	軽食	1
113	血液等 検体回収	1
114	検査員	1
115	古物商	1
116	購買調達	1
117	梱包作業	1
118	在庫管理	1
119	作物栽培	1
120	産後ドゥーラ(産後ケア)	1
121	司書	1
122	市議会議員	1
123	指導員	1
124	施設介護職員	1
125	施設保育士	1
126	自衛隊	1
127	自動車部品の外観検査	1
128	自由業	1
129	社会福祉法人 理事長	1
130	社長	1
131	書道家	1
132	助手	1
133	商品の仕分け	1
134	商品の包装	1

Q. 現在、あなたはどの職種で勤務していますか？ ※正規、非正規（パートアルバイト含む）

No.	その他回答	回答数合計
135	図書館	1
136	水産加工	1
137	正社員時短勤務 福祉	1
138	生産管理	1
139	生産業	1
140	生産工場現場管理	1
141	精神保健福祉士	1
142	請求業務 兼 出荷業務	1
143	NPO法人のフリースクール	1
144	総合職	1
145	葬祭業	1
146	送迎や補助	1
147	代表	1
148	代表社員	1
149	代表者	1
150	地域福祉	1
151	町の会計年度任用職員	1
152	町議会議員	1
153	店舗スタッフ	1
154	電気工事士	1
155	電線加工	1
156	塗装業	1
157	内職	1
158	認定こども園	1
159	配膳と片付け	1
160	病院勤務	1
161	品質管理	1
162	品質検査	1
163	品質保証	1
164	品出し	1
165	文房具卸ピッキング	1
166	保健	1
167	放課後児童クラブ支援員	1
168	放射線科助手	1
169	目視検査	1
170	用務員	1
171	理容業	1
172	陸上自衛隊	1
173	療養介助員	1
174	臨床検査技師	1

Q. あなたの働き方は、次のうちどれですか？

No.	その他回答	回答数合計
1	無回答	8
2	役員	3
3	専従者	3
4	介護職	2
5	準社員	2
6	時短勤務	2
7	会社経営	1
8	会社役員	1
9	経営	1
10	自衛隊	1
11	社長	1
12	接客業	1
13	代表	1
14	代表社員	1
15	内職	1
16	保育士	1
17	法人経営者	1
18	家族経営	1
19	農薬	1
20	会計年度職員	1
21	再雇用	1
22	再任用	1
23	時短正規雇用	1
24	准社員	1
25	代表取締役	1
26	事務所と農業	1
27	農業は自営業であり正規雇用でもあります	1
28	自営手伝い	1

Q. 若年層が熊本に定着するために充実させるべきものは、次のうちどれだと思いますか？ ※重要と思うものから最大5つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
1	賃金の向上	171
2	賃金・就業先の安定	17
3	大企業・魅力的な企業の誘致	9
4	無回答	7
5	住環境の保証	4
6	他世代間の交流	2
7	文化的資本の充実	2
8	学費支援	2
9	所得を上げる	2
10	十分な収入の見込める企業、子育て世代への自治体からの金銭的援助	1
11	渋滞のない街作り	1
12	経済的保障の充実	1
13	結婚や子育てに対しての助成金や支援が他の県に比べても少なすぎる。家庭を持つ、子を育てようという気にならない	1
14	若者に希望を持たせること。わざわざ5000億もかけて、県民に相談もせずに海外の工場を誘致するのなら、子どもを取り巻く環境を改善できると思うし、これからの未来をたくす子どもたちの生活環境、特に熊本の魅力のひとつである水を軽視する県の態度が残念であり、子どもたちにとっては熊本の自然は唯一無二であり、県の対応は残念だと家族で感じる。まだまだ生い先短い高齢者ファーストのド田舎だなあと、政令指定都市なのに遅れていると痛感するが、そういうのを克服できると若者はどんどん活躍できると思う。	1
15	給与形態	1
16	選択肢すべて	1
17	すべてにおいて、"人権"、いのち、くらしを守る人権ベースであること。まず、行政職員が意識改革をして欲しい。ベースにまちづくり	1
18	日本人による日本人のための企業が必要。外資導入で、日本人が疲弊します。日本人に給料が入ることが大切です。熊本の子どもたちが活躍できる町づくりをしてほしい。熊本の子どもたちのためにお金を使ってほしい。少々の利権はあるのは仕方ないかもしれませんが…。	1
19	熊本で生まれ育った人が、熊本で生まれ育った人以外を排除する傾向が九州の他県より強いこと。	1
20	働き先の選択肢の増加。税金優遇。男女差別解消。	1
21	熊本で生まれ育った環境が良かったかどうか。	1
22	都市圏と変わらないファッションや流行のものが揃う商業施設等の建設(複数)	1
23	キャリア教育の浸透	1
24	BPOセンターなど女性が活躍できる職場は増えているが、賃金が安いので男性は定着率が低い。職種や業種も偏っており選択肢が少ない為、県外へ流出している傾向にある。今後、都会の企業でリモートが主流になった場合に移住先として熊本を選んでもらうには公共交通機関の充実は必須(都会では自動車免許を持っていない若者も多いため)	1
25	公園遊具の充実。自動車優先意識の強い県民の意識改革に向けた運動。子どもを安心して自転車で習い事等に行けるような道路整備(危なすぎて気軽にでかけておいでと言ってあげられない事がとても悲しい)	1
26	熊本の企業の周知、魅力発信	1

Q. 若年層が熊本に定着するために充実させるべきものは、次のうちどれだと思いますか？ ※重要と思うものから最大5つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
27	こどもを中心なら、一つ一つのイベントに県民を呼び込んだほうがいい。例えば総文パレードは県外からすれば素晴らしくユーチューブでも人気で、イベント告知されていないのは非常に勿体ない。渋滞がひどく習い事に連れて行くのに一苦勞でやめさせたい。子供の質も下がり、家事もできないので、仕事を早く上がったたり、生活の質が下がる。子供たちは熊本は住みにくいと感じているようです。	1
28	仕事と家庭生活の両立が出来る環境	1
29	程よい距離感の地域づくり（田舎特有の密な人間関係がない場所がほしい）	1
30	交通環境の利便性向上、安全・安心な生活環境（交通安全・防犯）、環境に優しい暮らしができる地域への変化	1
31	市民と行政の距離感を縮める	1
32	自分の事しか考えない、いえ、逆に蹴落とすような熊本の人間性をあらためるようにしないと無理です	1
33	荒尾市指定ゴミ袋無料化、子供が遊べる大型公園	1
34	人権の最低限を保障される文化的な社会環境	1
35	所謂、肥後もっこすが多くコミュニケーション能力が低すぎるのが残念	1
36	貧困層を無くすこと。	1
37	自己中心的風土を変える。	1
38	家庭の裕福度で学力の差が出ない環境作り。	1
39	施策を行う側にどういう趣向の若年層に定住してもらいたいのか、という方向性が必要。大都会に憧れる若年層の定住はそもそも無理なので、熊本の都会でもなく、そこまで田舎でもなく、九州の四方へのアクセスが良く、程よくファッションが栄え、かといって過度な人口の集中もなく、ある種曖昧な立ち位置に立つのか、それとも大都会に比肩する事を目指すのか、施策を実行する側の立場を明確にすべき。それで選ぶ人は選ぶし、選ばない人は選ばない事を許容しなくては、全部に良い顔は難しい。	1
40	フルタイムで働いたら、子供を迎えに行き病院に行くまでに受付時間が終わってしまう為フルタイムで出産後は働けない。	1
41	福利厚生が最低限度整っており、給与が生活していけるくらいの額である職場が多くあること	1
42	渋滞を無くすこと	1
43	女性、高年齢者に対しての就職の機会が他県に比べてまだまだ狭い	1
44	若年層やファミリー層に限らず、生活していくためには一定の金銭が必要不可欠なので、安定した収入や手間暇もお金もかかる子どもがほしいとなれば、平均賃金の高い大都市圏に人が流れていくのは必然だと思う。地道に賃金と待遇の改善に努めるしかないのではないか。熊本は医療の質も低いので、長い目で見ればそのあたりも関係してくると思う。	1
45	物質的な充実ではないと思います。また、外に出る事も経験として必要です。ただ、誇れる故郷があるのは重要ですよね。	1
46	熊本がいいと思える生活環境	1
47	賃金、治安が良い事。ベトナム人が増えすぎて嫌だ	1
48	子供が安全に遊べる公園の充実、健康維持、運動の出来る公園や施設の充実	1
49	就業地に左右されずに所得を得ることのできる起業、フリーランスのしやすい環境整備。	1
50	人権意識の啓発（男女平等、子供を一個人として尊重すること、従業員を駒としない経営者の意識）、多様性の尊重、	1
51	教育する環境が整っていない。	1
52	仕事が無いから、稼げないから、天草を出ていく家族や、若者が、多い	1
53	子どもの成長過程で熊本の魅力を知ってもらおう思い出づくり	1

Q. 若年層が熊本に定着するために充実させるべきものは、次のうちどれだと思いますか？ ※重要と思うものから最大5つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
54	大人が未来に対して希望をもてるような可能性教育の充実！大人をみて子どもたちは育つから！	1
55	若年層の雇用条件の改善と賃上げ	1
56	他人に優しくできる余裕	1
57	コワーキングスペースなどの大人と接し、成長できる場を学生でも使えるようにし、増やす。	1
58	明るい街づくり。（街灯の整備、歩道整備、路上駐車及び敷地からのみ出し駐車などの取り締まりをすることで、きれいな街づくりができると思う）	1
59	教育の選択肢	1
60	熊本市以外も娯楽やスポット、子どもの習い事や仕事なども充実してほしい。	1
61	女性が結婚、出産しても働ける企業が熊本市以外にもある事	1
62	若者が楽しめるまちづくり	1
63	より良い職場環境。就職先の充実	1
64	買い物しやすい環境づくり	1
65	県内の地域格差を無くす	1
66	熊本に期待はしていない。	1
67	未就学児の充実化は進んでいるが、学童等には全く手が付けられていない。実際、小学校の方が、短縮授業や半日授業が多く、とても正社員では続けられない。	1
68	リモート可能な仕事環境をもっと推進すべき。駐車場も少なく高く渋滞もあり自然環境や人の環境にも良いが理解できない職場が多い。	1
69	給料の大幅アップ(2倍)と、1歳くらいまでは働かずとも給料全額もらえる制度	1
70	働く場所の多様性(企業の数)	1
71	各学校によってか、学校での学童(その中でもクラブなどがある所もある)があると学校で預かってもらえる為、大変助かると聞いた。学童費も安いらしい。仕事後にわざわざ離れた学童の保育園まで迎えに行くのが大変。自宅近くの保育園など、学童受け入れ体制が整っていない為、非常に困っている。同じ小学校だが、平等ではない気がする。	1
72	理系大学が少ないので、どうしても県外に行ってしまう。	1
73	何より、自分の子どもだけでなく、県民一人ひとりが子ども達を許容して育てるという意識を持つ事が必要と考えます。教育、住環境、労働条件等のハード面を整える事も重要ですが、何より親を始め、地域住民を含め周りの人々の子どもに対してどのように接していくかが、一番重要であると思います。	1
74	物価に対し、所得向上	1
75	経済面での各種支援の充実	1
76	労基を守る環境	1
77	畜産物、魚の味が良くない割に高い。外食もコスパが悪いお店がおおい。	1
78	スポーツを取り巻く環境	1
79	若者への支援	1
80	お金のかからないレジャー施設(公園、プール等)が九州他県に比べて少ない気がする。隣の佐賀県は新しい大規模公園が随所にあり魅力的。	1
81	人間関係(家族、友人)の安定	1
82	基本給の増加	1
83	熊本といっても、地域ごとに差があると思います。私が住んでいる天草は天草市内からも遠く離れていて、高校に通うのに時間やお金が多くかかります。不便さを感じます。その後の進路も利便性のよい都会へ住居を移していることが多いのではないのでしょうか？	1
84	各駅ごとの駅前の発達	1

Q. 若年層が熊本に定着するために充実させるべきものは、次のうちどれだと思いますか？ ※重要と思うものから最大5つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
85	大都市のようにもっと様々な博物館など子供が体験出来る施設を増やしてほしい	1
86	チャレンジに寛容で応援してもらえる(否定しない)、高いスキルを持った人が多く人脈作りができる、古い価値観を押し付けない(熊本に定着させようとするのが押し付けになれば、選択する自由がなくなる)	1
87	アンケートの上から6まで。その下はできていると思う。	1
88	郷土愛を育む教育	1
89	世帯年収の増額、税金の減額	1
90	全体年収を増やす	1
91	全部が必要だと思う	1
92	魅力のある仕事があるか。芸術分野の仕事は都会にしかないものがほとんど。	1
93	若年層が経済的に充実すること	1
94	体験・可能性を広げるの場(環境)の提供(「田舎だから」と諦めない環境整備)	1
95	雨の日に低料金で、子供を遊ばせる場所	1
96	リスク管理しながら挑戦のできる環境	1
97	県民の平均年収が上がること	1
98	賃金の低さ 賃貸賃料の高さ	1
99	収入とやりたいことの兼ね合い	1
100	買い物のしやすさ	1
101	関東の職場のリモート就職でもよいと思う。	1
102	十分な所得	1
103	初任給を高額にする	1
104	経済基盤が上昇しないと!	1
105	雇用以外の働き方を知る環境	1
106	所得の増加	1
107	家族を第一とすることを妨害しない・嫌悪しない企業	1
108	本人が自分がどうありたいのか、何をしたいかが重要であり、熊本に留まるために何をするか決めるものではないと考えます。	1
109	職の種類の豊富さ、賃金の底上げ	1
110	県政の男女平等(クォータ制の導入)、包括的性教育の拡充	1
111	若年層だけでなく、産後の社会復帰しやすい、中途枠も増やして欲しい。	1
112	都市部以外でも魅力ある高等教育、就職が出来る環境作りをしてほしい	1
113	縁故関係による口利き採用の廃止	1
114	所得向上	1
115	収入の底上げ、税金の引き下げ	1
116	若者の提案や考えを柔軟に聞く環境を整える	1
117	労働条件、賃金を東京並みに、保育所を増やす	1
118	よそ者(県外者、外国人、女性、LGBTQなど)を区別せず、誰もが共に生き暮らす仲間として受け入れられる風土	1
119	子育てサポートの充実	1
120	企業に対しての魅力というより、働き方に魅力を感じられない。	1
121	若者に魅力的なまちづくり	1
122	他県より手厚い補償、補助、特典	1
123	声優、俳優など芸能界を目指す人達のための養成所を熊本にも作って欲しい。	1
124	渋滞の緩和	1

Q. 若年層が熊本に定着するために充実させるべきものは、次のうちどれだと思いますか？ ※重要と思うものから最大5つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
125	賃金が上がること。女性が就職できる環境（男性と比べると正規雇用のハードルが熊本は高い。面接で聞かれるのも個人の能力や経験ではなく、結婚しているのか？子供はいつ？等の質問を必ずされるのが現状。）	1
126	経済的ゆとりが必要	1
127	地元で働いて生活していける環境整備	1
128	個人で決める	1
129	仕事にしても、子育てにしても、仲間がいると良いと思います	1
130	水の安全	1
131	まだまだ熊本の企業は保守的で行政が頑張ってもワンマン社長に一言で全てが決まってしまう。それに従わないと仕事も無くなる。行政と企業の間大きな溝がある。	1
132	大都市との行き来が容易にできること	1
133	看護師をしています。出産育児をしながら働くのは環境的に働き辛い。給料面も全国と比べて低いため、同じ仕事をしていて給料の差があるのは納得できない。バカバカしくなってくる。	1
134	男尊女卑の改善	1
135	多様性を認め合える環境作り(現在は、義務教育の時点で多様性を認めない風潮があり、全てにおいて同調圧力の元で生活を強いられている。そこで生き辛さを感じている者には救済の手がないまま置いてけぼりになっている。例えば、不登校の子どもに対して無償の教育の機会が与えられない、口に合わない給食を我慢して食べないといけない等、多数派と同じことが出来ずに苦しんでいる子どもがいることを配慮しながら、今の時代に合った教育になるよう、まずは義務教育の時点から生きやすい社会になるよう見直していただきたい)	1
136	郷土愛を育てておく	1
137	ライブやイベントが福岡に劣る	1
138	男尊女卑的な昔ながらな考え方	1
139	若年層が県外に出る理由は地場企業の賃金の低さ、最先端な知識や技術などを学ぶには県外というイメージがある。	1
140	税金の安さ	1
141	交通環境の利便性向上（モノレールなど）安全・安心な生活環境	1
142	収入の安定、有給、プライベートの時間の確保	1
143	大至急交通渋滞の解消	1
144	他人への優しさを持った人が増えること	1
145	熊本は収入が低いのに物価が高く非常に住みにくい。外食も高い、家賃も高い。競争相手がいないためだろう。TSMCの進出により人手不足になり平均給与が上がることに期待したい。	1
146	とにかく交通の利便性向上。JRが発展していなさすぎて絶望感しかない。必然的に車社会になっているが狭く通りにくく混む道ばかりでストレスしかない。生活のしにくい環境ではその土地に定着することは難しい。	1
147	出る杭は打たれるので、教育かな	1
148	教育費の無償化	1
149	人口を増やすこと	1
150	働き方改革、学校現場の教育	1
151	エンターテイメント	1
152	仕事の数を増やす。	1
153	情報収集できる場所の充実。冊数の多い本屋さんなど	1

Q. 若年層が熊本に定着するために充実させるべきものは、次のうちどれだと思いますか？ ※重要と思うものから最大5つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
154	熊本に帰ってきて一番嫌だったのは、バイアスに基づいたジェンダー・ロールを求められること。育児期間に給与が支払われず、育児の金銭的な支援もなく、貯金を切り崩して生活していたこと。シングルマザーやその他経済状況の厳しい家庭には充実した子育てはぜいたくでしかないこと。社会の認識、国の制度の問題もあるが、地方でできることはあるのではないか。	1
155	地方の企業が少ないので、地方で働ける企業を増やす。	1
156	ジェンダー平等の推進	1
157	男尊女卑の考え、前例踏襲型の体制の改善	1
158	地域の活性化	1
159	お米の値段を上げる	1
160	生活の安定	1
161	若年者の所得をあげること	1
162	働きたい意思がある人の子を預かれる制度づくり	1
163	県外就職を選んでも帰省した時にどんどん魅力的な熊本に変わっていたら将来的に戻ってくることや熊本を応援したくなるのではないか。	1
164	所得水準が高い就労先の創出	1
165	経済的な豊かさ	1
166	LGBTが住みやすい環境づくり	1
167	賃金増加、子育てしながら働ける環境。	1
168	熊本で活躍する若い世代に関する情報の発信	1
169	様々な業種の就職先の確保	1
170	ダイバーシティ。多様性を認める社会風土	1
171	中央との情報格差（特に情報伝達のスピード）	1
172	男尊女卑の考え方の排除	1
173	学生に対して全国を見て熊本でしか学べないという魅力のあるものを作りその学んだことが熊本で仕事にできるといいのでは	1

Q3-2-2S

Q. 「あまり結婚したくない」「結婚したくない」「わからない」と思う理由は、次のうちどれですか？（いくつでも可）

No.	その他回答	回答数合計
1	離婚経験から	87
2	子どもがいるから	20
3	無回答	18
4	結婚にメリットを感じない	9
5	あまり興味ない	7
6	他人に邪魔されず、一人で子供を育てて行きたいから	6
7	現在の婚姻制度下での結婚はしたくない（夫婦別姓、同性婚等の問題）	6
8	既に結婚し、パートナーと死別したから。	3
9	まだ決めてない	3
10	同性が好きなので結婚できない	3
11	子を残したくない・子供がいらない（嫌い）	3
12	結婚の形にこだわっていない	2
13	幸せにな将来がみえない	2
14	相手がいない	2
15	婚活（マッチングアプリ、お見合いパーティー等）に参加して異性と付き合っても長続きしなかった。なかなか出会いのきっかけ自体も少なくなっており、異性に好意をもつことも減ってきているため。	1
16	近場に外でストレス発散できる場所が少ない	1
17	今それどころではない	1
18	願望があまりない	1
19	年齢的に無理	1
20	自由のため	1
21	自身が病気だから	1
22	税金が高すぎる。デート代が税金に消える。	1
23	関心がない	1
24	親の介護	1

Q. あなたの結婚のイメージに近いのは、次うちどれですか？（いくつでも可）

No.	その他回答	回答数合計
1	無回答	14
2	忍耐・我慢	6
3	わからない・特になし	5
4	女性の負担・犠牲	5
5	お金がかかる・お金の困る	4
6	家族が増える、助け合える	4
7	結婚前する前と後でイメージが違う	4
8	男性は家事をしない・女性に負担が多い	3
9	成長できる	3
10	犠牲にしなければいけないことや、あきらめないといけないことが増える	3
11	命をつなげていくことができる	2
12	制度	2
13	孤独でなくなる	2
14	離婚	1
15	質問の意図があまりわかりません。	1
16	同じ価値観や考え方、共通の趣味を共にでき助け合えるパートナー	1
17	孤独死を回避できる可能性がある。	1
18	ずっと相手を大切にすると約束できる	1
19	親の介護を手伝ってもらえる	1
20	家事を一緒にできる	1
21	御縁	1
22	個人による	1
23	配偶者が暴力をふるう人だと地獄	1
24	家族を守る	1
25	やりたいこと(仕事を含む)が出来なくなる	1
26	離婚したので、次に再婚するなら生涯過ごせる相手と。	1
27	精神的に追い込まれる場	1
28	離婚したのでこたえづらい	1
29	パートナーと共同生活する場を設けること	1
30	将来への不安が無くなる	1
31	精神的に余裕が持てない。	1
32	離婚しているので、良いイメージがない	1
33	家を買いたい人、子供が欲しい人以外メリットなし	1
34	項目がおもしろい	1
35	暴力、相手の親、経済的負担	1
36	1度したから	1
37	夫、妻。子供ができた場合、父親、母親として第二の立場をエンジョイできる。	1
38	再婚になるので結婚したら子どもの事を守れるかが不安。	1
39	家事育児に対して女性が中心であるという根強い意識があり、結婚後の生活に不和を生じやすい	1
40	持ち家ができる	1
41	親のためにしなきゃいけないもの、孫を見せるため	1
42	お互いの想いを伝え合い譲り合って生きること	1

Q. あなたの結婚のイメージに近いのは、次うちどれですか？（いくつでも可）

No.	その他回答	回答数合計
43	仕事を休めないため、育児や学校行事への参加が不十分であり、パートナーに負担をかけてしまっている。パートナーが職業を選択できない状態になっている。加えて、経済的負担が大きい。	1
44	共に年を取り、互いの理解を深めあい・新たな発見をし、愛情を育んでいく事を継続する関係	1
45	共働きの子育てが地獄。いい未来が見えない。	1
46	結婚はまだかと言われなくなる	1
47	転機	1
48	一人ではない安心感	1
49	幸福	1
50	どちらかの姓の強制	1
51	人付き合いが大変	1
52	必須ではないが、人生設計の中の1ステップ（結婚前には特段のイメージはなかった）	1
53	相手との環境の違いから見えてくる発見がある	1
54	生きる責任感が増す。	1
55	若い頃に、好きになった人と結婚する為、年を重ねるごとに合わなくなる。	1
56	人生を共に歩むパートナーを得ることができる	1
57	日々の生活が充実している。楽しく生活が出来る。	1

Q. あなたにとって、結婚に繋がると考えるきっかけやタイミングは、次のうちどれですか？ ※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけ・タイミングをお選びください（いくつでも可）

No.	その他回答	回答数合計
1	子どもができたとき	218
2	子どもが欲しいと思ったとき	50
3	無回答	18
4	経済的に安定した時	12
5	転勤・転職など生活の変わる機会	12
6	熊本地震	5
7	なんとなく	5
8	タイミング	3
9	結婚したいといわれたとき	3
10	個人による	2
11	あきらめがついたとき	2
12	勢い	2
13	縁	2
14	お付き合いしたら＝結婚と思い込んでいたので。	1
15	7年付き合ってた、事故にあい事情聴取されてる時に「もう結婚するんでしょ？」と言われて咄嗟にハイと答えた時から意識し初めて具体的に話しをし始めました。	1
16	この人とならざっと思いそうと思った時。	1
17	20代前半できちんと遊んで、そろそろかなと思ったとき	1
18	結婚したいと言われたから	1
19	気持ちに余裕があるようになった時	1
20	直感	1
21	引っ越しや体調など生活環境や体の調子に変化があった時とか	1
22	遊んだり、物を買ったり、自分の娯楽がどうでもよくなったと思いついた時。	1
23	精神的な安定を求めていたとき	1
24	親に認められた時	1
25	家族になる人に責任が持てるようになったと確信できたとき。	1
26	遠距離恋愛だったので、一緒にずっといたいと思ったとき	1
27	パートナー(男性)自身が家族を持つという覚悟をもった時	1
28	パートナーからの結婚に対する適度なプレッシャー	1
29	親が元気なうちに結婚して安心させたい。孫の顔を見せたい。	1
30	結婚してもいいだろうという年齢になった(結婚をしたいとは考えていなかった)	1
31	時の運	1
32	一緒に暮らしたいと思ったとき(遠距離恋愛だった)	1
33	災害が起きた時、老後考えた時	1
34	相手が結婚したいと言いついたとき	1
35	父が病気になった時	1
36	周囲の助言で	1
37	はめられた	1
38	すべてにおいて責任感を持ちたいと思った時	1
39	付き合っている人と同居したほうが便利だと思ったとき	1
40	世間が結婚するのが当たり前という考えだった	1
41	結婚したいと思われる相手が見つかったとき	1
42	遊び尽くした時	1
43	付き合った年数	1

Q. あなたにとって、結婚に繋がると思えるきっかけやタイミングは、次のうちどれですか？ ※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけ・タイミングをお選びください（いくつでも可）

No.	その他回答	回答数合計
44	人生が寂しく感じたとき	1
45	自分を気に入って貰えた時	1
46	自分の仕事をやめてまでも、応援したいと思ったから	1
47	そろそろ責任を取らないといけないと思った。	1
48	妹の娘(姪)の結婚が決まったとき	1
49	残りの人生をパートナーと共に過ごしたいと思った時	1
50	幸せな結婚している人や、幸せな家庭に触れた時。	1
51	家族がほしいと思った時	1
52	出会いがあった時	1
53	必然性を感じた状況に陥ったときに相手も相手の家族も同意があった時。	1
54	仕方なく	1
55	ご縁の大切さに気づき、期待感（“うそ”と錯覚する素）を手放した時	1
56	一緒に生活し出した時	1
57	歳だったので、別れてもいいからと思い、1度してみた	1
58	家族ができてからの楽しみを考えたとき	1
59	生活が安定してきたとき	1
60	親が年取ったと感じた時	1
61	独身時代にやりたいことをやり切った	1
62	仕事をする意義、生きてる意味を見失ったとき	1
63	金銭的に、一人でやり繰りするのが難しいと感じた時に、この人と結婚すれば収入が安定して親の医療費が出せると打算的な考えもあった。	1
64	頼まれたから	1
65	その人を他人に取られたくないと思った時	1
66	高望みをしなくなり妥協ができるようになったとき	1
67	一番の理由は親を安心させたい・親を喜ばせたい	1
68	残業をしなくてよい期間が続き、将来について考える時間ができたとき	1
69	環境の変化	1

Q. あなたにとって、結婚に繋がると思う出会いのシーンは、次のうちどれですか？ ※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけ・タイミングをお選びください（いくつでも可）

No.	その他回答	回答数合計
1	無回答	19
2	友人・知人・幼なじみ	18
3	結婚相談場	13
4	友人・知人等の結婚式	5
5	全て、出会いのある場所やタイミング	5
6	ナンパ	4
7	お店に居合わせた	4
8	お見合い	3
9	分からない	3
10	旅行先	2
11	店員と客の関係	2
12	同窓会	2
13	習い事先	2
14	成人式	2
15	自動車学校	2
16	留学	2
17	個人による	1
18	妊娠	1
19	直感	1
20	熊本地震	1
21	転職	1
22	就職活動	1
23	ライブ	1
24	意味不明	1
25	こどもまんなか、のアンケートですが、子育て支援に特化するアンケートを取るべきでしょう。ネーミングが違うと思います。	1
26	洗車場	1
27	婚活イベント	1
28	宗教団体の活動の場	1
29	町内の校区民体育祭	1
30	出会い系サイト	1
31	特にこれだというものはないと思う	1
32	親に付き合っている人の存在が分かり、会ったとき	1
33	隣の家に遊びに来てたから知り合った	1
34	スポーツ	1
35	塾	1
36	通学、通勤途上	1
37	入院した病院の看護師	1
38	めぐり会い	1
39	出会いのシーンはあまり関係しないと思う。	1
40	喫茶店	1
41	同じ宗教	1
42	親のため	1
43	飲み場	1

Q. あなたにとって、結婚に繋がると思う出会いのシーンは、次のうちどれですか？ ※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけ・タイミングをお選びください（いくつでも可）

No.	その他回答	回答数合計
44	お金がかかる出会いばかりだから結婚したいと思わない	1
45	ボランティアに参加した現場（良心的な目的で集まっているから信頼性が高いと考えます）	1
46	青年団活動	1
47	仲人協会	1
48	宗教	1
49	県外に住んでいて、出身地や出身校が同じだった	1
50	海外研修	1
51	いいたくないですか	1

Q. あなたがこどもを持たないライフスタイルを希望する理由は、次のうちどれですか？（いくつでも可）

No.	その他回答	回答数合計
1	無回答	16
2	その選択がない	2
3	この世界が嫌いだから、同じ経験を子どもにしてほしくない	1
4	年齢の問題	1
5	PTAがかなり負担に感じる。	1
6	こどもを育てる自信がない	1
7	今後、子どもが育つ自然環境や経済状況が厳しくなると考えるから	1
8	すでに子供がいる	1

Q. あなたの子育てに対するイメージ（経験者はその経験において）で当てはまるものは、次のうちどれですか？（いくつでも可）

No.	その他回答	回答数合計
1	経済的な不安 金銭的に無理	11
2	子どもを介した人間関係の構築・再構築	10
3	無回答	8
4	仕事の負担になる 仕事し辛くなる	8
5	自分の時間などがなくなる	5
6	父親と母親の意識の違いがありすぎる 女性の負担が大きい	5
7	ストレスが増える	4
8	子供中心の生活になる	4
9	家族の絆 離婚しづらくなる	4
10	親子共に成長になる	3
11	生物としての本能	3
12	子供のかわいさ、あいらしさを深く実感する	3
13	子育ては親だけがするものではない	2
14	出来れば、子供が1人でもいた方が人生感としてはいい気がします。	1
15	買い物が大変	1
16	自身の老後の資産	1
17	一人で孤立して社会から取り残されてる	1
18	子どものいろいろなことについて責任を持つべきだと思う	1
19	子どもがいないと将来の日本がありません。日本人の女性に日本人の子どもを産んでいただくことが、明るい未来につながる。生きがいになる。私たちは、日本人のご先祖様のお陰で今の命があります。子育ては、国づくりです。日本国は日本人のものです。外国に土地や企業を売るような売国奴は要りません。	1
20	自分自身のこれまでの生き方、考え方が全く通用しない人間を相手に問われる、思い知らされる、教えられる。	1
21	子どもから気づきや学びを得ることが多いです。いなきやいないいでもいいですが、いたらいたで人生をより豊かに彩ります。	1
22	安らぎは感じないが、幸せや喜び、楽しさ、愛おしさは感じている。	1
23	自分たちのところに来てくれた子が幸せに生きるためのお手伝い	1
24	家族を持つ、育てる	1
25	熊本では子育てし難い	1
26	大変なことが成長にともなって次々と出てくる	1
27	自分の宝物が増える	1
28	心の余裕がなくなる	1
29	マイノリティとしての自覚ができた（良くも悪くも特別配慮される立場であることを感じる）	1
30	昔は辛さしかなかったが、今ではもう少し時間を大事にしておけば良かったと思う	1
31	過ごし方の質をあげることが出来ていることも家族のおかげです	1
32	命を繋いでいくこと。	1
33	世の仕組みを身をもって知る	1
34	子供の将来が不安	1
35	分からない	1
36	個人による	1
37	子を産むと我が子かわいさと我が子を守るために、他人を蹴落としたり他人を陥れる人が多い。出産を期に性格が変わる人が多い。	1

Q. あなたの子育てに対するイメージ（経験者はその経験において）で当てはまるものは、次のうちどれですか？（いくつでも可）

No.	その他回答	回答数合計
38	子供の素晴らしさに気付けた	1
39	離婚の原因になる。守るものができる。自分の助けになる。老後寂しくない。	1
40	仕事をしながらでは子供との時間が十分に持てない。	1
41	自分の子を実親に取られる、子が病気したら全部私のせいにされる	1
42	日々修行	1
43	親自身も精神疾患と気づかないまま子を産んでから働いていく内に周りのように追いつけず心も折れいくつも退職…手先等不器用で地域や子供会、保育園～学校の行事に参加や参観等、全てが辛い。長文失礼しました又回答合っていないかつすみません	1
44	自分が思い描く子育てではなかった	1
45	良くも悪くも配偶者の新たな一面に気付く	1
46	にぎやかになる	1
47	子供を介して、世界が広がる	1
48	親孝行	1
49	社会で優遇される、仕事の量を定時で終わるように考慮してもらえる	1
50	配偶者と喜怒哀楽を共有出来る。	1
51	中高年や世の中からの共働き子育て世帯への配慮の無さを痛感する	1
52	合コンに行けなくなる	1
53	面倒	1
54	うまれてきてこれから生きていく理由になった	1

Q. あなたにとって、子育て支援で必要なものは次のうちどれですか？ ※重要だと思うものから最大7つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
1	経済的支援と安定（学校・企業・行政）	47
2	周囲の理解（企業・行政・社会）	22
3	無回答	12
4	保育費・学費など教育費の支援・無料化	8
5	配偶者との家事・子育ての分担	7
6	医療費の助成・無料化	6
7	地域の安全性・治安向上(通学路等)	4
8	放課後預かりサービスなど	4
9	実際全部必要。	4
10	他世代との交流・イベント	3
11	公立学校の立て直し（教師や教育の質を向上）	3
12	こどもは持たない方がいい	2
13	社会全体で子どもを見守り育てていくという意識	2
14	女性が家事育児を負担するのが当たり前だと思われてる、世間の認識が無くなれば良いと思う	2
15	子どもが好きな催し物	1
16	幅広い年代もできるデジタル機器	1
17	多子世帯への援助	1
18	夫の仕事が定時で終わるようになってほしい。男の育休はいらない。	1
19	使いやすく料金もリーズナブルで安心な病児保育がある地域	1
20	我が国の歴史を勉強すること。男女平等もいいが、男性と女性の役割をきちんと教えること。赤ちゃんは、女性しか産めない。適齢期もあることをきちんと伝える。子どもを持ちたいと思っても晩婚になるとはっきりいって厳しい。結局、その夫婦は赤ちゃんを諦めないといけなくなる。そうさせない行政の取り組みが必要。期待してもできないと思うが…。	1
21	旦那の精神的、心身の自立	1
22	園、学校、習い事等への送迎サービス	1
23	個別のケースに合わせたサービス	1
24	妊娠中の時期に子育てに関する不安の解消や社会への周知	1
25	これから親になる人へ、子供の身体、脳、言語機能、など発達について学習する機会。	1
26	団塊ジュニア世代ですが、数えの3歳までは自分で育てたいという思いが強くあり、結婚を機に辞職しました。育児休暇3年システムがあるNTTの友人を羨ましいと思っていました。もちろん彼女は5-6年休んで復職しています。ブランクを埋める復職研修もあったとか。あの当時にどの企業にもそのような復職システムがあったならば、キャリアを選んだ女子がもっと結婚していたのではないかと思います。	1
27	高校の給食または学食の設置。	1
28	本物の食育、食品添加物の怖さを伝える、本物のお味噌汁の大切さなど	1
29	〇ワンオペやシングルの方も増えており、親自身が体調不良や悩んだときに心身を休めたり、相談できる場所づくり	1
30	大分県国東市では、妊活サポートがあるそうです。将来妊娠を希望するかどうかに関わらず、知識を得ることは重要と思います。	1
31	子育ての前に未婚者の経済力確保が大事ではありませんか。	1
32	親同士の横の繋がり	1
33	親子が安心して遊べる遊具があったり散歩ができたりする広い公園(広場)	1

Q. あなたにとって、子育て支援で必要なものは次のうちどれですか？ ※重要だと思うものから最大7つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
34	働きながらも、子どもとふれあう時間の余裕が必要と思う。企業の常識的な勤務時間を8時間から6時間に短縮する。	1
35	最低でも一歳までは親が育てたいと思っていた。会社員は育休とか補償があるけど、個人事業者に雇われている国保の人にも目を向けて欲しい。	1
36	精神的サポート	1
37	制服の統一（小中学校）	1
38	10代の若い人への教育	1
39	夫婦共に土日祝日仕事の人のことも考えて、保育環境を整えてほしい。。	1
40	困ってるときに対応してくれるところ	1
41	男女共同参画に逆行する古い価値観を持った年齢層への啓発活動	1
42	発達障害、障害児に対しての手厚いサポート	1
43	在宅勤務の支援	1
44	小学校三年生までの時短勤務制度	1
45	児童手当などは廃止して給食費や学費に回して学びに繋がるものを無料化して欲しい。	1
46	出産・子育てが楽しいと思える妊娠期からの寄り添い	1
47	子どもを永遠に、24時間365日あずけられる施設	1
48	サポート、と表現している時点でおかしい。家族全体、社会全体に子育ての当事者であるとの意識が必要。特に行政、司法の面で大幅な意識改革がなされるべき	1
49	親の精神的・身体的介護を手伝って欲しい（いわゆるダブルケアへの支援）	1
50	仕事と家事育児は体力的にも精神的にもとてもきつい。でもどれも手放したくはない。未就学児くらいまでは、高齢者の介護保険制度に似たような、公的な宿泊や休日の預けサービスが当たり前で利用できればと思う。自分の時間を作るのに周り（親族）に迷惑をかけたり謝りながら生活しなければならないのがきつい。親になっても最低限自分のために使える時間がないと精神的に壊れてしまう。	1
51	一昔前に比べると、今、子育て支援については充実していると思います。	1
52	自身の小学校で完結できる、放課後学童。	1
53	公園や子ども館等の充実（北九州市等を参考に）	1
54	幼児向けの公園を増やしてほしい	1
55	介護と子育てが一度に降りかかって来た時、結局ファミリーサポートを受ける事が出来ず、辛い思いをした。	1
56	具体的だが、高校に学食を導入し、弁当を作る親の負担軽減と、今後を担う子供たちの健康増進に務めるべき。	1
57	公園などの遊び場や充実したスポーツ施設、図書館	1
58	結婚をしているカップルのみが子どもを持つべきといった意識の払拭。同性同士のカップルやひとり親でも気兼ねなく、子どもを持つことを祝福してもらえるような環境づくり。夫婦別性なども含む。	1
59	障害児への福祉体制の充実	1
60	ママのサポート・心のケア(ママが1人で抱え込まないで、ママも自分の時間を持てる)	1
61	埼玉県上尾市のアップीलンドの様な児童館(施設利用無料で感性を育ててくれる[ピアノ弾いたり歌ったりなど]職員がいる。)	1
62	公園などの施設	1
63	産後ケア事業を全ての産婦を対象にしてほしい	1
64	わからない	1
65	シッター補助、家事の助成、男性の意識改革	1

Q. あなたにとって、子育て支援で必要なものは次のうちどれですか？※重要だと思うものから最大7つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
66	福祉サービスの利用のわかりやすさ。サポート体制の充実	1
67	給料をあげる	1
68	親一人の収入で生活できるよう、社会全体の賃上げ	1
69	図書館?複合施設の融合	1
70	食事を国が配ったり、家事委託への支援。家事時間の短縮。子供との時間が増える。虐待が減る。	1
71	産前産後辛い母親がたくさんいます。家事育児訪問代行の充実が必要だと思います。出産がいい思い出になるよう母親が充分愛される必要を感じています。	1
72	上の子が療育に通っていますが、小児慢性特定疾患を患っているため、療育先では看護師が必要です。しかし、病気している理由で途中から退所させられました。サポートとして看護師さんを療育の場にお願ひします	1
73	制服代や体操服代の支給や、制服のおさがりをもらえるシステム、発達障害の知識がある人を学校に配置	1
74	婚姻契約を結んでもそれまでの個人の名前を保持できるようにすること。一方が婚姻によって戸籍の姓を変更しなければならない制度を速やかに変更すべき。	1
75	産後などパートナーなどサポートが難しい方に、ヘルパーさんのような方が来てくださるサービスがあると良い。	1
76	保育園の対応が、延長保育時間内であっても早めのお迎えを頼まれるので、仕事や家事などに支障が出ることもある。	1
77	里親制度の拡充	1
78	子どもにとって安全な環境、モンスターペアレントから学校の先生を守るような秩序を守るための行政の支援、悪いことが正されない風潮やクレーマーに屈する世の中で子育てに希望が持てない。暴言は心理的虐待という側面があるにも関わらず、メディアで他者、政治家の汚言、バッシングが垂れ流し状態になっており精神衛生に悪い。子どもに見せたくないし、社会が子供を育てる要素がない。	1
79	共働きでも、シングルでも、主婦でもどんな家庭環境にあっても子育てしやすい風土や行政支援。	1
80	学童での給食支給(春休み、夏休み、冬休み)	1
81	母子家庭についてももう少し考えてほしい	1
82	情報発信	1
83	シングルマザーのサポート。住宅手当などあったら助かります	1
84	子どもが満たされ、幸せだと思える環境に、保護者をおくこと	1
85	本音を言うと片働きでこども1人育てられる環境が理想。働く&子育てはしんどい	1
86	選択制ではなく、夫婦別姓を認め、女性や母親の権利や地位を尊重された状態。所得制限での支援に制限をしない状態。働き損の子育て罰、が無い状態。	1
87	アクセスの良さ(病院、買い物、学校、外出、旅行など)	1
88	仕事と子育て両立できるように制度を整える。本当は子供ともっと一緒に居たい。女性が無理して働かなくて良い社会になるといいなと思います。	1
89	使える制度など情報を得ること	1
90	未婚者も利用できる精子バンク	1
91	遠隔地に住む親に頼れない場合のサポート、障がい者手帳をもらえない子どもへのサポート	1
92	所得制限撤廃。病児保育の充実など	1
93	共感と信頼。信頼できてタイミングが合う方々との情報のこまめなやりとり。誠実さ。柔軟なロケーション。これに限ると考えています。	1

Q. あなたにとって、子育て支援で必要なものは次のうちどれですか？ ※重要だと思うものから最大7つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
94	親が子供と過ごす時間を十分に確保できること。給与は減らずに休日が増えてほしい。日々、仕事や家事や雑務に追われて余裕がないので。	1
95	ヨーロッパのように学生の公共交通機関の無償化。	1
96	家事代行	1
97	職場に、充実した保育施設があること	1
98	授かった子ども(命)を育てていく使命感、責任感の醸成	1
99	働きながら子育てというよりも、出産・育児休暇後に、無理せず、段階的に仕事へ戻るような仕組みが欲しいです。仕事復帰後の健康の面で不安があります。体調を崩しやすくなるのではないかと思います。	1
100	保育園に通う上の子がいて、第二子となった際に、働いていないと退園させられるのはおかしい。人間1人お腹で育てて、それを守るといって人生最大の仕事をしているにもかかわらず妊婦に仕事を強要している。なぜ出産直前まで働かないといけないという制度になっているのか疑問	1
101	遊具がある無料で遊べる公園や施設（雨の日に行ける場所）	1
102	1番の回答と被りますが、個人企業であっても、お休みが取りやすかったり、ある程度の期間時短で働けたり、都合がいいかもしれませんが、それでもお給料は変わらないような環境がほしい。	1
103	就学前位の間、しっかり子育てができるような国の支援	1
104	長時間労働の削減	1
105	子どもの入院時の付き添い入院が半強制	1
106	働いてなくても保育園を利用できること。親の精神的負担がなくなる	1
107	子どもが安心して過ごせる治安	1
108	扶養控除の復活。性差別の是正。	1
109	会社に所属しないでも収入作るサポート	1
110	小学校低学年くらいまでの室内遊び場。部活動の復活（近所の公園で遊ぶ子も少なく、安全面で不安があるため、小学校の施設で仲間と活動できる場所の復活を希望。また、送迎等の親の負担減にもつながる。（兄弟が複数いると、送迎の問題であきらめざるを得ない場合がある。）	1
111	治安の強化、歩道の整備等の安全対策	1
112	保育園に入園を希望しても申し込みが多く入りにくすぎる。三船などはオムツ代の支援もあるし、他の府中市では高校生まで医療費が無料だ。熊本市は子育てに対してケチすぎる。	0

Q. あなたにとって、働きながら子育てができる環境の充実のために必要な支援は、次のうちどれですか？ ※重要だと思うものから最大4つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
1	理解ある職場環境（労務など）	36
2	保育園に預けられる。または託児が出来る環境	24
3	ここに書かれてること全部	23
4	経済的援助・保障	21
5	無回答	13
6	病児保育の充実	11
7	父親の育児参加	10
8	子育てで休んだ場合、穴埋めをする人たちへのサポートや余裕を持った人員配置	4
9	職場に保育施設があること	2
10	103万の壁、106万の壁、130万の壁をなくすこと。	2
11	自営業の産休育休の特例	2
12	上三つの休みに関する選択肢は、労働者に与えられた権利行使のためできない方がおかしい。自動洗濯物畳み機、今日の献立を考えてくれるなど、家事と育児と仕事の狭間で、家事、育児の準備のために必要な狭間の事柄時短できるものが必要。	1
13	時短勤務でも給料が下がらない仕組み	1
14	PTA役員、研修、会議等で休まざるを得ないので、特別な休暇を	1
15	妊娠期間でも体調や状況に配慮し、働きつつけられる。時短勤務の取得期間が長い（家族のサポートが得られない環境だと3歳では一人で留守番させられない。フルタイム勤務ができない場合がある）	1
16	全ての夫婦がスタイルは違いますが仕事をしたい夫婦には充実した保育関係者がいてお互い尊重しながらみんなでこどもの子育てにたずさわれる安全な地域を目指したい。	1
17	子育て世代もそうでない世代も、お互いにメリットを感じられる評価制度の策定（業務負荷に応じた手当など）	1
18	家事負担軽減と家族や親族に頼らず働ける仕組み。	1
19	病後保育や夕方・夜間の診察してもらえる診療所	1
20	お母さんが精神的に頼りになる人、場所の提供	1
21	子供が小学生までのフレックスタイム制の導入	1
22	子育て中の為時間を満たさずパートタイマーです。社会保険の加入ができず、将来への不安があります。子育てで中心者の女性も時短でも社会保険がつく制度になってほしいです。	1
23	子育てと並行しての、昇任試験勉強のための時間を確保が困難。周りは昇任している年齢なのに昇任できずにいる。実力や成果で昇任させてもらえるシステムがあればいいのと思う。	1
24	病気預かり等の代理を頼める手段	1
25	パートナーの協力	1
26	質問の内容が、どこかに勤務する前提になっている	1
27	子供を持つ人持たない人が平等に働ける環境	1
28	早朝の弁当作りは仕事をする親にとって大きな負担です。軽減する対策をしてほしい。	1
29	ハローワーク内等で子育てサポートの手厚い会社のみぞの枠など、子育てとの両立に理解ある企業を紹介してほしい	1
30	小学校低学年まで育児時間（特別休暇）を取れる仕組みづくり	1
31	旅行などしたいときもあるので、連続した休みを取りやすくなること	1
32	パートの給料の上限を付けなくてパートでも育児休暇が取れるような環境	1
33	実家の近くの住まいの確保。田舎に借家や公営住宅の確保。	1

Q. あなたにとって、働きながら子育てができる環境の充実のために必要な支援は、次のうちどれですか？ ※重要だと思うものから最大4つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
34	授業参観を行う周辺学校が曜日をずらす（同時に会社を休む人が減るようにする）など、会社が休みを取らせやすい環境を学校側も作るべき。	1
35	配偶者パートナーの理解	1
36	子育てのサポートを簡単に依頼できるサービス仕組みづくり	1
37	夜間保育、夜勤免除の制度	1
38	現在、休暇については恵まれている環境ではあるが、一方で制度が進み過ぎて人手が足りておらず、結局みんな子育て世代なので誰かが無理をすることになる。早い者勝ちというか、その人の考え次第で周りに気を使うかどうかで。	1
39	農業は、忙しいく運動会	1
40	時間外労働は大事な収入元です。子供の病気等も予測出来ない事ですが、仕事でも予測出来ない事があります。その時、子供か仕事をか選んでも済む環境が理想です。	1
41	誰が休んでも誰にも負担をかけないような無理のない仕事内容かつ社員数。	1
42	親からの支援	1
43	災害時など、急に迎えに行かないといけない時には、休暇扱いにしないで欲しい	1
44	現実的でないようじゃない	1
45	退職しても、再就職先に困らないこと。正社員雇用が増えたらいいのと思います。	1
46	育児世代の総収入増加又は減税。	1
47	地域の方々のサポート	1
48	語彙力と考える力を鍛えて現実にアプローチする力	1
49	自分の為の休日が取れる。休日は子供と遊び合間に家事をこなし、結局疲れは取れないまま月曜日が始まる。	1
50	自営業ですけど育児休業とか無いので仕事を休んでしてました 休んだタイミングにもよりますが天候関係で年収に係ってきます	1
51	休暇や時間休を取る時に代替りの職員がいること。	1
52	自営のため、自分が働いていても公共の場でどのような場合でも子どもを見てくれる環境	1
53	学童の充実	1
54	周りの理解が一番だが土台仕事も子育てもは無理なので妥協点が必要	1
55	子どもの行事や病気や子どもがいるいない関係なく、みんなが気兼ねなくお休みをとりやすい環境	1
56	退職を促しほぼ強制的に辞表を書かせる企業が減ることを祈ります。	1
57	精神的身体的に負担が大きいのので子育て中は無理せず働ける環境	1
58	子供に何があっても休まなくていいかんきょう	1
59	土日に子供を見てくれる場所	1
60	出産前後に退職させられないで済む所属会社の人的余裕	1
61	心理職の常勤化の促進	1

Q. あなたにとって、こどもを産み育てていくために必要な資金（経済的支援を含む）は、次のうちどれですか？ ※重要だと思うものから最大4つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
1	学費・授業料・入学金などの支援、無償化	53
2	減税・扶養控除等の支援	31
3	塾や習い事などの月謝の支援	19
4	上記全て	14
5	収入の増額と安定	12
6	無回答	8
7	出産一時金	5
8	保育園の減額、もしくは、無料。	5
9	オムツやお尻拭きなどの消耗品	3
10	給食費	3
11	産後パパ育児取得時の助成金制度	1
12	子どもと話す、傾聴するなどのために必要な時間を確保すために、洗濯物畳み機、今日の献立を考えてくれるなど、家事と育児と仕事の狭間で、家事、育児の準備のために必要な狭間の事柄時短できるものにかかる費用。児童手当など世帯主に直接給付され真に子どものために使われるかわからない給付金ではなく、子どもに直接配られる給付金。	1
13	障害児を対象に利用する訪看等の利用料への支援	1
14	八代市在住です。	1
15	生活保護の母子世帯車の所有	1
16	子供が高校、大学へ進学してからの支援	1
17	熊本は経済的な支援も含め子育て支援が無さすぎる。子育てして継続的な経済活動を考えるなら最低でも高校までの授業料はもちろん、給食費や医療費にかかるお金を無償化する等支援を充実させてほしい。	1
18	税金非課税世帯ばかりに給付しすぎるのはダメ	1
19	兄弟が多い家庭への支援	1
20	給食費と授業料をまとめるのはやりすぎでは？高校・大学の費用が断然大きくて負担です。	1
21	産後ケア。産後にどれだけ安心して子育て出来るかが1番の鍵なのに、現実には産後ケアを受けるために様々な書類などが必要で、そんな場合じゃないし里帰りでも実家と険悪な人もいるのに何も政府は分かってないと思う	1
22	児童クラブのおやつ代の支援	1
23	保育士の待遇を良くする	1
24	児童手当は子供を育てる方に振り込まれるシステムにしないと、現行世帯主振り込みだと、経済的暴力のモラハラなどにより女性の立場の弱さ、離婚したくてもシェルターしかないというのが現状です。	1
25	定期的の支援	1
26	子育て支援の為の申請手続きの簡略化、簡素化	1
27	税金ばかり使って増税ばかりで子育ての人の負担は変わらないんじゃないか？子育て支援をした分、将来回収できるのか疑問。老人、障害者、生活保護のひとを支えて若い子の給料なくなってしまふんじゃないか？自分の子達に苦勞させたくない。なので、いらぬ	1
28	高校生までの経済的支援金を早急に。	1
29	障害児/者のある家庭に対し、所得制限なしの受給額	1
30	給料で暮らせるようになる社会の仕組み。	1

Q. あなたにとって、こどもを産み育てていくために必要な資金（経済的支援を含む）は、次のうちどれですか？ ※重要だと思うものから最大4つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
31	小さい内は、そこまでお金は掛かりません。中学高校大学と次第と金額も大きくなり、子どもが多いと大学と言われると負担が大きいし不安。しかし、子どもに借金はさせたくない。と思います。	1
32	一時的に貰っても、なんの役にもたたない。高校、大学などの、お金。住民税、源泉税、固定資産税、車の税、もう、生きていてだけで、お金がかかりすぎる。日本を出たい	1
33	非課税世帯ばかりに給付金は不平等だと思う。しっかり働いている人たちはそれなりの税金を払っているのに、なぜ税金を払っていない人がお金をもらえるのか。	1
34	子どもと遊んだり旅行に行く資金	1
35	主に高校から大学のお金が必要だと思う	1
36	子供のインフルエンザワクチン無料接種出来ると助かる。また、高校生以降も親の収入格差なく、学校へ行ける環境が欲しい。、	1
37	進級時の制服、引越などの支援（リユース制度等を作ってほしい。）	1
38	手当てが給料の2倍ほしい	1
39	高校生への支援。小さい頃よりお金がかかる	1
40	自ら稼ぐ力と健康な身体、給料	1
41	家族が増える事で、住まいの環境も変える必要があるので、家賃支援	1
42	子育てにかかる費用全て	1
43	修学旅行先を見直し九州内などで済ませ価格を抑えてほしい。	1
44	給付でなく免除や無償化の方向に進んでほしい。	1
45	学校に係る費用で、所得制限があること。中間層への支援に制限がある。	1
46	現金支給は絶対に不要	1
47	どれも重要だと思うので絞れない	1
48	職場の理解。日本は時代遅れ	1
49	学校が遠距離の場合の交通費などの補助	1
50	共働き世帯が多い現代にて、世帯主の収入だけで、児童手当が受けられるかどうかが決まるのは不平等です。	1
51	子育て活動支援する会社職場支援	1
52	収入に関係なく子供全てに平等な支援をして欲しい。お金を配るよりその分の税金を減らしてもらったり教育にかかる費用を負担してもらえた方がありがたい。お金を配っても本当に子供のために使われてるかわからない。	1
53	社会全体を豊かにすると手当なしでも子育て出来る	1
54	産休、育休中の経済的支援	1
55	上記全てと医療支援の必要な児へのサポート充実	1
56	・手当の所得制限の撤廃	1
57	サポートしてくれた人へのお礼	1
58	個人にではなく、学童の送迎の負担軽減。通学できない高校の下宿代負担の軽減。	1
59	児童扶養手当の所得制限をどうにかしてほしい。生活が辛い	1
60	児童手当の所得制限の撤廃	1
61	育休や産休中も一定の給料が欲しい	1
62	住居費の援助、子育て世帯向けの市営住宅の確保	1
63	家事サービス	1
64	未就学児の一時預かりなどの料金補填 ワンオペママには一人の時間も必要	1
65	天草から大学等へは自宅から通えない	1
66	支援金の所得制限を無くす仕組み。	1

Q. あなたにとって、こどもを産み育てていくために必要な資金（経済的支援を含む）は、次のうちどれですか？ ※重要だと思えるものから最大4つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
67	持ち家になると住宅手当がなくなるのは不公平なので持ち家に対する支援が欲しい	1
68	問答無用でお金を欲しい。条件などを取り払い、所得やその人物の品性で支払いをして欲しい。	1
69	障がい者手帳をもらえないけど様々な支援が必要な子への確実な支援サポート	1
70	多子家庭への手厚すぎるくらいの経済的支援	1
71	子育て支援金の充実。とにかくお金がかかることしかない。保育料は無償化にするべき。	1
72	子どもが専門学校や大学に進学した際の資金が最も心配です。	1
73	国立、公立大学の無償化。これが無償になったらもう1人子どもを産みます。	1
74	親の所得で子どもへの給付が無くなることで、子どもに我慢を強いる事につながる。	1
75	教育費の無償化。高校まで	1
76	大学等高等教育の無償化	1
77	児童扶養手当や障害年金	1
78	生活費への支援	1
79	ベーシックインカム確保	1
80	PTAや役員などを外注するための資金	1
81	大学進学時の支援	1
82	子供を育てるのにお金がかかるのは当たり前ですが、返済に必要な奨学金等、子供が借金を抱える事がないような支援が必要と思う。	1
83	生活するためのお金	1
84	高等教育終了までの経費、医療費、全て無料化	1
85	早々に子供を預けて仕事復帰しないでも生活していけるような支援	1
86	多胎児支援	1
87	支援は必要だが、全部無料にする必要はない。親力の低下が心配される。	1
88	各自市町村の施策とはいえ、保育料など差が大きい。差をなくしてほしい。	1
89	特に大学進学時（当方多子世帯）	1
90	保育所等の増加（預け先の増加への支援）、現状は利便性の高い保育園へ預ける選択肢が選び難い	1
91	一時的でなく（年齢に応じた）継続的な支援	1
92	自身の奨学金返還への支援	1
93	子どもが多いとインフルエンザの予防接種とてもお金がかかる。	1
94	年収での給付制限の撤廃。頑張っているのにキャリアを上げた分、支援が減らされる事に理不尽さを感じます。	1

Q. あなたにとって、保育・子育てサービスの充実のために必要な支援は次のうちどれですか？ ※重要だと思うものから最大4つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
1	保育士や先生の待遇改善	35
2	病児、病後児保育の充実(施設の充実、利用料への助成等)	27
3	経済支援	17
4	学童保育の充実	13
5	無回答	11
6	夜間、時間外に預けれる施設・病院	9
7	通学などの送迎に関する支援	9
8	遊び場（屋内型）	7
9	保育料無料化	6
10	産前産後の継続支援の充実を望む。保健師、助産師、ドゥーラなどに繋がる事で安心する方も多いのではないだろうか。産後鬱、虐待防止の為に力を入れるべきだと思う。	5
11	育児や子供の発達など気軽に相談出来る場	5
12	減税・助成金・補助金	4
13	上記すべて	3
14	家事代行サービス（その間に親は子に向き合い、絵本を読んだり遊べるようになれば負担が減ります）	3
15	定期的な見守り支援	2
16	他県で見相のお世話になっていた親子が、熊本ではそれが児相に連絡が行っておらず、子ども園だけの対応に迫られていることが、本当に行き届いていないなあと感じる。現場任せで、行政が機能していないから、もっと機能すべき。	1
17	世代間交流、最新機器の活用（eスポーツ等）	1
18	障害のある子の第2の教育の場	1
19	ベビー用品購入補助	1
20	親自身が我が子に向き合う時間を確保できるサービス	1
21	就学前だけでなく、大学生、高校生などがある世帯への支援	1
22	旦那が帰って来ない日の設定	1
23	小学校4年生以降の学童制度、体制確保。病後時保育の定員の拡充。	1
24	個々に必要な支援をマニュアル通りにせず、臨機応変にする。	1
25	自分のかわりに業務についてくれた方への補助。仕組みづくり。	1
26	保育園に預けたくても預けられなかったり、やっと入れてもきょうだいバラバラだったり、園長がブラックだったり、就労証明書をしつこく言ってきたり、子どもを産み育ててるのにどうして世の中の母親を苦しめて追い込むのか聞きたいです。	1
27	延長保育や土日でも安心して預けられる環境と、保育士の働き方への処遇改善	1
28	相談窓口は支援センターのみで良い。市などの相談窓口に言っても嫌な気持ちになる話しか聞かない。	1
29	荷物の準備やプリント提出など家庭の負担なしで預けられる仕組み。	1
30	仕事をしていないと保育施設に預けられないが、保育施設に預けないと仕事が出来ないという意味の分からない矛盾した仕組みを無くす事	1
31	親にとってのサービスだけでなく、こどもも満たされる環境支援、こどもの成長が保証される支援	1
32	入りたい保育園に入れる環境。時短で復帰し、更に支出がかさむ。延長保育をしたり、預けるにしても、費用がかかりすぎる。	1
33	本当に困っている人が利用できる保育子育て制度	1

Q. あなたにとって、保育・子育てサービスの充実のために必要な支援は次のうちどれですか？ ※重要だと思うものから最大4つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
34	医療費の地域格差をなくして欲しい。熊本市は3歳からかかるの不公平です	1
35	服やおもちゃのお下がり会の充実	1
36	保育園の規模に応じて人数制限があるのはわかるが、120人預かれる保育園が、最初の申請を80人で出し、園児が増えてきたので続いて120人で申請したとき、「現在待機児童の問題はないから」と申請を却下するのは如何なもの。我が子の保育園はその却下により、コストも時間もかけ工夫してくれた。申請を却下した意味がわからない。80人になったら、本当は120人まで預かれる保育園が園児募集が出来ないため、それにより近くの保育園ではなく、遠くの保育園を選ばざるをえない親が出てくるのでは？	1
37	行政側からの支援、サポート	1
38	平日に親が休み時の預かりができる事、お母さんがお休みの時は子どもさんも休ませてくださいと言う保育園が多い、	1
39	子どもを産み育てることに効果的ではないので、公的機関から婦人向け井戸端会議サークル活動への支援は一切必要ない。	1
40	障害児に該当しないグレーゾーンの子どもの育てる親と当該の子どものサポートができるようなボランティアの育成	1
41	学校教員のルール違反の相談窓口	1
42	必要な時に仕事を休める環境、意識改革必要	1
43	安心安全（無添加、有機作物）な食の無料提供	1
44	無職でも本人が望めば数年働かなくても子育てに専念できる仕組みがあれば墮胎は減ると思う	1
45	同じ年に生まれた子のお母さん同士の繋がりができる公的なサポート	1
46	サポート環境整備はあまり重要ではないと思っています。	1
47	体のケア	1
48	土日祝日仕事の人のための預けられる環境整備。PTA制度をなくし、民間化すること。多子世帯には相当な負担。	1
49	通信制の学校の充実	1
50	子育て支援は必要だが、最近の子育て支援は、保護者サービスの支援が優先されているように感じる。子どもが健やかに育つための基盤となる幼児教育の質の充実にも目を向けないと、現在の子どもたちが大人になったときに不安である。	1
51	子どもが12才になるまでは、1馬力で生活出来る環境！！	1
52	夫婦ともに時短勤務できること	1
53	親が不安を抱かずに子育てができる環境づくり	1
54	質の高い教育を提供する環境、そのための優秀な教育者の確保	1
55	保健師の質を揃える（人によって違いがありすぎる）	1
56	子どもを職場に連れて来られる仕組み	1
57	いつでも気が向いたときに子どもと一緒にいける児童館、図書館を熊本市内もっと充実してほしい。	1
58	職がないと預けられない保育園の申込条件がおかしい	1
59	仕事の有無にかかわらず預けると保育園がパンクするのでやめてほしい	1
60	働くのも大事だが、子供と一緒に時間を確保して欲しい。1歳未満で保育園に預ける選択をしなければならず子どもとずっと過ごす時期が短い。保育園の入所月が自由に選べると良いと思う。	1
61	上記全てと出生届提出時に受けれるサポートを全て紹介して案内するシステムを導入してほしい。	1
62	小学生・中学生等が安心して無償で憩える居場所づくり	1

Q. あなたにとって、保育・子育てサービスの充実のために必要な支援は次のうちどれですか？ ※重要だと思うものから最大4つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
63	手伝ってくれた人が得するようなシステム	1
64	ひとり親支援	1
65	保育園や小中学校施設の充実と子どもが安心して遊べる公共施設の充実	1
66	子育て世帯が格安で利用可能なヘルパーサービス	1
67	どれもピンときません	1
68	2種の枠を増やす（園で定員が決まっており夕方まで預けられない方がいる）、2?3月からでも保育園に預けられるように保育の充実	1
69	保育園に預ける条件として、仕事をしているということに違和感が強くあります。	1
70	パートナーの家事・育児参加を促す策	1
71	学校へカウンセラーの常時配置	1
72	父親ネットワーク	1
73	『安心』して預けることが出来る場	1
74	子を産んだ母に対する支援がない。これが一番問題。	1
75	虐待や貧困など、親育てが必要だと思う	1
76	子どもを優先した働き方を許容、応援される制度。今は子育てを大切にすることが許されないように感じます。子育ても仕事だと思われていない風潮や制度が、子育て意欲を削ぐし、仕事をしていないと悪のような流れがさらに少子化を加速すると思います。出産子育ては未来の生産人口を支えていて立派な重要な仕事で、専業主婦が尊敬されない世の中は子育てを大切にしていない世の中だと思います。働く自由は残されるべきだけど、共働き育児は夫婦共に過労になるだけで虐待にもつながるし、負担。共働き子育てのみ推奨される流れは効果的ではないと感じる	1
77	仕事の時は支援があっても、プライベートな時間や個人の用事に避ける時間が協力できる人が近くにいないととれない。	1
78	必要なときに頼める公的なベビーシッターあえ	1
79	公的な子育て支援サービス	1
80	障害をもつ子だけでなく、障害をもつ親への支援母子同伴型施設等	1
81	保育園には、比較的スムーズに入園出来ました。発達障害がある為、放課後等デイサービスを利用していますが、終業時間よりも、利用終了(送迎)時間が早いです。土曜日もあり。放課後等デイサービスは、日曜・祝日は休みですが、職種によってはシフト制なので合いません。でも、曜日や時間に関係なく働ける・働きたいと思う方は、少ないのが現状ではないでしょうか。	1
82	子どもがもっと伸び伸びと自由に遊べる環境や学びが必要	1
83	親の様な関係の人に子供を預けられること	1
84	保育所への入りやすさ（手続的負担の軽減（学校と比べて））、利便性の高い保育所の充実	1
85	親への適切な心理的支援	1
86	小学校にあがったあとの預け先の確保	1
87	共働きで習い事などに連れて行く時間がありません。東区のようにタクシーのサービスが受けられ、保育園側にもお迎えをタクシーをお願いしてそのまま習い事に連れて行くサービスを利用したい。すでにしているタクシー会社はあるが保育園側が受け入れられない。そのため学力など幼児期の時から差がつくと思う。	1
88	社内保育園	1
89	手帳を持たない障害を持つ子どもへの支援拡充	1
90	回答選択肢が現実的な内容ではない	1
91	子育て者に対する温かい視線	1

Q. あなたにとって、保育・子育てサービスの充実のために必要な支援は次のうちどれですか？ ※重要だと思うものから最大4つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
92	ぜんぜん保育園に入れない	1
93	0?3歳児を仕事有無に関わらず短時間でも預けられる環境が必要。熊本市には無い（どこもいっばいで預けられない）ので、行き場がなく体が限界になっている。	1
94	第2子で育休中にかかる第1子の保育時間の短縮制度の撤廃	1
95	保育費の完全無償化です。小学校から高校まで完全無償化だと思います。医療費も含めた無償化にすれば、児童手当は必要ないと思います。	1
96	障がいがあるこどもの親も働ける支援	1
97	子育て中の人と一緒にスポーツできる環境(ママさんバレーなどのクラブチーム)	1
98	育成クラブの時間延長	1
99	幼稚園でも働けるように。	1
100	子育てをする親の教育と子供を大らかに受け入れる社会	1
101	保育園やベビーシッターに関しては、外部監査などを取り入れて安心して利用できることが重要	1
102	地域により待機児童の格差があるので、もっと各地域に合わせた柔軟な対策をしてほしい。保育士の方が働きやすい環境整備を！	1
103	保育園や学校での子どもの様子を知れるツール、先生方との情報共有のツール	1
104	職場に、充実した保育施設を設けること	1
105	田舎独特な保護者会がない保育園。保護者や保育者への負担を減らすための保育園への支援（備品購入や処遇改善費が職員へちゃんと配分される仕組み）	1
106	特になし	1
107	保育と託児の違いを理解していない国会・地方議員への学習支援	1
108	仕事の都合で必要なときに子供を預けられる仕組み	1
109	企業主導型保育園の拡充	1
110	田舎町にはシッターがいないし、義実家があるのに預けるの？という風潮がある。義実家に預けたい訳ではない人もいる。都市部から友人のふりをしたシッターに来て下さって、しかも交通費などが割り増しにならないシッターさんなどあればいいのと思ったことがあります。	1
111	市町村によって保育料や受けられる子育て支援関連サービスに差があるので、市町村間の差を減らしてほしい。	1
112	仕事帰りに親子で寄れるホッとできる食堂の充実、障害がある子どもの親が働きに出ることへのサポート充実	1
113	母親の負担軽減、心のサポート	1
114	親への積極的な情報提供	1
115	保育、子育て支援サービスの安全面の向上、およびそれに必要な保育現場への支援。	1
116	保育園に通えない子が参加できる講座など	1

Q. あなたにとって、教育環境の充実のために必要な支援は次のうちどれですか？ ※重要だと思うものから最大5つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
1	教育の質の向上	20
2	保育士、教師の仕事環境改善、増員	16
3	図書館、美術館、博物館など文化的施設の充実	10
4	学費の援助、無料化	7
5	地域格差の是正	6
6	送迎支援	6
7	減税・助成金などの公的支援	6
8	教員の質の充実	5
9	無回答	4
10	給食費補助・無償	4
11	経済的支援	2
12	上記すべて	1
13	もっと学校自体の中身を充実させてほしい。何かにつけて先生の働き方改革対応で、先生と疎遠だし、いじめの対応等も熊本県は色々あったが、今後良くなるのか不安。先生の質をあげてほしい。 給料をもらうための職としてしかとらえていない先生も多い。	1
14	不登校の子の受け入れ先	1
15	公立学校授業内容の底上げ	1
16	小学校のスポーツ技能向上。八代やうきはレベルが高いのは地域で取り組んでいるのでしょうか？ 熊本大学の魅力向上。私立大学の成績レベルの向上。	1
17	学力だけではなく、人として自立して生きて行ける、または自ら考え作り出す力を身につけられる環境。	1
18	塾などに行かなくても、希望者には学校を使って自身の得意を伸ばすシステムカリキュラムを組んで 学校の先生以外の外部から講師を呼ぶ	1
19	社会体育クラブなど放課後、休日の過ごし方の情報提供	1
20	公立学校だけでも偏差値の均衡を図る施策	1
21	支援が必要な親の把握やカウンセリング	1
22	不登校児が学べる環境	1
23	特色がある学校を選べる、リモート環境を充実させ、海外や都心の学校の授業を受けられるようにする	1
24	大学は無償化までいなくても、ほんの少しでも援助があるとありがたいです。	1
25	保育園へ通えない子の支援。児童館や講座の充実。	1
26	高卒でも地元の優良企業に就職出来る環境！！	1
27	学習塾の送り迎えが不要で通える環境	1
28	保育と教育をともに行う環境(こども園)の充実。(天草にはこども園がない)	1
29	所得の倍増など	1
30	これも支給でなく無償化に動いてほしい。	1
31	子どもが好きなことを見つけられるように子どもに様々な体験をさせられる環境づくり	1
32	ホームスクーリング、フリースクールに対する意識向上、支援	1
33	小学校、中学校を選べるようにすること。	1
34	さまざまな職業体験	1
35	差別なく、学習できる環境	1
36	きちんとした歴史認識	1
37	保護者と学校等教育関係機関の連携、保護者を対象としたSDGsなどの社会課題教育	1

Q. あなたにとって、教育環境の充実のために必要な支援は次のうちどれですか？ ※重要だと思うものから最大5つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
38	学習する手段の充実	1
39	障がい等のある子の教育の機会を作るのは当然ではあるが、それによってそれ以外の子供たちの学びの時間・機会・内容に悪影響を及ぼしている現状の合同学級性は改めるべき	1
40	不登校の子どもの支援	1
41	子どもの主体性を育むことを重視した対応(現実では、マスクや黙食を強要し、子ども自身の考え方を否定している)	1
42	現在、所得制限ありの高校の授業料無償化のため子どもには、私立には行かないでほしいと思ってしまう。	1
43	進学、スポーツなどの競争を緩和させること	1
44	部活動から地域クラブに移行しているが、子供がやりたいこと（運動・習い事）を遅くない時間に実施できる環境（選択肢の充実）	1
45	親の経済力と関係なく勉強したいことが出来る環境が必要です	1
46	オンラインで授業が受けられる環境	1

※現実的に産み育てる予定（計画）のお子さんの数が、産み育てたいと思う理想のお子さんの数より少ない人のみお答えください。 Q. 理想の人数より少ない理由は、次のうちどれですか？（いくつでも可）？

No.	その他回答	回答数合計
1	相手がいない	55
2	年齢	46
3	経済的余裕がない	36
4	無回答	25
5	結婚などの予定なしのため	20
6	今いるこどもに手がかかるため	12
7	時間・精神的な余裕がない	11
8	仕事と育児の両立が難しいから。	11
9	病気・体力・体質的に難しい	11
10	つわり・出産が辛い	9
11	不妊治療費が高額なため	8
12	自然に任せた結果	8
13	パートナーの同意がない	6
14	欲しいと思わない	6
15	親族・両親の補助が得られそうにない為	4
16	まだわからない	2
17	子供が既に高校以上	1
18	こどもを育つ環境(世の中)に希望がない	1
19	3人目からは宿泊にしても温泉にしても子供料金（未就学児）が高くなるように感じる。家を建てるにしても4部屋にすると間取りが狭くなるし、広い土地を買うにしても高い。	1
20	もう少し子育てしやすい世の中になってほしい	1
21	産む前の支援より、産み育てる上でかかる費用の方がはるかに上回っており、産んだ後は支援という支援が皆無。産む時だけの支援だけでまた子どもを持ちたいとは到底思えないため。してるつもりでの支援よりしっかり現実的に見る目を持ってほしい。	1
22	乳幼児をつれて、出歩みにくい街環境であること。一人で歩くのすら危険な道ばかりで、ベビーカーを押して歩けるような道もない。	1
23	子作りが面倒	1
24	発達障害を遺伝させたくない	1
25	育休時短勤務賀キャリアの中断と捉えられがちのため、この期間をこれ以上長引かせたくない	1
26	給料があがらない不安。子育てへの支援は充分にあると思うが、福祉の仕事をしている者へ給与が低すぎる。	1
27	熊本市は他の地域より医療費もかかるし、教育費も車も何もかもお金がかかる。子供に我慢させるのは可哀想なので本当は3人欲しいけど現実的に1人。本当は3歳まで預けずに居たかったが、仕事をしないと生活出来ないのでも負えず預けている	1
28	子供の躰や子供を守るコミュニティ不足	1
29	子が病気(風邪など)の時にその病気の子を預けれるところが無い(新型コロナウイルスの影響で病児保育が機能していない)	1
30	給料が少ないので海外単身赴任に行った為。	1
31	子供と生活するイメージが湧かない	1
32	3人育てたので、もう終わり	1
33	コストコ、病院に子供を連れて行った際うるさいと言われた事があり、周囲の子育てに対する寛容さがないのと、生活費、住居、教育資金、全てにおいてお金がかかりすぎる	1

Q4-10-2S

Q. 不妊治療をする際にあなたや配偶者・パートナーが不安を感じている（感じたもの）は次のどれですか？（いくつでも可）

No.	その他回答	回答数合計
1	身体的負担	3
2	周囲・親族の理解	2
3	小さい子がいる	1
4	病院へ行きたいのに受診時間が短く、仕事終わりに通院する時間が取れない	1
5	私は資金の問題で断念していますが、周囲の知人友人は不妊治療を金銭的・精神的に追い詰められながら頑張っています。その状況を見ていると、仕事を続けながら、子を育てながら二人目は無理だと実感しています。	1
6	どこから情報を得たら良いか	1

調査票
(社会人)

〔県民WEBアンケート〕 社会人の皆様へ

「こどもまんなか熊本」の実現に向けたこども・子育てに関する県民アンケート調査

1

ページ 1

2

ページ 2

3

ページ 3

「こどもまんなか熊本」の実現に向けたこども・子育てに関する県民アンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございます。**所要時間は10分程度です**。貴重なお時間をいただきますが、ご協力ご回答を何卒よろしくお願い申し上げます。

※学生・生徒（高校・大学生、専門学校生など）の方はこちらからご回答ください。



学生・生徒用アンケートフォーム

<https://zfrmz.jp/lcdLYUAK6yaM7vUbYsjh>

※社会人の方はそのままお進みください。



※個人を特定する内容ではありませんので安心してご回答ください。

■（社会人の皆様へ）あなたについてお聞かせください。

Q. あなたの性別は、次のうちどれですか？ *

- 男性
- 女性
- その他

Q. あなたの年齢（年代）は、次のうちどれですか？ *

- 10代
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代以上

Q. あなたが最後に卒業した学校は、次のうちどれですか？ *

- 中学校
- 高校
- 専修・専門学校
- 大学・短大・高専（大学院含む）
- その他

Q. あなたの居住地域は、次のうちどれですか？ *

- 熊本市
- 県央（宇土市 / 宇城市 / 下益城郡 / 上益城郡）
- 県北（荒尾市 / 玉名市 / 玉名郡 / 山鹿市 / 菊池市 / 合志市 / 菊池郡）
- 県南（八代市 / 八代郡 / 水俣市 / 葦北郡 / 人吉市 / 球磨郡）
- 阿蘇（阿蘇市 / 阿蘇郡）
- 天草（天草市 / 上天草市 / 天草郡）

Q. あなたは現在、下記のどちらに当てはまりますか？ *

- 社会人（収入あり：仕事に従事している）
- 社会人（収入なし：仕事に従事していない）

Q. 現在、あなたはどの業種に勤務していますか？ ※正規、非正規（パートアルバイト含む） *

- 官公庁（官公庁 / 公社 / 団体 / 国公立教職員含む）
- 農業・林業・水産業
- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス熱供給水道業
- 情報通信業
- 運輸業
- 卸売業・小売業
- 金融・保険業
- 不動産業
- 宿泊・飲食業
- サービス業（宿泊・飲食を除く）
- 医療・福祉（医療従事者・福祉施設職員など）
- 医療・福祉（保育士・幼稚園教諭）

Q. 現在、あなたはどの職種で勤務していますか？ ※正規、非正規（パートアルバイト含む）*

- 営業職・販売職（例：各種営業スタッフ/販売スタッフ/サービススタッフ/セールスエンジニア など）
- 事務職・スタッフ職（例：総務・人事/経理・会計/営業事務/受付事務/企画・宣伝 など）
- 専門職（例：教員/弁護士/公認会計士/アナウンサー/編集・記者/客室乗務員 など）
- 技術職（例：システムエンジニア/土木・建築技術職/各種施工管理/生産技術職 など）
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

Q. あなたの働き方は、次のうちどれですか？ *

- 正規雇用
- 非正規雇用（契約社員、嘱託社員、派遣労働、パートタイム、アルバイトなど）
- 自営業・フリーランス
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

若者の夢が実現するために必要な環境についてお聞かせください。

Q. あなたにとって、熊本で働き生活していく環境は、県外（大都市圏）と比べた場合、次のどれだと思いますか？（※イメージで結構です）*

- とてもよい環境だと思う
- よい環境だと思う
- あまりよくない環境だと思う
- 良くない環境だと思う
- どちらともいえない

Q. もしあなたが子どもを持ち（持っている方も）、あなたの子どもが県外で就職を希望した場合、あなたがとる行動は次のどれだと思いますか？ *

- とても良いことだと県外就職を勧め応援する
- 熊本に帰ってくることを条件に応援する
- 熊本の情報や魅力を伝え県内就職を応援する
- こどもの判断にすべて任せる

Q. 若年層が熊本に定着するために充実させるべきものは、次のうちどれだと思いますか？ ※重要と思うものから最大5つまで選べます。 *

- 企業の魅力向上（働き続けたいと思う仕事や職場環境など）
- 子育てをしやすい環境の充実
- 教育環境の充実
- 医療・福祉体制の充実
- デジタル環境の充実
- 交通環境の利便性向上
- 災害に強い街への整備
- 安全・安心な生活環境（交通安全・防犯）
- 環境に優しい暮らしができる地域への変化
- パートナーと出会うきっかけづくり
- 自然・食の魅力の向上
- 非日常を楽しめる娯楽やスポット
- 熊本で生活する魅力の情報発信
- その他

最大数を超えています

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

次へ（※進めない場合は未回答の設問あり）

〔県民WEBアンケート〕 社会人の皆様へ

「こどもまんなか熊本」の実現に向けたこども・子育てに関する県民アンケート調査

1

ページ 1

2

ページ 2

3

ページ 3

あなたの結婚観についてお聞かせください。

(社会人の皆様へ)

Q. あなたは現在結婚していますか？ *

している

していない

※「結婚をしている」は事実婚も含みます。

以下、「している」を選択した場合の設問

Q. あなたとあなたの配偶者・パートナーの働き方は、次のうちどれですか？ *

共働き（育休・休職・パートアルバイト含む）

片働き

その他

Q. あなたの理想の結婚年齢は何歳ですか？（結婚している方は、結婚前に思っていた理想の結婚年齢をお答えください） *



Q. あなたが結婚した年齢は何歳でしたか？ *



Q. あなたの結婚のイメージに近いのは、次うちどれですか？（いくつでも可）*

- 経済的に余裕が持てる
- 社会的信用を得たり、周囲と対等になれる
- 精神的な安らぎの場が得られる
- 愛情を感じている人と一緒に暮らせる
- 自分の子どもや家族が持てる
- 生きがいにつながる
- 親から独立できる
- 親を安心させることができる
- ひとりの時間が減る
- 習慣の違いからのストレスがある
- お金に自由が無くなる
- 相手や親族に気を遣わなければいけない
- 結婚 = 子どもを産み育てるというイメージに違和感がある
- 家事をしなければいけないというイメージがある
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

Q. あなたにとって、結婚に繋がると思えるきっかけやタイミングは、次のうちどれですか？ ※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけ・タイミングをお選びください（いくつでも可）*

- 結婚したいと思える相手と自ら出会えた、確信したとき
- 結婚したいと考える年齢になったとき
- 社会人になってある程度経験を積んだとき
- 貯蓄ができたとき
- 友人や知人が結婚したとき
- 親や親戚に勧められたとき
- 友人や知人に勧められたとき
- 仕事が嫌になったとき
- わからない
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

Q. あなたにとって、結婚に繋がると思う出会いのシーンは、次のうちどれですか？ ※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけ・タイミングをお選びください（いくつでも可）*

- 職場やバイト先
- 家族、知人の紹介
- 学校、大学
- 趣味を共有する場
- 合コン、飲み会
- 婚活イベント
- ネット、SNS
- マッチングアプリ
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

戻る

次へ（※進めない場合は未回答の設問あり）

〔県民WEBアンケート〕 社会人の皆様へ

「こどもまんなか熊本」の実現に向けたこども・子育てに関する県民アンケート調査

1

ページ 1

2

ページ 2

3

ページ 3

あなたの結婚観についてお聞かせください。

(社会人の皆様へ)

Q. あなたは現在結婚していますか？ *

している

していない

*「結婚をしている」は事実婚も含みます。

以下、「していない」を選択した場合の設問

Q. あなたは、結婚したいですか？ *

とても結婚したい

できれば結婚したい

将来は結婚したいが今は考えていない

あまり結婚したくない

結婚したくない

わからない

Q. あなたの理想の結婚年齢は何歳ですか？（結婚している方は、結婚前に思っていた理想の結婚年齢をお答えください） *



0 歳

60 歳

Q. あなたの結婚のイメージに近いのは、次うちどれですか？（いくつでも可）*

- 経済的に余裕が持てる
- 社会的信用を得たり、周囲と対等になれる
- 精神的な安らぎの場が得られる
- 愛情を感じている人と一緒に暮らせる
- 自分の子どもや家族が持てる
- 生きがいにつながる
- 親から独立できる
- 親を安心させることができる
- ひとりの時間が減る
- 習慣の違いからのストレスがある
- お金に自由が無くなる
- 相手や親族に気を遣わなければいけない
- 結婚 = 子どもを産み育てるというイメージに違和感がある
- 家事をしなければいけないというイメージがある
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

Q. あなたにとって、結婚に繋がると思えるきっかけやタイミングは、次のうちどれですか？ ※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけ・タイミングをお選びください（いくつでも可）*

- 結婚したいと思える相手と自ら出会えた、確信したとき
- 結婚したいと考える年齢になったとき
- 社会人になってある程度経験を積んだとき
- 貯蓄ができたとき
- 友人や知人が結婚したとき
- 親や親戚に勧められたとき
- 友人や知人に勧められたとき
- 仕事が嫌になったとき
- わからない
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

戻る

次へ（※進めない場合は未回答の設問あり）

2/3

〔県民WEBアンケート〕 社会人の皆様へ

「こどもまんなか熊本」の実現に向けたこども・子育てに関する県民アンケート調査

1

ページ 1

2

ページ 2

3

ページ 3

あなたの結婚観についてお聞かせください。

(社会人の皆様へ)

Q. あなたは現在結婚していますか？ *

- している
- していない

※「結婚をしている」は事実婚も含みます。

Q. あなたは、結婚したいですか？ *

- とても結婚したい
- できれば結婚したい
- 将来は結婚したいが今は考えていない
- あまり結婚したくない
- 結婚したくない
- わからない

以下、「とても結婚したい」「できれば結婚したい」「将来は結婚したいが今は考えていない」を選択した場合の設問

Q. あなたの理想の結婚年齢は何歳ですか？（結婚している方は、結婚前に思っていた理想の結婚年齢をお答えください） *



Q. あなたの結婚のイメージに近いのは、次うちどれですか？（いくつでも可）*

- 経済的に余裕が持てる
- 社会的信用を得たり、周囲と対等になれる
- 精神的な安らぎの場が得られる
- 愛情を感じている人と一緒に暮らせる
- 自分の子どもや家族が持てる
- 生きがいにつながる
- 親から独立できる
- 親を安心させることができる
- ひとりの時間が減る
- 習慣の違いからのストレスがある
- お金に自由が無くなる
- 相手や親族に気を遣わなければいけない
- 結婚 = 子どもを産み育てるというイメージに違和感がある
- 家事をしなければいけないというイメージがある
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

Q. あなたにとって、結婚に繋がると思えるきっかけやタイミングは、次のうちどれですか？ ※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけ・タイミングをお選びください（いくつでも可）*

- 結婚したいと思える相手と自ら出会えた、確信したとき
- 結婚したいと考える年齢になったとき
- 社会人になってある程度経験を積んだとき
- 貯蓄ができたとき
- 友人や知人が結婚したとき
- 親や親戚に勧められたとき

- 友人や知人に勧められたとき
- 仕事が嫌になったとき
- わからない
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

Q. あなたにとって、結婚に繋がると思う出会いのシーンは、次のうちどれですか？ ※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけ・タイミングをお選びください（いくつでも可）*

- 職場やバイト先
- 家族、知人の紹介
- 学校、大学
- 趣味を共有する場
- 合コン、飲み会
- 婚活イベント
- ネット、SNS
- マッチングアプリ
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

戻る

次へ（※進めない場合は未回答の設問あり）

〔県民WEBアンケート〕 社会人の皆様へ

「こどもまんなか熊本」の実現に向けたこども・子育てに関する県民アンケート調査

1

ページ 1

2

ページ 2

3

ページ 3

あなたの結婚観についてお聞かせください。

(社会人の皆様へ)

Q. あなたは現在結婚していますか？ *

- している
- していない

※「結婚をしている」は事実婚も含みます。

Q. あなたは、結婚したいですか？ *

- とても結婚したい
- できれば結婚したい
- 将来は結婚したいが今は考えていない
- あまり結婚したくない
- 結婚したくない
- わからない

以下、「あまり結婚したくない」「結婚したくない」「わからない」を選択した場合の設問

**Q. 「あまり結婚したくない」「結婚したくない」「わからない」と思う理由は、次のうちどれですか？
(いくつでも可) ***

- 自由に趣味や娯楽を楽しみたい
- 結婚するにはまだ若い
- 仕事に集中したい
- 結婚すると仕事を辞めなければならない
- 結婚後の生活に不安を持っている
- 親や周囲が結婚に同意していない
- 夫婦関係や親戚付き合いが面倒
- 経済的に余裕がない

- 自分もしくは家族の健康上の理由
- 年齢的に無理だと思う
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

Q. あなたの結婚のイメージに近いのは、次うちどれですか？（いくつでも可）*

- 経済的に余裕が持てる
- 社会的信用を得たり、周囲と対等になれる
- 精神的な安らぎの場が得られる
- 愛情を感じている人と一緒に暮らせる
- 自分の子どもや家族が持てる
- 生きがいにつながる
- 親から独立できる
- 親を安心させることができる
- ひとりの時間が減る
- 習慣の違いからのストレスがある
- お金に自由が無くなる
- 相手や親族に気を遣わなければいけない
- 結婚=子どもを産み育てるというイメージに違和感がある
- 家事をしなければいけないというイメージがある
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

戻る

次へ（※進めない場合は未回答の設問あり）

〔県民WEBアンケート〕 社会人の皆様へ

「こどもまんなか熊本」の実現に向けたこども・子育てに関する県民アンケート調査

1

ページ 1

2

ページ 2

3

ページ 3

あなたの子育て観についてお聞かせください。

Q. あなたがもし結婚をした場合（結婚してる方も）、自分が希望するライフスタイルで最も近いと思われるタイプは、次のうちどれですか？ *

- 結婚してこどもは持たず、仕事を続ける
- 結婚してこどもは持たず、結婚の機会に退職する
- 結婚してこどもを持ち、仕事も続ける
- 結婚してこどもを持ち、結婚（or出産）の機会にいったん退職後、再び仕事をする
- 結婚してこどもを持ち、結婚（or出産）の機会に退職し、その後は仕事をしない

以下、「結婚してこどもは持たず、仕事を続ける」「結婚してこどもは持たず、結婚の機会に退職する」を選択した場合の設問

Q. あなたがこどもを持たないライフスタイルを希望する理由は、次のうちどれですか？（いくつでも可）

*

- こどもが苦手
- 経済的な余裕がない
- 自信がない・育て方がわからない
- 趣味や娯楽を楽しみたい
- 仕事と両立できない
- 妊娠・出産に不安を感じる
- こどもを持つイメージが湧かない
- 必要性を感じない
- 親の介護
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください



Q. あなたの子育てに対するイメージ（経験者はその経験において）で当てはまるものは、次のうちどれですか？（いくつでも可）*

- 楽しさ・幸せ・喜び・やすらぎを感じられる
- 生きがいになる
- 自身の成長になる
- 社会の維持になる（少子高齢化対策）
- 経済的余裕が無くなる
- 精神的負担がある
- 身体的負担がある
- 時間にゆとりが無くなる
- 仕事上のキャリアに影響する
- 配偶者・パートナーとの時間が無くなる
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

Q. あなたにとって、子育て支援で必要なものは次のうちどれですか？*重要だと思うものから最大7つまで選べます。*

- 働きながら子育てができる環境であること ①へ
- こどもを産み育てていくために必要な資金（経済的支援を含む） ②へ
- 保育・子育てサービスの充実 ③へ
- 教育環境の充実 ④へ
- 医療体制の充実
- 学校への移動手段（公共交通機関）の充実 ⑤へ
- 配偶者・パートナーのサポート（家事・育児）
- 親族のサポート（家事・育児）
- 地域のサポート（みまもりなど）
- こどもと一緒に楽しめる娯楽の充実（旅行・外食など）

不妊対策（経済的支援、周囲の理解、仕事との両立）

⑥へ

その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

①を選択したときのみ表示

Q. あなたにとって、働きながら子育てができる環境の充実のために必要な支援は、次のうちどれですか？

※重要だと思うものから最大4つまで選べます。*

育児休業のための休暇を取りやすい職場環境

こどもが病気の時に休暇を取りやすい職場環境

授業参観等のこどもの学校行事の時に休暇を取りやすい環境

短時間勤務や在宅勤務を選択できる仕組み

育児休業や短時間勤務、こどもに関係する休暇取得が仕事上のキャリアに影響しない

時間外労働をしなくてもよい職場環境

その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

②を選択したときのみ表示

Q. あなたにとって、こどもを産み育てていくために必要な資金（経済的支援を含む）は、次のうちどれですか？ ※重要だと思うものから最大4つまで選べます。*

児童手当などの給付金

保育園、放課後児童クラブなどの利用料への支援

学校に係る経費への支援（給食費、教材費、授業料など）

こどもが病気の時にかけた医療費への支援

障がいのある子どもの成長に必要な経費への支援

こどもを産み育てるために必要な住まいへの支援

その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

③を選択したときのみ表示

Q. あなたにとって、保育・子育てサービスの充実のために必要な支援は次のうちどれですか？ ※重要だと思えるものから最大4つまで選べます。*

- 待機児童の解消や、希望する保育園に預けられる保育環境
- 仕事の有無に限らず、必要なときにこどもを預けられる仕組み
- 子育ての相談窓口
- 民間の子育て支援サービス（ベビーシッターなど）
- 子育て中の人たちが集う子育てサークル
- 障がいがあるこどもへの支援
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

④を選択したときのみ表示

Q. あなたにとって、教育環境の充実のために必要な支援は次のうちどれですか？ ※重要だと思えるものから最大5つまで選べます。*

- 住んでいる地域に関わらず、進学できる環境
- 高校の授業料無償化（所得制限なし）
- 大学の授業料無償化
- 奨学金制度の充実（所得制限なし、返済不要など）
- 学習塾などの教育に要する費用への支援
- 障がいがあるこどもの成長に必要な教育環境の整備
- グローバルに活躍できる教育環境（語学やコミュニケーションなど）
- 将来のキャリアやそのキャリアに必要な技術を学べる環境
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

⑤を選択したときのみ表示

Q. あなたがよく利用する交通機関は、次のうちどれですか？（いくつでも可）*

- バス
- 市電
- JR
- 電車（JRを除く）
- 公共交通機関は利用しない

Q. あなたが、もしくは子育て中の方が不便さを感じることもある交通機関は、次のうちどれだと思いますか？（いくつでも可）*

- バス
- 市電
- JR
- 電車（JRを除く）
- 公共交通機関は利用しない

Q. あなたの生活環境は、次のうちどれですか？ *

- 一人暮らし
- 家族との同居（家事・育児・介護などを助けてくれる人がいる）
- 家族との同居（家事・育児・介護などを助けてくれる人がいない）

Q. 現在、あなたが持つお子さんの人数は、次のうちどれですか？ *

- 0人
- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 5人以上

Q. 現在、あなたが理想的だと思うお子さんの人数は、次のうちどれですか？ *

- 0人
- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 5人以上

Q. あなたが今後、現実的に持つ（または持つ予定）のお子さんの人数（総数）は、次のうちどれですか？ *

- 0人
- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 5人以上

Q. あなたが現在の生活をする前に住んでいた地域は、県内or県外のどちらですか？ *

- 熊本県内
- 熊本県外

※現実的に産み育てる予定（計画）のお子さんの数が、産み育てたいと思う理想的なお子さんの数より少ない人のみお答えください。 Q. 理想の人数より少ない理由は、次のうちどれですか？（いくつでも可）

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 子育てや教育にお金がかかりすぎる | <input checked="" type="checkbox"/> 家が狭い |
| <input type="checkbox"/> 自分の仕事に差し支える | <input type="checkbox"/> 健康上の理由 |
| <input type="checkbox"/> こどもがのびのび育つ環境ではない | <input type="checkbox"/> 自分や夫婦の生活を大切にしたい |
| <input type="checkbox"/> 高齢出産は不安 | <input type="checkbox"/> ほしいけれどもできない |
| <input type="checkbox"/> これ以上育児の心理的・肉体的負担に耐えきれない | <input type="checkbox"/> 配偶者・パートナーの家事育児へ協力が得られない |
| <input type="checkbox"/> 配偶者・パートナーが望まない | <input type="checkbox"/> 末子が自分や配偶者・パートナーの定年退職までに成人してほしい |
| <input type="checkbox"/> その他 | |

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

⑥を選択したときのみ表示

Q. 不妊治療について、あなたや配偶者・パートナーが当てはまるのは、次のうちどれですか？ *

- 不妊治療をした経験がある
- 不妊治療をした経験はないが、考えたことがある（考えている）
- 不妊治療をした経験はなく、考えたことがない（考えていない）

Q. あなたの不妊治療期間での働き方であてはまるものは、次のうちどれですか？ *

- 仕事をしながら、不妊治療をした
- 仕事を退職または休職して、不妊治療をした

Q. 不妊治療をする際にあなたや配偶者・パートナーが不安を感じている（感じたもの）は次のどれですか？（いくつでも可） *

- 不妊治療と仕事の両立
- 金銭的な負担
- 職場の理解と環境
- 年齢
- 配偶者・パートナーからの理解
- 精神的ストレス
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

戻る

送信

学生：別表（その他、自由回答）

Q. あなたが将来、働きたいと思う場所は、次のどれですか？

No.	その他回答	回答数合計
1	海外	23
2	無回答	10
3	国内外	9
4	国内	8
5	どこでもいい	5
6	色々なところ	4
7	Uターン希望	3
8	決まっていない	1

q2-2-1S

Q. あなたが県外での就職を希望し、それが保護者の意向（考え）と合わない場合、あなた ほどのような行動をとると思いますか？

No.	その他回答	回答数合計
1	無視する	2
2	親が自分のしたいことを聞いてくれない	1
3	保護者と話し合ってちゃんと意見はすでにある。	1
4	反対されることがない	1
5	そもそも地元が県外である。	1
6	無回答	1

q2-3S

Q. あなたがもし熊本で社会人として生活していくとしたら、充実させてほしいものは次のうちどれですか？ ※重要と思うものから最大5つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
1	無回答	11
2	ない	2
3	給料の値上げ	2
4	給料を上げる	2
5	お金の値下げ	1
6	ショッピングモールを増やす	1
7	スポーツ	1
8	のんびり暮らしたい	1
9	安心できる水、食料	1
10	休み週1 休日出勤、労働なし	1
11	熊本県へのuターンは考えていない	1
12	経済効果が期待できるサブカルチャーへの投資	1
13	建築士	1
14	採用の枠	1
15	市内のいいお家があるところ	1
16	初めて熊本へ来た人用に、住んでいる地域で地域のルールなどを理解できる場を整える	1
17	上下関係 残業をした時のそれに見合ったお金 ちゃんとした休暇	1
18	清掃員	1
19	増税せない	1
20	電波塔をもっと建てて、回線のよい熊本にしたい	1
21	動物園の飼育員	1
22	野球選手	1

q3-2-2S

Q. 「あまり結婚したくない」「結婚したくない」「わからない」と思う理由は、次のうちどれですか？（いくつでも可）

No.	その他回答	回答数合計
1	無回答	13
2	興味がない	6
3	まだピンと来ないため	4
4	わからない	4
5	相手と上手く付き合えるか分からないから。	3
6	めんどくさい	3
7	必要性を感じない	3
8	何も考えていない	2
9	結婚しているビジョンが見えてこない	2
10	結婚という制度に賛同できない。制度に縛られたくない	2
11	その時にしたいかどうか分からないから。	1
12	孤独	1
13	自分が障害をもっているからわからない	1
14	自分の夢のために誰にも邪魔されたくない（文句を言われたくない）	1
15	式を挙げたくないから	1
16	将来どうなるかわからないから	1
17	真剣に結婚の事を考えたことがないから	1
18	親の離婚のトラウマ	1
19	生活が大変になるから	1
20	相手がいらない	1
21	同性と付き合っているから	1
22	恋愛がよく分からない	1

Q. あなたの結婚のイメージに近いのは、次うちどれですか？（いくつでも可）

No.	その他回答	回答数合計
1	無回答	24
2	わからない	4
3	契約	1
4	あまり良いものではないような、夫婦喧嘩や金銭面など現代で家庭を持つには多くの問題があると思う。	1
5	きつい時や苦しい時に側で支え合う事ができる	1
6	だるい	1
7	もっと人生が楽しくなる	1
8	一つのことを考えないといけないことがたくさんありそう	1
9	家父長制社会の象徴。封建の遺物	1
10	楽しそう	1
11	経済的困窮	1
12	結婚にメリットを感じない	1
13	孤独死したくない。看取ってほしい。	1
14	幸せな時間が増える	1
15	幸せな生活ができる	1
16	趣味の時間がへる	1
17	勝ち組になれる	1
18	色々と融通がきくようになる	1
19	清掃員	1
20	大変	1
21	離婚	1
22	両親の離婚等の喧嘩、話し合いで精神がゴリゴリ削れていく	1

q3-1-5S

Q. あなたにとって、結婚に繋がると思えるきっかけやタイミングは、次のうちどれですか？ ※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけ・タイミングをお選びください（いくつでも可）

No.	その他回答	回答数合計
1	無回答	7
2	ある程度生活を安定させることができてきた時	1
3	してない	1
4	ずっと一人は寂しいから	1
5	その人と一生一緒に居たいと思えた瞬間	1
6	自分のしたいことをやり終える	1
7	趣味の合致	1
8	親が望んだ時	1
9	清掃員	1
10	地位が上がった時	1
11	妊娠したとき	1
12	年齢	1

q3-1-6S

Q. あなたにとって、結婚に繋がると思う出会いのシーンは、次のうちどれですか？ ※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけ・タイミングをお選びください（いくつでも可）

No.	その他回答	回答数合計
1	無回答	17
2	わからない	9
3	どこにでも当てはまる	3
4	ない	3
5	学生時代から	2
6	共通の友人を含め遊んだとき	2
7	あまりはからない	1
8	いろんな歳や学校の人と知り合える場など	1
9	してない	1
10	すれちがった女性に一目惚れ	1
11	なるようになる	1
12	ボランティア活動・団体への参加	1
13	運命的な出会い	1
14	偶然な出会い	1
15	佐々木彩人ですわね	1
16	清掃場所	1
17	同窓会	1
18	道端でばったり	1
19	留学先	1

q4-1-1S

Q. あなたが子どもを持たないライフスタイルを希望する理由は、次のうちどれですか？（いくつでも可）

No.	その他回答	回答数合計
1	無回答	13
2	自分の性格がお父さんみたいになりそうで嫌だ	1
3	仕事をバリバリしつつ子育てするには制度や周囲の認識が不足していると感じる	1

q4-2S

Q. あなたの子育てに対するイメージ（経験者はその経験において）で当てはまるものは、次のうちどれですか？（いくつでも可）

No.	その他回答	回答数合計
1	無回答	12
2	わからない	3
3	お金に余裕がなくなりそう	1
4	パートナーとの絆がより深まる	1
5	ひとりの人間を自分たちの手でゼロから作り上げる責任が大きい	1
6	何も無い、苦痛	1
7	子どもの成長を共に感じられる	1
8	子供の成長を一番近くで感じられる	1
9	自分のしたいことができなくなる	1
10	自分の子どもとの一生に一度の大事な時間を過ごせる	1
11	親の気持ちがわかる	1
12	睡眠時間が取れなくなる	1
13	清掃員	1
14	責任が生じる	1
15	相手とすれ違いが増えていきそう	1
16	大変になる！	1
17	特に父が母に家事などを押し付けていて精神的負担が増す	1
18	配偶者との関係に不安が募る	1
19	余裕がないとできない	1

q4-3S

Q. あなたが将来、子育てをしたら、子育て支援で必要なものは次のうちどれだと思いますか？ ※重要だと思うものから最大7つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
1	無回答	13
2	わからない	2
3	金	1
4	すべて	1
5	学校教育で田舎と都会で教科書が違うこと(田舎の子が都会に出たときに不利) 出産一時金を増額しても出産にかかる費用が値上がりして手元に残らないこと	1
6	学校内部の環境の整備、いじめなどの対策	1
7	子育ての社会化、結婚を前提としない子育てを可能とする	1
8	子育てへの理解	1
9	子供を中心とした社会、子供の人権を考えた環境の充実	1
10	住んでいる地域の安全性	1
11	清掃道具 きれいな心	1
12	大学までの学費の無償化	1
13	大人の嫉妬で子どもを精神的に潰さない環境づくり	1

q4-3-1S

Q. あなたが将来、働きながら子どもを産み育てていくとしたら、その環境に必要なと思う支援は、次のうちどれですか？ ※重要だと思うものから最大4つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
1	無回答	7
2	選択肢のすべて	3
3	育児休業中の給与の補償	1
4	子供を職場に連れてきて、子供だけで遊ぶ場所環境をつくればいい。	1
5	男性は子供を産めません。	1
6	転勤を自由に選択できる	1
7	頼れる地域の人や親	1

q4-3-2S

Q. あなたが将来、子どもを産み育てていくとしたら、そのために必要だと思う資金（経済的支援を含む）は、次のうちどれですか？ ※重要だと思うものから最大4つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
1	選択肢のすべて	4
2	よくわからない	3
3	無回答	2
4	医療保障程度の文化的保障（映画、美術館、演劇、等々）、産まない選択をしてる人への同等の支援	1
5	高等学校、大学等などの支援	1
6	授業料やその他経費自体を無料もしくは安くする。	1
7	収入の安定した仕事	1
8	親の所得に制限なく（高所得も含めて）子育てにかかる費用をゼロにする	1
9	生活費	1
10	大学までの教育費無償化	1

q4-3-3S

Q. あなたが将来、こどもを産み育てていくとしたら、保育・子育てサービスの充実で必要だと思う支援は次のうちどれですか？ ※重要だと思うものから最大4つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
1	無回答	8
2	わからない	2
3	子供が育ちやすい環境	1
4	子供が楽しいと思えるところ	1
5	支援センターの充実	1
6	先程と同じように男性は子供を産めません。	1
7	全て	1
8	特になし	1
9	保護者や地域と連携した学校教育(保育)や情報共有。	1

q4-3-4S

Q. あなたが将来、こどもを産み育てていくとしたら、教育環境の充実に必要だと思う支援は次のうちどれですか？ ※重要だと思うものから最大5つまで選べます。

No.	その他回答	回答数合計
1	無回答	10
2	いじめがない	1
3	医療保障程度の文化的保障（映画、演劇、美術館等々）	1
4	研究としての大学及び職業訓練大学を区別し、研究としての大学を無償化する	1
5	子供がしたいことができる環境	1
6	子供が学びたいことを学びたいように学べるサポート	1
7	所得が低い環境の家庭の子どもは進みたい大学があっても金銭的理由で行けません。仮に大学に進学できたとしても生活費など他にも様々な負担がかかります。一部でいいから少しの支援があるだけで選択肢は広がると思います。	1
8	全て	1
9	大学の入試試験費用の無償化	1
10	大学は無償ではなく、一部負担にしたい	1
11	保育士や教員の待遇改善。頼りになる教員を採用すること。	1

q4-9S

※現実的に産み育てる予定（計画）のお子さんの数が、産み育てたいと思う理想のお子さんの数より少ない人のみお答えください。 Q. 理想の人数より少ない理由は、次のうちどれですか？（いくつでも可）

No.	その他回答	回答数合計
1	無回答	15
2	そもそもパートナーができるか分からない	10
3	そもそも結婚しない	9
4	まだわからない	8
5	こどもを育てられる自信がない	3
6	産むのがきつそう	3
7	出産が怖い	2
8	5人も産めない。痛そう	1
9	そんな気がするから	1
10	パートナーへの負担を減らすため	1
11	まだ同性婚ができないため	1
12	家事をしたくない	1
13	今の制度や異次元の少子化対策、インボイス制度導入などに期待が持てず、子育てをしたいという気持ちが湧かない。	1
14	産めるか	1
15	子どもは欲しいけど産みたくない	1
16	子供が欲しくない	1
17	子供を生むことに不安	1
18	自分が精神的に自立できていないから	1
19	自分にはこういうことを考えるには若すぎる	1
20	自分には無理だとおもっている	1
21	自分以外を優先できる余裕が無い	1
22	就職先が不明なため	1
23	出産を経験したいと思わない。	1
24	色々な物のねあげ	1
25	大変そうだから。	1
26	予定がない	1
27	養子ならばとりたい	1

調査票
(学生・生徒)

〔県民WEBアンケート〕 学生・生徒の皆様へ

「こどもまんなか熊本」の実現に向けたこども・子育てに関する県民アンケート調査

1

ページ 1

2

ページ 2

3

ページ 3

「こどもまんなか熊本」の実現に向けたこども・子育てに関する県民アンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございます。**所要時間は10分程度です**。貴重なお時間をいただきますが、ご協力ご回答を何卒よろしくお願い申し上げます。

※社会人の方はこちらからご回答ください。



社会人用アンケートフォーム

<https://zfrmz.jp/hHKj96RenFDSWG64jRyt>

※学生・生徒（高校・大学生、専門学校生など）の方は、そのままお進みください。



※個人を特定する内容ではありませんので安心してご回答ください。

（学生・生徒の皆様へ）あなたについてお聞かせください。

Q. あなたの性別は、次のうちどれですか？ *

- 男性
- 女性
- その他

Q. あなたの年齢（年代）は、次のうちどれですか？ *

- 10代
- 20代
- 30代以上

Q. 現在、あなたが在学中なのは、次のどれですか？ *

- 中学校
- 高校
- 専修・専門学校
- 大学・短大・高専（大学院含む）
- その他

Q. あなたの居住地域は、次のうちどれですか？ *

- 熊本市
- 県央（宇土市 / 宇城市 / 下益城郡 / 上益城郡）
- 県北（荒尾市 / 玉名市 / 玉名郡 / 山鹿市 / 菊池市 / 合志市 / 菊池郡）
- 県南（八代市 / 八代郡 / 水俣市 / 葦北郡 / 人吉市 / 球磨郡）
- 阿蘇（阿蘇市 / 阿蘇郡）
- 天草（天草市 / 上天草市 / 天草郡）

熊本で生活していると感じることについてお聞かせください。

Q. あなたにとって、熊本で働き生活していく環境は、県外（大都市圏）と比べた場合、次のどれだと思いますか？（※イメージで結構です） *

- とてもよい環境だと思う
- よい環境だと思う
- あまりよくない環境だと思う
- 良くない環境だと思う
- どちらともいえない

Q. あなたが将来、働きたいと思う場所は、次のどれですか？ *

熊本県内

熊本県外

わからない

その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

Q. あなたが県外での就職を希望し、それが保護者の意向（考え）と合わない場合、あなた ほどのような行動をとると思いますか？ *

保護者の意向や考えを尊重し、その考えに沿う

保護者の意向や考えを聞き、一緒に結論を出す

保護者の意向や考えを聞くが、自分の判断で決める

相談せず、自分の判断で決める

その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

Q. あなたがもし熊本で社会人として生活していくとしたら、充実させてほしいものは次のうちどれですか？ ※重要と思うものから最大5つまで選べます。 *

企業の魅力向上（働き続けたいと思う仕事や職場環境など）

子育てをしやすい環境の充実

教育環境の充実

医療・福祉体制の充実

デジタル環境の充実

交通環境の利便性向上

災害に強い街への整備

- 安全・安心な生活環境（交通安全・防犯）
- 環境に優しい暮らしができる地域への変化
- パートナーと出会うきっかけづくり
- 自然・食の魅力の向上
- 非日常を楽しめる娯楽やスポット
- 熊本で生活する魅力の情報発信
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

次へ（※進めない場合は未回答の設問あり）

〔県民WEBアンケート〕 学生・生徒の皆様へ

「こどもまんなか熊本」の実現に向けたこども・子育てに関する県民アンケート調査

1

ページ 1

2

ページ 2

3

ページ 3

(学生・生徒の皆様へ)

あなたの結婚観についてお聞かせください。

Q. あなたは現在結婚していますか？ *

している

していない

※「結婚をしている」は事実婚も含みます。

Q. あなたの理想の結婚年齢は何歳ですか？（結婚している方は、結婚前に思っていた理想の結婚年齢をお答えください） *



Q. あなたの保護者の働き方は、次のうちどれですか？ *

共働き（育休・休職・パートアルバイト含む）

片働き

その他

Q. あなたの結婚のイメージに近いのは、次うちどれですか？（いくつでも可） *

経済的に余裕が持てる

社会的信用を得たり、周囲と対等になれる

精神的な安らぎの場が得られる

愛情を感じている人と一緒に暮らせる

自分のこどもや家族が持てる

生きがいにつながる

親から独立できる

- 親を安心させることができる
- ひとりの時間が減る
- 習慣の違いからのストレスがある
- お金に自由が無くなる
- 相手や親族に気を遣わなければいけない
- 結婚 = こどもを産み育てるというイメージに違和感がある
- 家事をしなければいけないというイメージがある
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

Q. あなたにとって、結婚に繋がると思えるきっかけやタイミングは、次のうちどれですか？ ※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけ・タイミングをお選びください（いくつでも可）*

- 結婚したいと思える相手と自ら出会えた、確信したとき
- 結婚したいと考える年齢になったとき
- 社会人になってある程度経験を積んだとき
- 貯蓄ができたとき
- 友人や知人が結婚したとき
- 親や親戚に勧められたとき
- 友人や知人に勧められたとき
- 仕事が嫌になったとき
- わからない
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

Q. あなたにとって、結婚に繋がると思う出会いのシーンは、次のうちどれですか？ ※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけ・タイミングをお選びください（いくつでも可）*

- 職場やバイト先
- 家族、知人の紹介
- 学校、大学

- 趣味を共有する場
- 合コン、飲み会
- 婚活イベント
- ネット、SNS
- マッチングアプリ
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

戻る

次へ（※進めない場合は未回答の設問あり）

2/3

〔県民WEBアンケート〕 学生・生徒の皆様へ

「こどもまんなか熊本」の実現に向けたこども・子育てに関する県民アンケート調査

1

ページ 1

2

ページ 2

3

ページ 3

(学生・生徒の皆様へ)

あなたの結婚観についてお聞かせください。

Q. あなたは現在結婚していますか？ *

- している
- していない

※「結婚をしている」は事実婚も含みます。

Q. あなたは将来、結婚したいと思いますか？ *

- とても結婚したいと思う
- できれば結婚したいと思う
- 将来は結婚したいが今は考えていない
- あまり結婚したいと思わない
- 結婚したいと思わない
- わからない

Q. あなたの理想の結婚年齢は何歳ですか？（結婚している方は、結婚前に思っていた理想の結婚年齢をお答えください） *



Q. あなたの保護者の働き方は、次のうちどれですか？ *

- 共働き（育休・休職・パートアルバイト含む）
- 片働き
- その他

Q. あなたの結婚のイメージに近いのは、次うちどれですか？（いくつでも可）*

- 経済的に余裕が持てる
- 社会的信用を得たり、周囲と対等になれる
- 精神的な安らぎの場が得られる
- 愛情を感じている人と一緒に暮らせる
- 自分の子どもや家族が持てる
- 生きがいにつながる
- 親から独立できる
- 親を安心させることができる
- ひとりの時間が減る
- 習慣の違いからのストレスがある
- お金に自由が無くなる
- 相手や親族に気を遣わなければいけない
- 結婚 = 子どもを産み育てるというイメージに違和感がある
- 家事をしなければいけないというイメージがある
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

Q. あなたにとって、結婚に繋がると思えるきっかけやタイミングは、次のうちどれですか？ ※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけ・タイミングをお選びください（いくつでも可）*

- 結婚したいと思える相手と自ら出会えた、確信したとき
- 結婚したいと考える年齢になったとき
- 社会人になってある程度経験を積んだとき
- 貯蓄ができたとき
- 友人や知人が結婚したとき
- 親や親戚に勧められたとき
- 友人や知人に勧められたとき
- 仕事が嫌になったとき
- わからない
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

Q. あなたにとって、結婚に繋がると思う出会いのシーンは、次のうちどれですか？ ※結婚している方は、結婚に繋がったきっかけ・タイミングをお選びください（いくつでも可）*

- 職場やバイト先
- 家族、知人の紹介
- 学校、大学
- 趣味を共有する場
- 合コン、飲み会
- 婚活イベント
- ネット、SNS
- マッチングアプリ
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

戻る

次へ（※進めない場合は未回答の設問あり）

〔県民WEBアンケート〕 学生・生徒の皆様へ

「こどもまんなか熊本」の実現に向けたこども・子育てに関する県民アンケート調査

1

ページ 1

2

ページ 2

3

ページ 3

(学生・生徒の皆様へ)

あなたの結婚観についてお聞かせください。

Q. あなたは現在結婚していますか？ *

している

していない

※「結婚をしている」は事実婚も含みます。

Q. あなたは将来、結婚したいと思いますか？ *

とても結婚したいと思う

できれば結婚したいと思う

将来は結婚したいが今は考えていない

あまり結婚したいと思わない

結婚したいと思わない

わからない

Q. 「あまり結婚したくない」「結婚したくない」「わからない」と思う理由は、次のうちどれですか？
(いくつでも可) *

- 自由に趣味や娯楽を楽しみたい
- 結婚するにはまだ若い
- 仕事(学業)に集中したい
- 結婚すると仕事を辞めなければならない
- 結婚後の生活に不安を持っている
- 夫婦関係や親戚付き合いが面倒
- 経済面(金銭面)に不安がある
- 自分もしくは家族の健康上の理由
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

Q. あなたの保護者の働き方は、次のうちどれですか？ *

- 共働き(育休・休職・パートアルバイト含む)
- 片働き
- その他

Q. あなたの結婚のイメージに近いのは、次うちどれですか？(いくつでも可) *

- 経済的に余裕が持てる
- 社会的信用を得たり、周囲と対等になれる
- 精神的な安らぎの場が得られる
- 愛情を感じている人と一緒に暮らせる
- 自分の子どもや家族が持てる
- 生きがいにつながる
- 親から独立できる

- 親を安心させることができる
- ひとりの時間が減る
- 習慣の違いからのストレスがある
- お金に自由が無くなる
- 相手や親族に気を遣わなければいけない
- 結婚 = こどもを産み育てるというイメージに違和感がある
- 家事をしなければいけないというイメージがある
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

戻る

次へ（※進めない場合は未回答の設問あり）

〔県民WEBアンケート〕 学生・生徒の皆様へ

「こどもまんなか熊本」の実現に向けたこども・子育てに関する県民アンケート調査

1

ページ 1

2

ページ 2

3

ページ 3

(学生・生徒の皆様へ)

あなたの子育て観についてお聞かせください。

Q. あなたがもし結婚をした場合（結婚してる方も）、自分が希望するライフスタイルで最も近いと思われるタイプは、次のうちどれですか？ *

- 結婚してこどもは持たず、仕事を続ける
- 結婚してこどもは持たず、結婚の機会に退職する
- 結婚してこどもを持ち、仕事も続ける
- 結婚してこどもを持ち、結婚（or出産）の機会にいったん退職後、再び仕事をする
- 結婚してこどもを持ち、結婚（or出産）の機会に退職し、その後は仕事をしない

Q. あなたがこどもを持たないライフスタイルを希望する理由は、次のうちどれですか？（いくつでも可） *

- こどもが苦手
- 経済的な余裕がない
- 自信がない・育て方がわからない
- 趣味や娯楽を楽しみたい
- 仕事と両立できない
- 妊娠・出産に不安を感じる
- こどもを持つイメージが湧かない
- 必要性を感じない

親の介護

その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

Q. あなたの子育てに対するイメージ（経験者はその経験において）で当てはまるものは、次のうちどれですか？（いくつでも可）*

楽しさ・幸せ・喜び・やすらぎを感じられる

生きがいになる

自身の成長になる

社会の維持になる（少子高齢化対策）

経済的余裕が無くなる

精神的負担がある

身体的負担がある

時間にゆとりが無くなる

仕事上のキャリアに影響する

配偶者・パートナーとの時間が無くなる

その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

Q. あなたが将来、子育てをしたら、子育て支援で必要なものは次のうちどれだと思いますか？ ※重要だと思うものから最大7つまで選べます。*

働きながら子育てができる環境であること

①へ

こどもを産み育てていくために必要な資金（経済的支援を含む）

②へ

保育・子育てサービスの充実

③へ

教育環境の充実

④へ

医療体制の充実

学校への移動手段（公共交通機関）の充実

⑤へ

配偶者・パートナーのサポート（家事・育児）

親族のサポート（家事・育児）

地域のサポート（みまもりなど）

こどもと一緒に楽しめる娯楽の充実（旅行・外食など）

不妊対策（経済的支援、周囲の理解、仕事との両立）

その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

①を選択したときのみ表示

Q. あなたが将来、働きながらこどもを産み育てていくとしたら、その環境に必要なと思う支援は、次のうちどれですか？ *重要だと思うものから最大4つまで選べます。*

育児休業のための休暇を取りやすい職場環境

こどもが病気の時に休暇を取りやすい職場環境

授業参観等のこどもの学校行事の時に休暇を取りやすい環境

短時間勤務や在宅勤務を選択できる仕組み

育児休業や短時間勤務、こどもに関係する休暇取得が仕事上のキャリアに影響しない

時間外労働をしなくてもよい職場環境

その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

②を選択したときのみ表示

Q. あなたが将来、子どもを産み育てていくとしたら、そのために必要だと思う資金（経済的支援を含む）は、次のうちどれですか？ ＊重要だと思うものから最大4つまで選べます。＊

- 児童手当などの給付金
- 保育園、放課後児童クラブなどの利用料への支援
- 学校に係る経費への支援（給食費、教材費、授業料など）
- こどもが病気の時にかかった医療費への支援
- 障がいのある子どもの成長に必要な経費への支援
- こどもを産み育てるために必要な住まいへの支援
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

③を選択したときのみ表示

Q. あなたが将来、子どもを産み育てていくとしたら、保育・子育てサービスの充実で必要だと思う支援は次のうちどれですか？ ＊重要だと思うものから最大4つまで選べます。＊

- 待機児童の解消や、希望する保育園に預けられる保育環境
- 仕事の有無に限らず、必要なときに子どもを預けられる仕組み
- 子育ての相談窓口
- 民間の子育て支援サービス（ベビーシッターなど）
- 子育て中の人たちが集う子育てサークル
- 障がいがあるこどもへの支援
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

④を選択したときのみ表示

Q. あなたが将来、子どもを産み育てていくとしたら、教育環境の充実に必要だと思う支援は次のうちどれですか？ *重要だと思うものから最大5つまで選べます。*

- 住んでいる地域に関わらず、進学できる環境
- 高校の授業料無償化（所得制限なし）
- 大学の授業料無償化
- 奨学金制度の充実（所得制限なし、返済不要など）
- 学習塾などの教育に要する費用への支援
- 障がいがあるこどもの成長に必要な教育環境の整備
- グローバルに活躍できる教育環境（語学やコミュニケーションなど）
- 将来のキャリアやそのキャリアに必要な技術を学べる環境
- その他

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

⑤を選択したときのみ表示

Q. あなたがよく利用する交通機関は、次のうちどれですか？（いくつでも可）*

- バス
- 市電
- JR
- 電車（JRを除く）
- 公共交通機関は利用しない

Q. あなたが、もしくは子育て中の方が不便さを感じることもある交通機関は、次のうちどれだと思いますか？（いくつでも可）*

- バス
- 市電
- JR
- 電車（JRを除く）
- 公共交通機関は利用しない

Q. あなたの生活環境は、次のうちどれですか？ *

- 一人暮らし
- 家族との同居（家事・育児・介護などを主にやってくれる自分以外の同居者がいる）
- 家族との同居（家事・育児・介護などを主にやってくれる自分以外の同居者がいない）

Q. 現在、あなたが持つお子さんの人数は、次のうちどれですか？ *

- 0人
- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 5人以上

Q. 将来、あなたが理想的だと思うお子さんの人数は、次のうちどれですか？ *

- 0人
- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 5人以上

Q. 将来、あなたが現実的に持つことができるだろうと思うお子さんの人数（総数）は、次のうちどれですか？ *

- 0人
- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 5人以上

※現実的に産み育てる予定（計画）のお子さんの数が、産み育てたいと思う理想的なお子さんの数より少ない人のみお答えください。 **Q. 理想の人数より少ない理由は、次のうちどれですか？（いくつでも可）**

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 子育てや教育にお金がかかりすぎる | <input type="checkbox"/> 家が狭い |
| <input type="checkbox"/> 自分の仕事に差し支える | <input type="checkbox"/> 健康上の理由 |
| <input type="checkbox"/> こどもがのびのび育つ環境ではない | <input type="checkbox"/> 自分や夫婦の生活を大切にしたい |
| <input type="checkbox"/> 高齢出産は不安 | <input type="checkbox"/> ほしいけれどもできない |
| <input type="checkbox"/> これ以上育児の心理的・肉体的負担に耐えきれない | <input type="checkbox"/> 配偶者・パートナーの家事育児へ協力が得られない |
| <input type="checkbox"/> 配偶者・パートナーが望まない | <input type="checkbox"/> 末子が自分や配偶者・パートナーの定年退職までに成人してほしい |
| <input type="checkbox"/> その他 | |

その他を選んだ場合の回答はこちらにご記入ください

戻る

送信